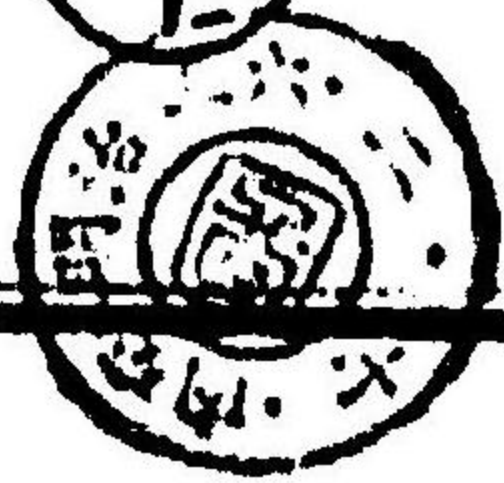




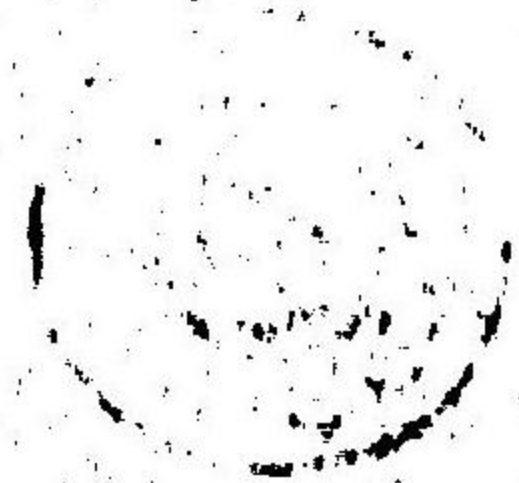
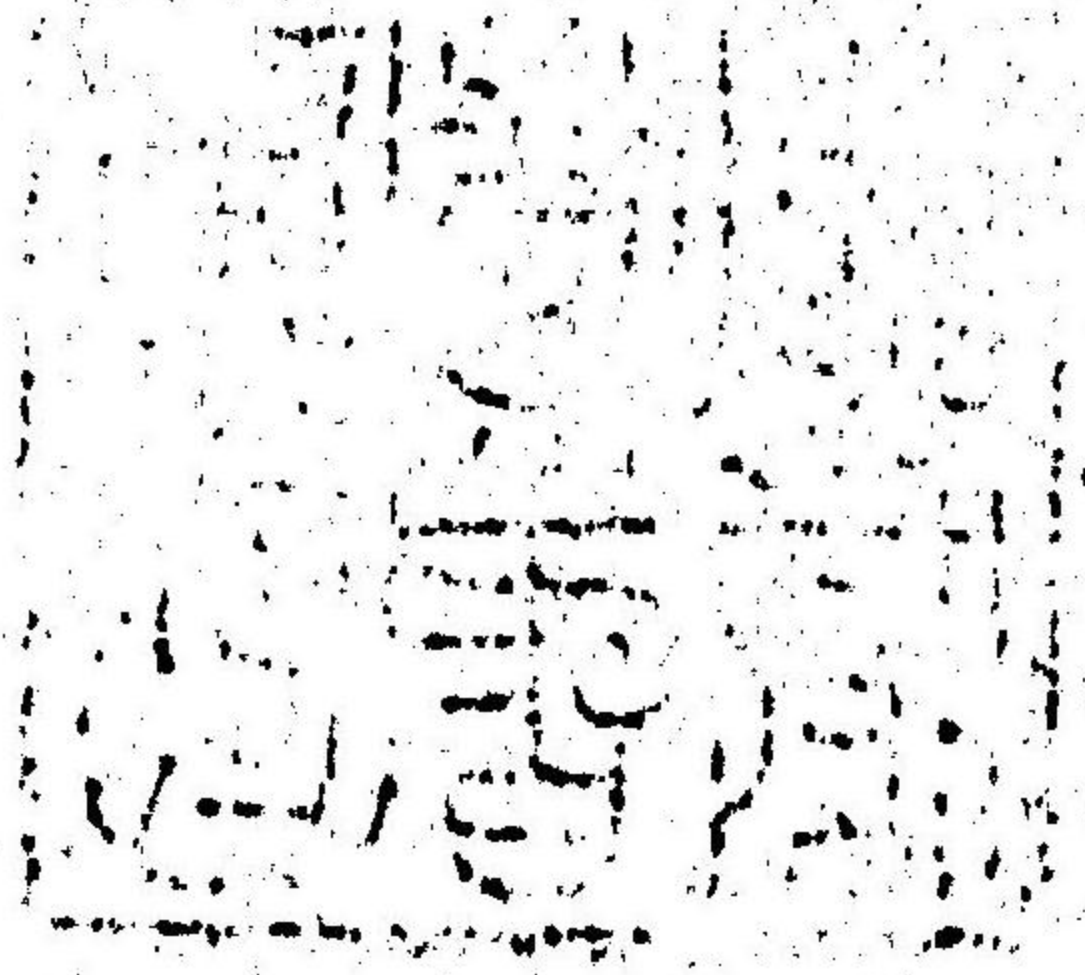
最新地理教科書

理學士山上萬次郎著

外國之部下



大日本圖書株式會社



著 耶 次 萬 上 山 士 學 理
覽 概 圖 地 及 書 科 教 科 理 地

- 最新中學地理教科書 全五册
◎日本部全二册 ◎外國部全三册 ◎地文部全一册
- 最新女子地理教科書 全四册
◎日本部全二册 ◎外國部全二册 ◎地文部全一册
- 最近地文學教科書 全一册
◎日本部全一册 ◎外國部全一册
- 最新中學教科用地圖 全四册
◎日本部全一册 ◎外國部全三册
- 最新女子教科用地圖 全三册
◎日本部全一册 ◎外國部全二册
- 最新中等教科用外國地圖 全一册
◎日本部全一册 ◎外國部全一册

圖 地 白 用 育 教 等 中

校 洽 成 全 編 編 社 會 式 株 書 圖 本 日 大

最新女子地理教科書 外國之部下卷 目次

第三篇 ヨーロッパ

第一章 總論——地文地理	一
第二章 ヨーロッパロシア	七
第三章 北部ヨーロッパ	二二
第一節 スウェーデンノルウェー	二二
第二節 アンマルク	二六
第四章 中部ヨーロッパ	二七
第一節 ドイツ	二七
第二節 オーストリアハンガリア	三三
第三節 スウイス	二六
第四節 ノールランド	二八
第五節 ヘルギー	〇五

目次

第五章	西部ヨーロッパ	三三
第一節	イギリス諸島	三三
第二節	フランス	三〇
第六章	南部ヨーロッパ	四六
第一節	イスパニア	四六
第二節	ポルトガル	五〇
第三節	イタリア	五二
第四節	バルカン半島の諸邦	五六
第七章	ヨーロッパの小國	六二
第八章	總論—人文地理	六四
第四篇	アフリカ	六九
第一章	地文地理	六九
第二章	アフリカ邦土誌	七四
第三章	人文地理	八二
第五篇	南アメリカ	八六

第一章	地文地理	八六
第二章	南アメリカ邦土誌	九〇
第三章	人文地理	九八
第六篇	北アメリカ	一〇二
第一章	地文地理	一〇二
第二章	グリーンランド	一〇六
第三章	カナダ	一〇七
第四章	アメリカ合衆國	一一〇
第五章	メキシコ	一一七
第六章	中央アメリカ	一一九
第七章	西印度諸島	一二〇
第八章	人文地理	一二三
第七篇	兩極地方	一二六
第八篇	人文地理總論	一二一
第一章	世界の住民	一二一

第二章 各邦土の領域……………一三八

第三章 世界の物産貿易交通……………一四〇

第四章 世界の財政……………一四四

第五章 日本帝國の位置……………一四六

最近女子地理教科書 外國之部下卷 目次 終

最近女子地理教科書 外國之部下卷

理學士 山上萬次郎著

第三篇 ヨーロッパ

Europe.

第一章 總論—地文地理

一、境域。

ヨーロッパは諸大陸の畧ぼ中央を占め、大部分は北温帯中に位す。面積凡そ六十萬方里、六大洲中オセアニアを除き、最も小にして、アジアの四分の一よりも小なり。

二、沿岸。

三面海に臨み、數多の岬・半島島の外、特に内海に富めるが故に、海岸線の長さ割合に甚だ大にして、且つ海岸より五百里以上を距るゝ内地は至て少し。

大西洋の側にはスカンデナヴィア及びユトランドの二半島ありて、北海と

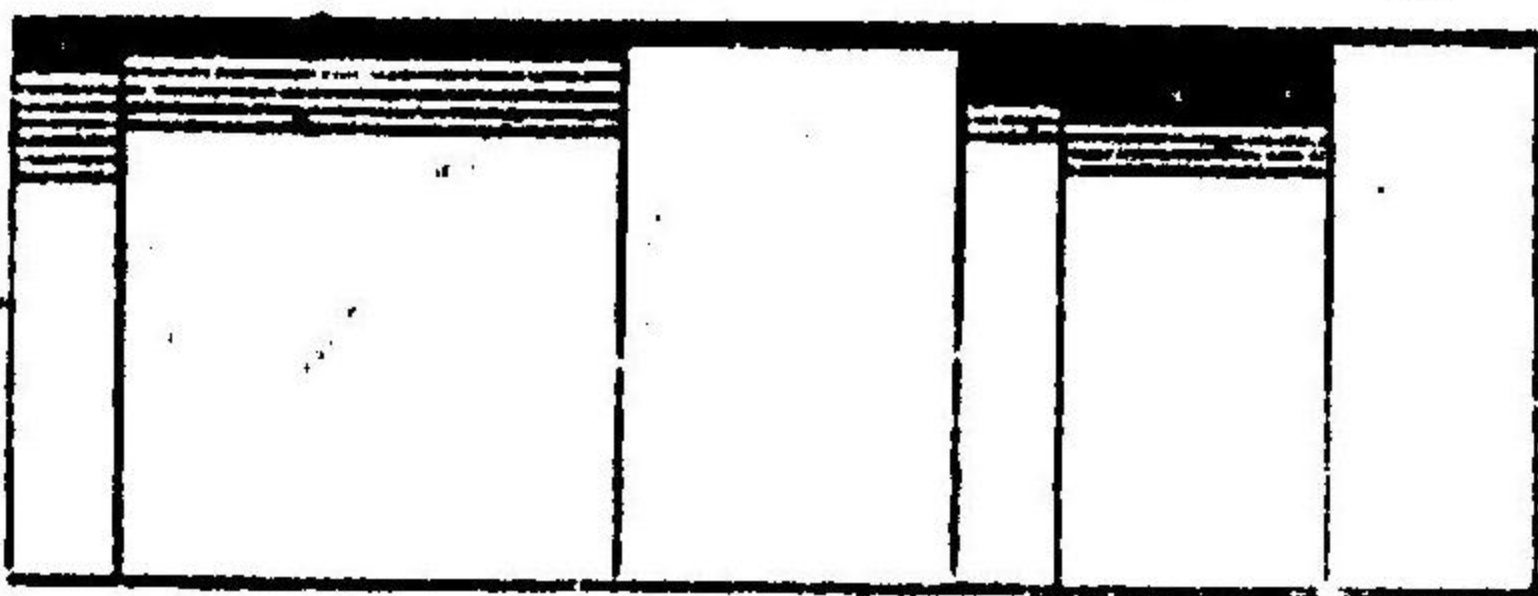


離距のと岸海と地内パ、ロ、ロ (里百五は徑半の四)

バルト海とを限り、イヤリメ諸島は北海の西にありて、北西遙かにイメランドに對す。イベリア半島はピメカヤ灣と地中海とを分ち、其の南端ジブラルタル海峽は大西洋と地中海との門戸を成す。イタリア半島は地中海の中央に突出してアドリア海を北に包み、南及び西にはシチリアサルダニア、コルシカの三大島を有す。地中海の東部にはヘルカン半島あり、其の東

地中海の海
上はイタリヤ
の熱海にキ
ハリスの手に
あり、海は手
の權は海に
あり、海は手
の權は海に

南アメリカ
北アメリカ
オセアニア
及び
アフリカ
本陸
の割合



島 半島 陸本

側なる多島海の北方は狭き海峡によりて黒海に通ず。

北極洋の側は白海及びノバヤゼムリヤ・スピツベルゲン等の二島を除き、概ね川曲に乏しく、島嶼も亦た多からず。

本大陸に於ては、半島及び島の本陸に對する面積の割合は、他大陸に比して、最も大なり。

三、地勢。

地勢上ヨーロッパを左の四部に大別す。

(イ) 北西部の高地。スカンデナヴィア半島及び北部イギリスを成し、高度大ならざれども、前者には氷河の存在を見る。

(ロ) 南部の高地。アルプ山系は重もに東西に走り、ピレネ

ヨーロッパの地勢は變化に富む

一 山脈は其の西に、カルパチア山脈は東に連る。アルプ山系地方は湖水多く、風景美にして、氷河の現象に富む。

(ハ) 北部の低地、ヨーロッパ全土の重なる部分を占め、

西部には海面より低き所あり。

(ニ) 東部の高地、ウラル山脈南

北に走り、峇ほアジアとの境を成

し、其の高度は大ならず。

火山脈、地中海の沿岸には火

山脈少からず、ベスピオ・エトナ等

は有名なる火山なり、又イスタン

ドにも火山甚だ多し。

四、水系。



■ヨーロッパの地勢

ヨーロッパの大分水界二あり、一はアルプ地方、一はロシア中部にして、河流はこれより四方に流れ、多くは三面の海洋に入る。ヨーロッパは面積に比して河川甚だ多く、流れ緩かにして、河口多くは良港を成し、且つ互に運河によりて連絡せられ、恰も一大河系を成す。

アフリカ及び北アメリカに於ける如き非常なる大淡水湖は本陸にこれを欠ぐも、湖に豊富なる點に於ては、他に、其の比少く、其の位置多くは河流の経路に當る。

五、氣候。

灣流は近海を流れ、南西の主風此の上を吹き來るが故に、大部の氣候は緯度に比し、頗ぶる溫暖にして、雨量に富む。

東部は海洋の影響を受けざれば、大陸性にして雨量少く、冬

大西洋斜面
は一般に河
川に富む

ベナルナル
グにては
夜の差十三
時間に及ぶ
ことあり

季は河水氷結す。中部の高地は氣温低く、且つ海洋の影響を受くること西部の如く著しからず。又北部高緯度地方は夏冬晝夜長短の差大なるにより、氣温の差隨て大なり。

六、アジア及びヨーロッパの比較。

類似の點は左の如し。

- (イ) 北部に大平原を有す。
- (ロ) 重なる大山脈は東西の方向に走り、其の位置少しく南部に偏し、分水界の一大中心を成す。
- (ハ) 三個の大半島は南に突出す。
- (ニ) 一方に一大島帝國を有す(日本及びイギリス)。

反對の點は左の如し。

アジア

イ 最大の大陸なり。
ロ 海岸線比較的短し。

ヨーロッパ

イ 最小の大陸なり。(オーストラリアを除く)。
ロ 海岸線比較的長し。

ハ 高地多く、低地少し。

ニ 雙子河多し。

ホ 大部は大陸性氣候を有す。

ヘ 大沙漠あり。

ト 邦領上に於て大部はヨーロッパの
附屬たり。

チ 地文地理上に於ては大陸中の大
陸なり。

ハ 低地多く、高地少し。

ニ 雙子河なし。

ホ 大部は海洋性氣候を有す。

ヘ 沙漠なし。

ト 地勢上に於て全くアジアの半島
なり。

チ 人文地理上に於ては大陸中の大
陸なり。

第二章 ヨーロッパロシア

Russia in Europe

一、地文地理。

ヨーロッパロシアは東部ヨーロッパの地域を成せる大國にして、面積凡そ三十五萬方里、凡そ我が國の十三倍あり。

カスピ海沿岸は地中海沿いの海面以下に位置す

三面海及び大湖に接し、海岸線出入少からず。全土は一大平原より成り、中央分水界の大部も海面上僅かに六百尺内外の高度を有するに過ぎず。山脈には山勢の緩かなるウラルあるのみ。



シロアの地勢

河川甚だ多く、重なる大河には、北極洋斜面にドビナ・ベチコラ、黒海斜面にドニエプル及びドン、カスピ海斜面にボルガ及びウラルあり。又大河の左岸は常に洪水の憂を受け、都邑は概ね右岸にあり。北西に當りて湖水地方あり、其中ラドガ・オチガ二湖最も

大なり。

多くは大陸氣候にして、雨量少く、冬季は河海氷結す。

二、人文地理。

人口凡そ一億、ヨーロッパ總人口の凡そ四分の一を占め、スラブ種最も多し。ギリシア教は國教にして、皇帝は政治上のみならず、又宗教上の首長たり。高等教育は稍盛んなれども、初等教育は未だ普及せず。

政體は君主專制にして、ヨーロッパ中トルコを除き他に類を見ず。軍備には、平時百十萬、戰時四百六十萬の陸軍兵ありて、其の數世界第一なり。海軍は世界第三位に居り、バルト海、カスピ海及び黒海に各艦隊を有す。

荒地少からざれども、南部の黒土は穀産の富源を成し、又

酒精及び酒
府の飲料は政
府の専賣な

牧畜甚だ盛んにして、ウツルより金及び白金を産し、林産水産及び綿布麻布毛織物等の工業次第に盛んなり。年市は此の國の特色にして、又外國貿易も次第に發達す。河川及び運河の水利大にして、カスピ海・黒海・バルト海を聯絡す。唯冬季は河川港灣氷結するの不利あれども、橋によりて内地の交通却て自在なり。鐵道は近來特に發達したれども、邦土の面積に比すれば尙ほ不十分なり。

三、地方誌。

首府ペテルブルグはフィンランド灣頭に位し、第一の開港場にして、人口凡そ百三十萬あり。王宮官衙宏壯にして、又有名なる圖書館及び我が公使館の設けあり。西方のクローンスタット島はバルト艦隊の根據地にして、堅固なる

運河により
て大船府内
に直達す

St. Petersburg

Kronstadt

Kroonstadt

叩くも鳴ら
ざる鐘打つ
も發せざる
砲

砲臺あり。リガは同名の灣頭に位し、此の國第三の開港場なり、其の西方にリバウの不凍港あり。

Riga

Lithuan



鐘巨のバクスモ

にして、固有の國風を存し、皇帝の戴冠式は此の地に於て行はれ、又有名なる巨鐘及び大砲あり。

モスクバ
Moscow

は全國の中
央に位し、商
工業の一大
中心にして
人口凡そ百
萬あり、此
の國の舊都

ニジニノゴロドはメスクハの東に當り、七月より九月に至る間の大市には、ドイツ・清國等の商賈來集す。オデッサは此の國第二の開港場にして、義勇艦隊航路の起點なり。オデッサの南東に突出するクリム半島にセバストポルあり、黒海艦隊の根據地にして、砲臺の設け堅固なり。ワルシヤワは舊ポーランド王國の首府にして、ヴィスツラ河に臨む。

第三章 北部ヨーロッパ

第一節 スウェーデン・ノルウェー。

ロシアの北西に當り、スカンデナヴィア半島の全部を成す。

一、地文地理。

急流・瀑布・氷河に富み風景絶佳なり

面積凡そ五萬方里、分てノルウェー及びスウェーデンとす。地勢は高原性を呈し、分水界は中央より少しく西に偏す。東流する河は多く湖水を通過し、恰も湖水と湖水とを瀑布にて連ねたる觀を呈す。ノルウェーの沿岸には狹隘なる入海に富む、これを峽灣と稱す。

西岸は灣流の影響を受け、最北の港灣も冬季氷結せず。北部は高緯度に位するが故に、季節により晝夜長短の差大にして、北光の出現頻繁なり。

二、人文地理。

人口凡そ七百四十萬、大抵チユートン種にして、國教たる新教を奉ず、教育は最も普及せり。北部にはラップ人ありて、馴鹿を家畜とし、漁業を營む。

ラップ人はロシアの北西部にも住す



北光・馴鹿・懷・ラツ人

スウェーデン及びノルウェーは外に對しては兩國合して一王國を成せども、内政は全く分離す。國王は此の國より彼の國へ共同演習の爲めに兵を送るに三千人を超ゆる

商船國數世界第四

を得ず、且つ一年間六週日以内を限りとす。

スウェーデンは農産及び鐵に富み、兩國共に林産に富裕なり。材木運搬用及び漁業用の爲め、ノルウェー商船の數は甚だ多し。ノルウェーは農産甚だ少く、不生産的の土地其の大部を占むるも、水産は極めて盛んなり。

地勢の險なるが爲め、東部及び南部を除く外、鐵道の敷設不十分なれども、沿岸船舶の往來甚だ多し。

三、地方誌

スウェーデンの首府ストックホルムはバルト海に濱し、市街數多の島上に立ち、風光明媚、北部のベネチアと稱せらる。ノルウェーの首府クリスチアニアは南岸に位し、此の國第一の開港場にして、西岸のベルゲンは水産物の取引盛なり。

第二節 デンマーク Denmark

一、地文地理。

ドイツの北方に突出するユトランド半島及び附近の島嶼より成る面積凡そ我が九州に等し。Jutland 地勢概ね低平にして、氣候稍溫和なり。

二、人文地理。

人口凡そ二百五十萬、チュートン種に屬す。新教は國教にして、教育は普及す、人情風俗、言語スカンデナヴィアに似たり、政體は立憲王國なり。農業、牧畜は重なる産業にして、國人貯蓄の風に富む。

三、地方誌。

對馬、韓國間の海底電線は此の兩人の有なり

海流の影響

首府コペンハーゲンCopenhagen はシエラランド島Zealandの東岸に位し、有名なる大學及び博物館の設けあり。

此の國の屬地にはイスラント、西印度諸島の一部及びグリーンランド沿岸の一部等あり。イスラントはイギリスIrelandの北西に當り、火山及び間歇泉に富む。沿岸には流木多く、Iceland して住民これを薪炭の材料とす。

第四章 中部ヨーロッパ

第一節 ドイツ Germany (Deutschland)

一、地文地理。

ヨーロッパの畧ぼ中央に位し、面積凡そ三萬五千方里、本邦より稍大なり。沿岸は出入に乏しけれども、河口には良

河畔の風景
世に名あり

港あり。バルト海の沿岸は大なる砂嘴(キール、ハンブルグ)多く、中に澤湖(ハッブ)を抱く。國の南部は高地にして、北部は一面の平原なり。

河川甚だ多く、黒海斜面にはドナウ河の上流、北海斜面にはライン・ツェーゼル・エルベ、バルト海斜面にはオーデル及びウイッスツラあり。ライン河はドイツ第一の大河にして、源をアルプ山系の氷河中に發す。

北東部及び南部高地は大陸氣候を有すれども、北海及びライン河下流の沿岸は頗る溫和なり。

二、人文地理。

高等教育及
實業教育及
は世界の模
範なり

人口凡そ五千六百萬、人口の増加著しく、外國特にアメリカ合衆國に移住するもの甚だ多し。住民の三分の二は新

麥酒及び
糖の産額
の全世界
の四分の一

教、三分の一は舊教を奉ず。教育は最も進歩し、大學の數二十一に達し、近時我が國人の留學するもの甚だ多し。

ドイツ帝國は王國四(プロシヤ・バワリア・サクソンニア・ウエルテンベルグ)大公國六、公國五、侯國七、自由市三、帝領一の聯邦より成り、ドイツ皇帝はプロシヤ國王これに當る。陸軍

は甚だ精銳にして、常備兵六十萬あり、海軍は世界第四位に居る。

農産、林産及び鐵、石炭等の礦産に富み、又製鐵、製糖、織物等の工業甚だ盛んにして、麥酒の醸造、世界第一に位す。外國貿易の進歩は近來甚だ大にして、輸出入額は世界第三位に居り、我が國へも鐵、毛織物、砂糖、藥品等を輸入す。

河川、運河、鐵道の利大にして、キール、大運河は北海とバル

500	其他諸國 52	ベルギー 30	ロシア 90	フランス 77	オーストリア 112	ドイツ 179	205
				其他諸國 107	プロシヤ 18	合衆國 18	
				キエフ 40	ハルビン 28	シベリア 72	

砂糖産額(單位萬噸) 上段 甜甘 菜糖 糖

ト海とを直通す。

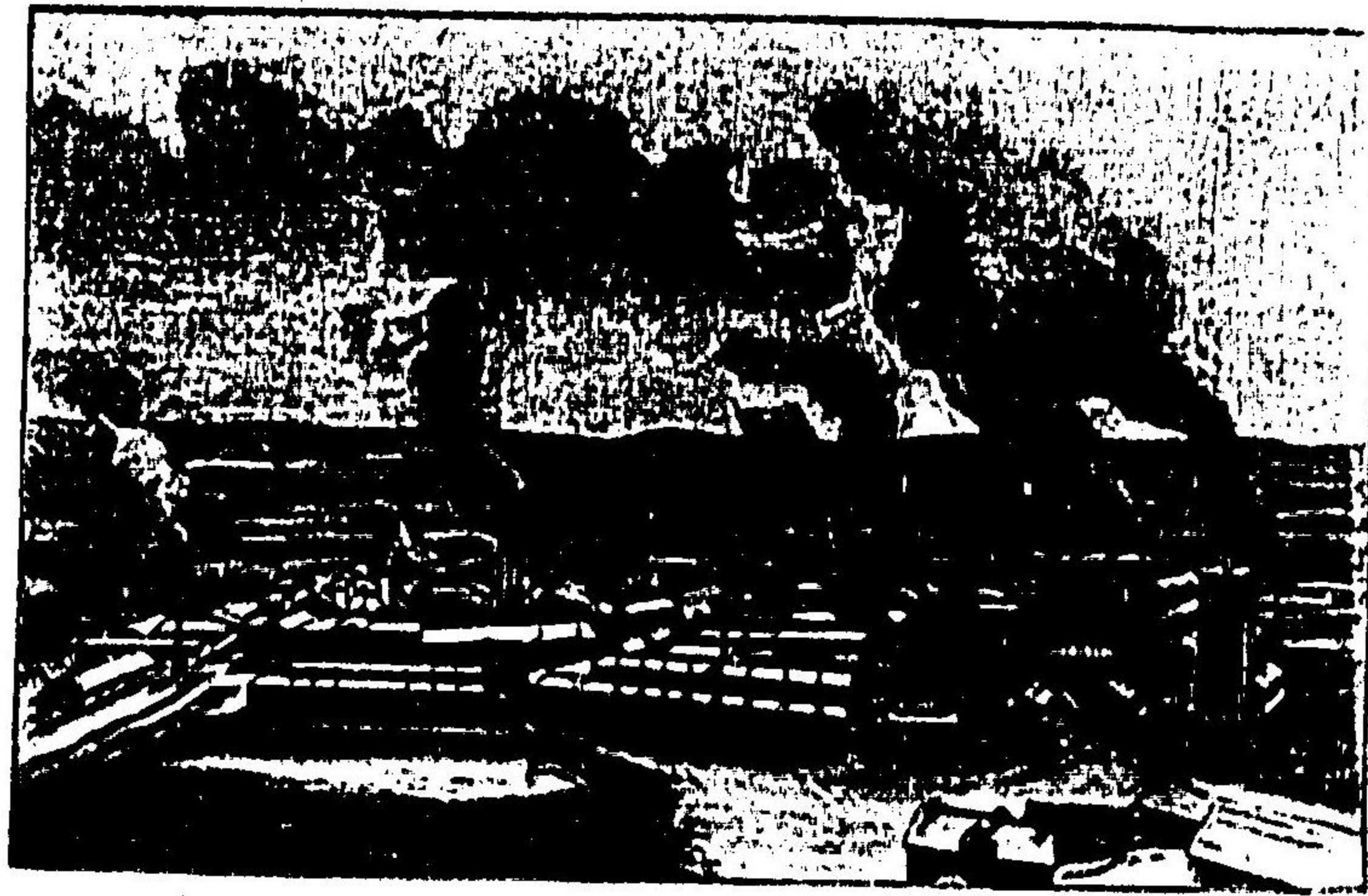
三、地方誌。

ベルリンはドイツ帝國及びプロシア王國の首府にして、北部平原中に位し、人口凡そ百九十萬有名なる大學及び我が公使館あり。ハンブルグはエルベ河の右岸に位し、ドイツ第一の開港場なり。マグデブルグはエルベ河の左岸に位し、製糖業の大中心なり。ドレスデンはエルベ河上流の右岸に位し、サクソニア王國の首府に

北ドイツ
イロ社あり

して、美術品を以て名高し。北西のライプツヒには有名なる大學あり、又書籍の出版最も盛んなり。南西のケムニツは工業の大中心なり。ブレーメンはウェーゼル河口に近く、ドイツ第二の開港場にして、大船は河口のブレーメルハーフェンに碇泊す。ケルンはライン河の左岸に位し、商業の中心として好位置を占む、其の北方エッセンに有名なるクルップの鐵工所あり。ストラスブルヒはライン河の左岸に近し、エルザス・ロートリンゲンの首府にして、フランス・スイスに接近し、古來より外交及び通商上の要點なり。ブレスラウは國の南東部にあり、オーデル河の上流に位し、工業上の一大中心なり。ミュンヘン(München)は國の南部にあり、バワリア王國の首府にして、麥酒の産を以て名高く、又有名な

る大學及び圖書館あり。



所造製ブルク

此の國はアフリカ・オセアニア等に於て、本國に五倍せる領地を有し、清國の膠州灣をも借領す。

第二節 オーストリア

Austria-Hungary

ア・ホンガリア。

一、地文地理。

ヨーロッパの中部に位し、南西の一部のみアドリア海に臨む、面積凡そ四萬方里あり。

カルパチア山脈は北東部に連り、東部はホンガリアの大平原(プスタ)を成す。國の南西部にカルスト地方あり。

Carpathian

Pusta

カルスト地方あり。

Karst

國の大部は黒海の斜面にありて、ドナウ河の流域に屬す。此の河は源をド

Danube

イツに發し、ホンガリアを過ぎ、ロマニアに入り、遂に黒海に注ぐ、全長七百餘里、ヨーロッパ第一の大河なり。ローマニアとの境に、鐵門の急流部ありしも、今



プスタ

は運河によりて、これを避く。

氣候は所により一様ならず、一般にドイツに比すれば高
温なれども、沿岸地方を除き、寒暑の差は尙ほ大なり。

二、人文地理。

ハンガリア
は人種及び
風習等東洋
的なり。

人口凡そ四千五百萬、オーストリアにてはドイツ種、スラ
フ種、ハンガリアに於てはマジヤール種最も多し。人種、言
語、宗教、雜駁なれば、統治上の困難少からず。

オーストリア・ハンガリアは、オーストリア帝國とハンガ
リア王國とより成り、陸海軍、財政、外交の外、内政は全く別な
り。而してバルカン半島のボスニア及びヘルゼゴビナを
支配し、モンテネグロの警察權を握る。

農業甚だ盛んにして、畜産は産業中第一位を占め、金、岩鹽

岩鹽層厚さ
四千尺に達
するものあり

等の鑛産も亦た多けれども、海に對する位置不利なるを以
て、外國貿易稍振はず。

鐵道及びドナツ河の利大なれども、同河口の自國領土中
にあらざること、海港と内地との間に山脈を隔つること等
は交通上の欠點なり。

三、地方誌。

首府ウィーンはドナツ河に沿ひ、工業の中心地なり、人口
Vienna

凡そ百四十萬、有名なる醫科大學及び我が公使館あり。ブ

ラーグはエルベ河の流域に位し、ポヘミア王國の首府なり。

ブレスラウはアドリア海に沿ひ、此の國第一の開港場にし
Trieste Adriatic

て、ボラ軍港には有名なる造船所あり。ブダペストはハン
Pola

ガリアの首府にして、ドナツ河に跨り、ブダ及びベストの二
Buda Pest

部より成る。

第三節 スイス。

Switzerland

一、地文地理。

ヨーロッパ大陸の中央に介在する半圓形の小國にして、四大國の間に介在し、海岸線を有せず、面積殆んど我が九州に等し。アルプ山系は國の中部以南の區域を占め、ユラ山脈は北西境を限ざる。全土の位置ヨーロッパ諸國中最も高くして、諸大河の水源地を成す。地勢一般に高きが故に、緯度に比して頗る寒冷なり。

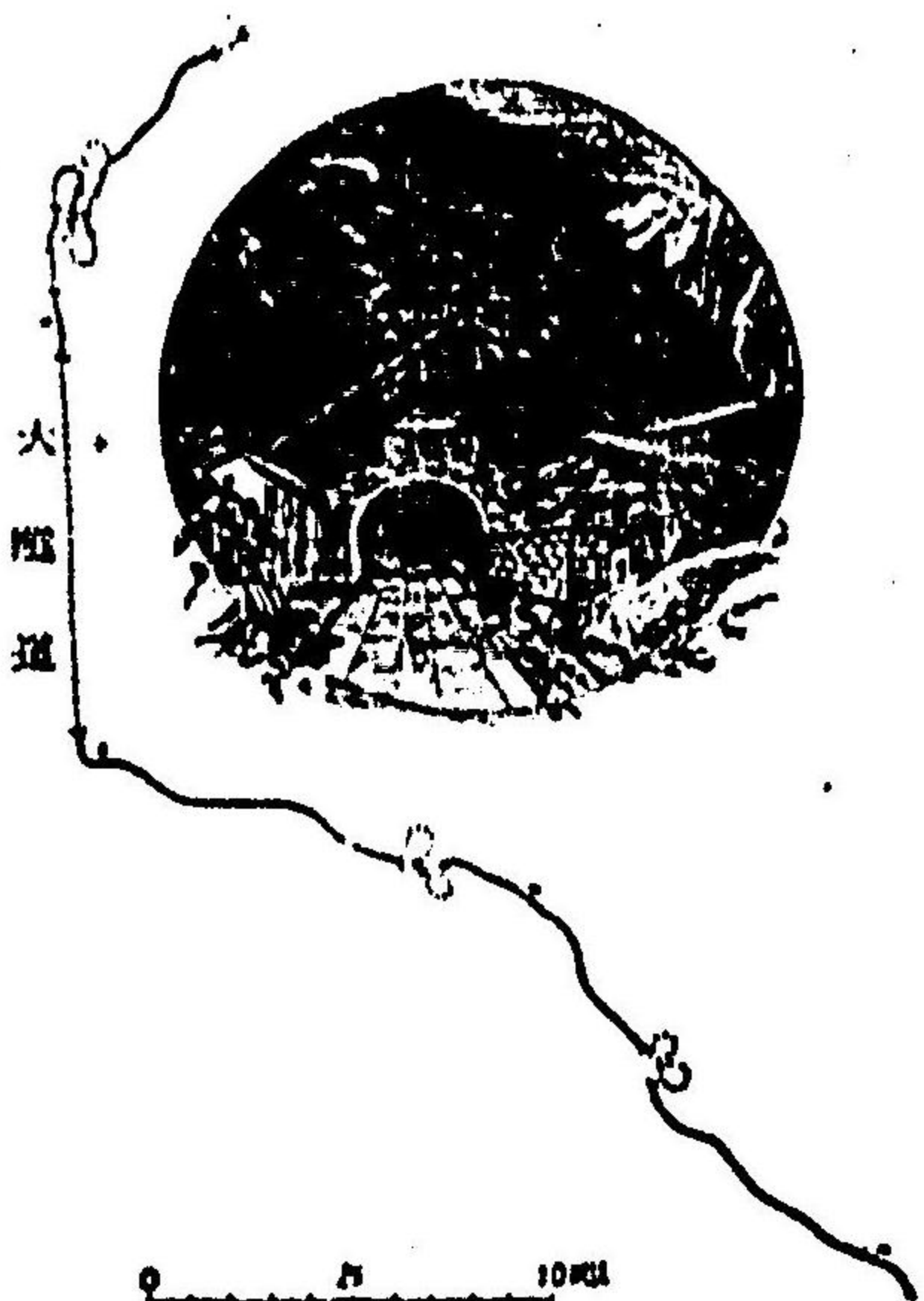
二、人文地理。

人口凡そ三百三十萬、新教徒最も多く、舊教徒これに次ぐ。教育は進歩し、大學の數五あり。國民の三分の二はドイツ

急流・瀑布・湖水・氷河・に富み風景の美しき第一な

時計の製造に名高く我が國へも盛んに輸入す

サンゴタール大隧道



外中立國と認めらる。不生産的の土地多く、農産に乏しけれども、畜産及び林産甚だ多く、工業上水力及び汽力の利用盛んにして、外國貿易も人口に比し甚だ盛大なり。

アルプ山系を通ずる鐵道によりて、交通至便なり。特にサンゴタールの大隧道は、全長九哩四分の一に達し、其の前

語、五分の一はフランス語を用ひ、イタリア語これに次ぐ。政體は民主政體にして、二十五の州より成り、大統領は行政部の長たり。近世列國間の協定により、永世局

後には所々に螺旋状の小隧道ありて勾配を緩かにす。

三、地方誌。

首府ベルン Bern は國の北西部にあり。ジュネーブ Geneve はレマン湖脚にありて、時計の製造甚だ盛んなり。

第四節

子ーゲルランド Netherlands。

一、地文地理。

ドイツの西、ベルギーの北に位し、面積我が九州より小なり。ライン河の三角州これが西部を占め、地勢低平、海面より低き部分少なからずして、砂丘の發達と堤防の設備とにより、漸く海水の侵入を拒ぐ。北方に入り込めるゾイデル海 Zuider Zee は、昔時海水の侵入によりて、陸地の變成せしものなり。海風常に吹きて、風車の利用多く、又運河、河川の便他に比な

海は此の國の永久の敵なり



北風のドンクルデール

し、氣候は北東部を除き、概ね溫和なり。

二、人文地理。

人口凡そ五百三十萬、其の密度はベルギーに次ぐ。人種はチュートン種に屬し、宗教は過半新教にして、教育は普及す。政體は立憲王國なり。徳川氏の世以來、本邦と通商せしも、今は本邦との貿易全く振はず。

商業上便利なる位置にあるとマラヤ諸島に於て廣大なる良植民地を有するとに

本國に比し凡そ面積六十倍人口七倍

土地の一半は瘠土砂地にして農産少く、又工業盛んならず、然れども畜産甚だ多く、又外國貿易は甚だ盛大なり。

三、地方誌。

ハーグは首府にして、我が公使館あり。アムステルダム

Hague

Amsterdam

は此の國第一の都會にして、金剛石細工を以て名高し、ロッ

テルダムは其の南西にあり、アムステルダムと共に、ローロ

Rotterdam

ッパ大陸中、屈指の開港場なり。

植民地甚だ廣く、東印度諸島のジャバ、スマトラ、ボルネオの大部、ニューギニアの一部は其の重なるものなり。

Java

Sumatra

Borneo

New Guinea

第五節 ベルギー。

Belgium

一、地文地理。

ネーデルラントの南に位し、面積我が九州より小なり。

西方最低の地は海面以下に位す

地勢は南及び東に高く、北及び西に低く、海岸線の長さは僅に十七里に過ぎず。マース及びシエルトの二河フランスより來りて、此の國を貫き、ネーデルラントに入る。氣候は概ねイギリス南部に似たり。

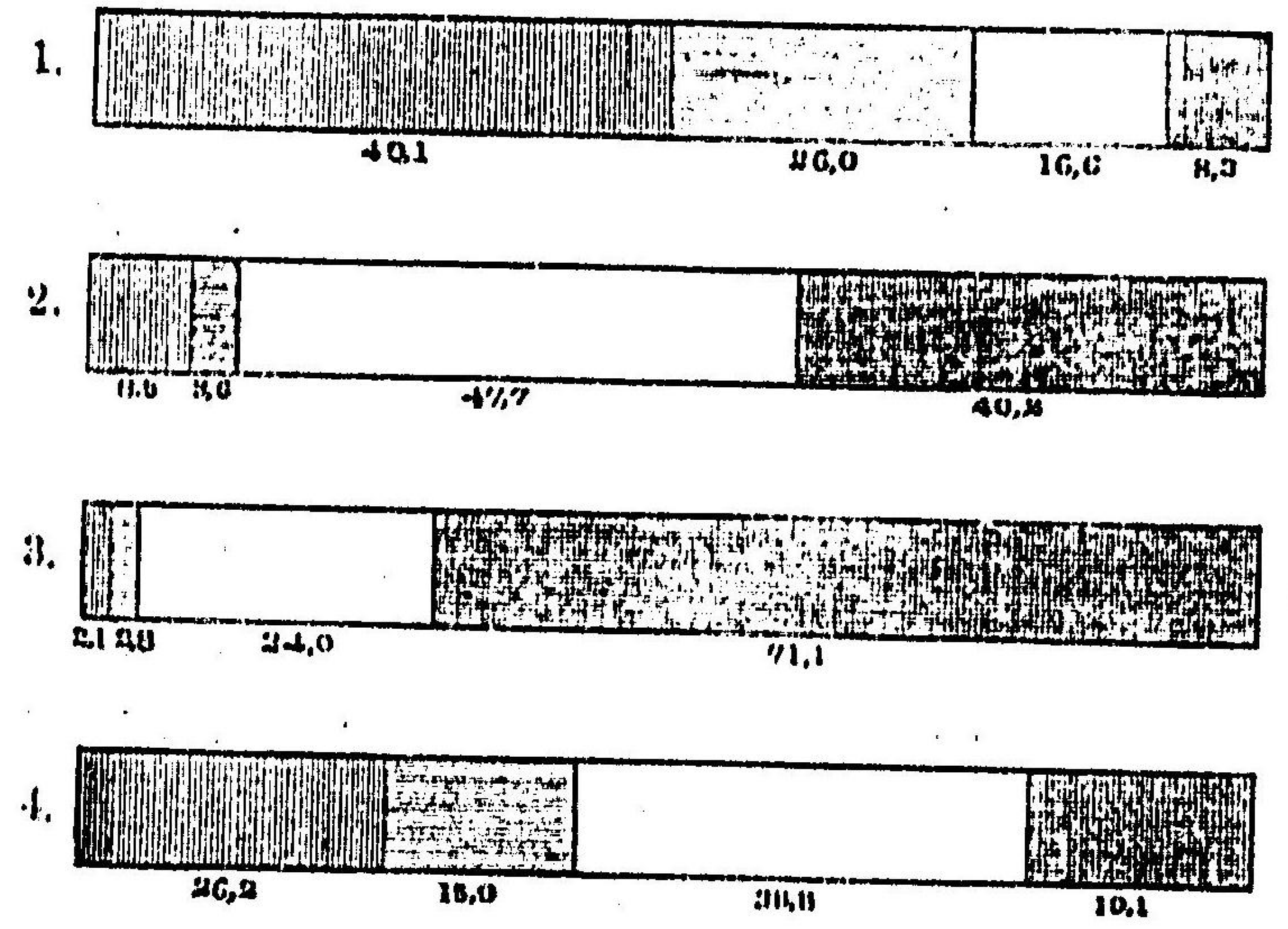
二、人文地理。

人口凡そ六百七十萬、其の密度、世界第一にして、我が國に二倍す。北部にはフレンミッシュ語、南部にはフランス語行はれ、一般に舊教を奉ず。教育は頗る進歩す。政體は立憲君主政體にして、陸軍は五萬の常備兵あれども、海軍の設けなし。

農業甚だ進歩し、生産的の土地頗る少し、故に人口密なる小國にして、農産物の剩餘を輸出するに至る、又鐵及び

ベルギー王はコンゴ君主なり

(中分百) 較比分部産生地土



■ 田
 ■ 牧場
 □ 森林
 ■ 不産地
 日本 英國 法國 德國
 日本 英國 法國 德國

石炭に富み、工業及び外國貿易甚だ盛んなり。本邦との貿易も盛大にして、我が國へは鐵、玻璃を輸入す。河川、運河の利大にして、面積に比し、鐵道の發達せること、ヨーロッパ第一に位す。

三、地方誌。

首府ブラスセルは、異ほ國の中央に位し、我が公使館あり。ワータルローの古戰場は、これなり南方に當る、アンベルスはヨーロッパ大陸のリバプールと稱せられ、日本郵船株式會社の航路に當り、我が領事館あり。

第五章 西部ヨーロッパ。

第一節 イギリス諸島。

一、地文地理。

ヨーロッパ大陸の西に位する島國にして、面積我が國より少しく小なり。大ブリタイン及びアイルランドの二大島と、數多の小島とより成り、沿岸一般に出入に富む。大ブ

我が國は東亞の英國と稱せらる

スコットランドの西岸には峽湾多し

性質スカンデナヴィアの湖に似たり

所によりては一方里に付き一萬人を越ゆ

リテインはイギリス海峡を隔て、フランスに對す。北部は一般に高くして、南部には平地多し。北部はスコットランド、南部はイングランド及びウェールズの地を成す。アイルランドは一般に平地にして、周囲は稍高し。

河川甚だ多く、ジームス・セバーン等を重なるものとす。

スコットランドは湖沼(ロック)に富み、風景甚だ佳なり。

カムチャツカ半島と略ぼ同緯度にあれども、氣候概ね溫和にして、雨量多し、唯濃霧多きを欠點とす。

二、人文地理。

人口凡そ四千百萬、其の密度は我が國より遙かに大なり。人種は重もにチュートン種にして、國民多くは新教を奉ず、但しアイルランドには舊教も亦た行はる。大學は十二あり

れども、教育はすべてドイツを凌駕するに至らず。國人著實保守の氣象に富み、最も海事を重んず。

政體は立憲君主政體にして、全イギリス帝國は甲、大ブリタイン及びアイルランドの合衆王國、乙、印度帝國、諸植民地保護地、屬地とより成る。陸軍は二十三萬の常備兵、戰時多數の義勇兵を有し、海軍の強盛なること、世界第一に位し、戦艦、巡洋艦、水雷艇等を合して、四百隻を越ゆ。

日・清・韓兩國の我が國と日不没國の此の國とは、極東平和の維持、清韓兩國の獨立保全及び該二國に於ける各國商工業の發達に關し、特に利益關係を有するを以て、遂に同盟條約を締結するに至れり。

農産・林産・水産は商工業に比して盛んならず。而して穀

明治三十五年
西曆一九〇二年
一月二十一日
一月二十一日
一月二十一日
一月二十一日

敷島富士等
の諸甲鐵
艦は此の國
に於て製り
せられたり

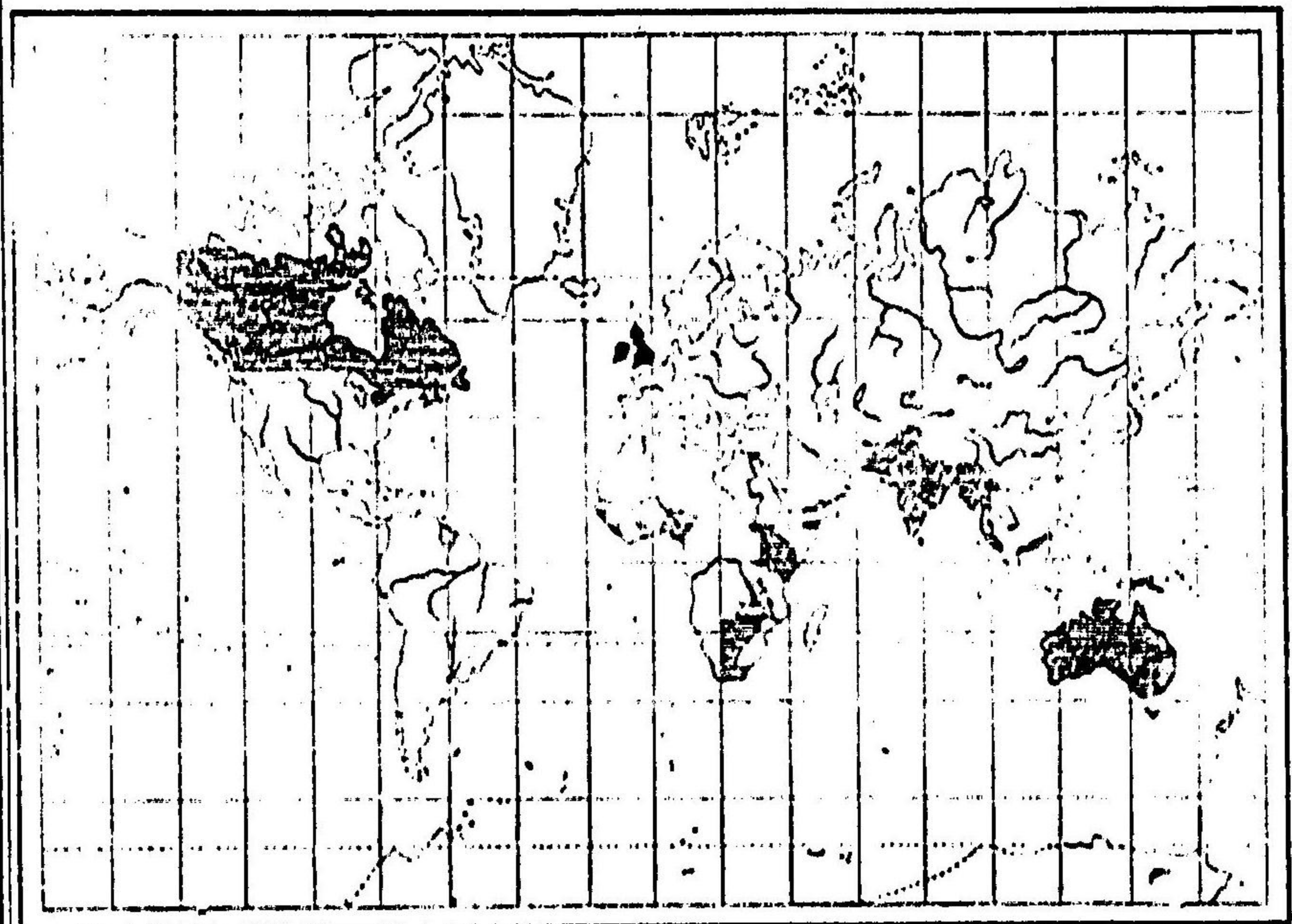
物の供給は一部これを他國に仰ぐに至る。然れども工業の盛大他に比類少く、特に造船及び鐵工業を以て第一とし、鐵及び石炭の産額は北アメリカ合衆國に次ぐ。又綿絲紡績業は世界鍾數の殆んど半ばを占む。此の國は商業國として世界第一位を占め、輸出入額は八十億圓に達す。自由貿易制にして、酒類、煙草等を除く外、輸入税を課せず。主要なる輸出品は綿布、毛布、鐵機械及び石炭にして、我が國へも盛んに輸出



道鐵のシリイ

國へも盛んに輸出

マンチユ
ンリテ
クソバ
ト間の
道は世
道のは
始め



地領のシリイ

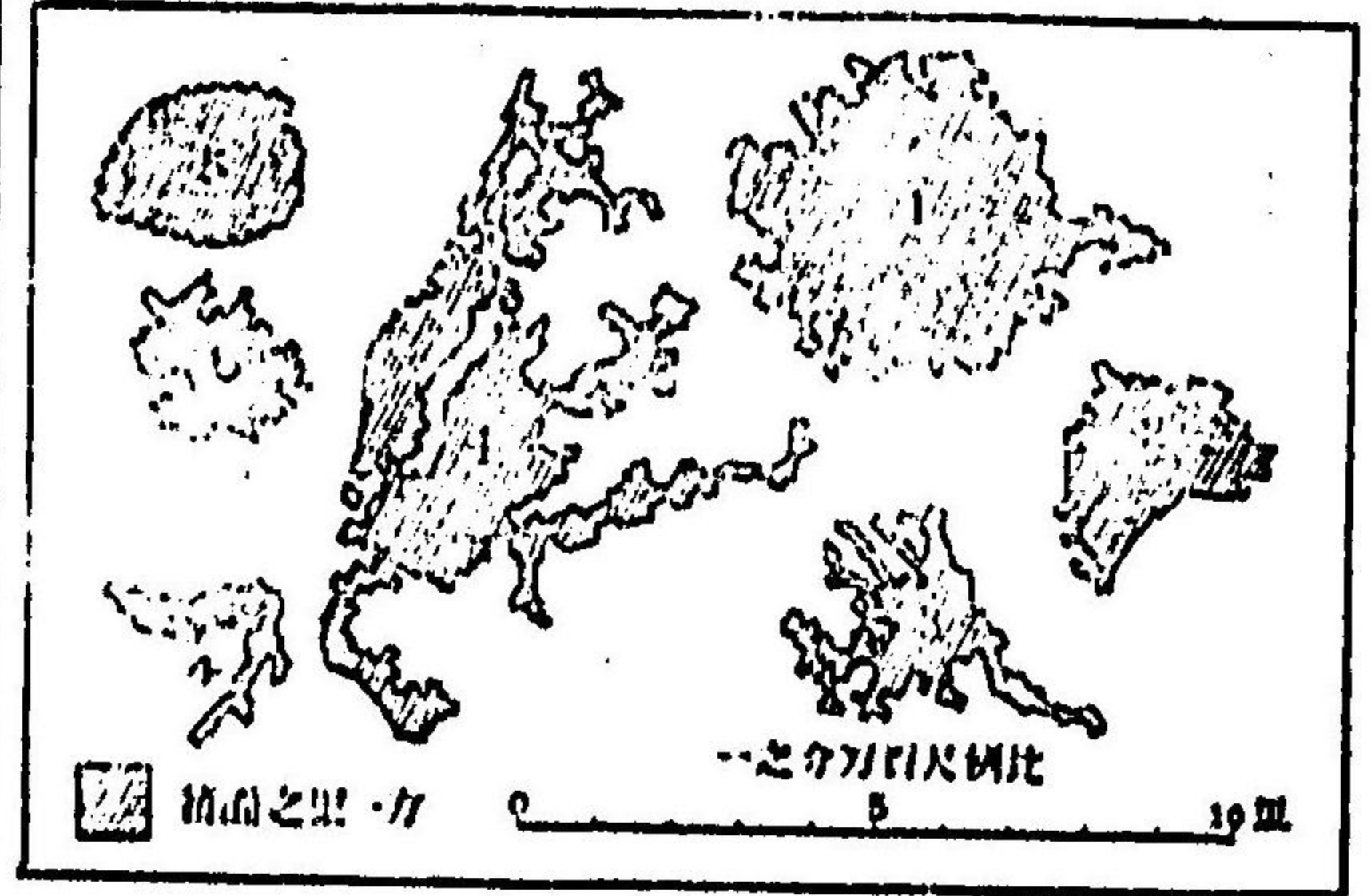
し(石炭を除く)本邦貿易上第一の輸入國たり。交通、航海業は最も發達し、商船凡そ九百萬噸、海員凡そ二十四萬人を超え、商船の噸數世界の半ばを占め、地球上到る所の港にイギリスの國旗を飄せる船舶を見ざる

ことなく、我が國の貿易も半はイギリス船によりて行はる。面積に比して、鐵道の發達せることはベルギーと共に世界の首位に居り、河川運河の水利甚だ大なり。

三、地方誌。

本初子午線の起點
氣候霧多きを欠點とす

大都會面積の比較



ロンドン(1) ニューヨーク(1)
東京(2) リバプール(1)
シカゴ(1) アムステルダム(1)

首府ロンドン(London)はテムズ河に跨り、近傍グリーンウィッチ(Greenwich)には有名なる天文臺あり。人口凡そ四百五十萬、外廓を合すれば、六百六十萬を超え、イギリス國人口の六分の一はここに集中す。又面積に於ては、北アメリカのニューヨーク

マンチェスターは一に綿の都と稱せらる

クを除く外、これに及ぶものなし。王宮・セントポール寺・國會議事堂・ウエストミンスター寺院等特に壯觀なり。又日本郵船株式會社の航路に當り、本邦公使館及び總領事館あり。ニューカッスルはイングランドの北部に位し、造船業盛にして、有名なるアームストロング會社あり。リバプールは此の國第二の都會にして、北アメリカとの通商盛大なり。マンチェスターはリバプールの東にあり、世界の最大工業地方の中心として知らる。バーミンガムは界ほイングラントの中央にあり、金屬器具の製造を以て名高し。又ロンドンの北方にケンブリッジ(Cambridge)、西方にオクスフォードあり、共に有名なる大學あり。グラスゴウ(Glasgow)は西岸に接近し、クライド河に跨り、工業の大中心にして、造船業極めて盛んなり。

エジンバラは其の東に當り、出版・醸酒の業盛大にして、有名なる大學あり。ダブリンはアイルランド第一の都府にして同島の東部に位す。

領地廣大にして、其の面積は世界陸地の五分の一、人口は四億に達し、カナダ・印度・オーストラリアは其の重なるものなり。又東洋に於ては香港を領し、威海衛を借領せり。

第二節 フランス

一、地文地理。

ヨーロッパ大陸の西部を占め、北はイギリス海峡を隔て、イギリスに對す。面積凡そ三萬四千方里ありて、我が國より少しく大なり。輪廓は畧ぼ六角形を成す。

地中海沿岸の東部と北西部の半島とを除き、沿岸概ね低

コルシカ島にはイタリヤ語行はる

平にして、特にピスカヤ灣沿岸の南半は砂丘相連なり、澤湖甚だ多し。嵐島多からず、唯南東にコルシカ島あり。

國の南東部は多く山地にして、北西部は平原なり、南境はピレネー山系、東境にはアルプ山系あり。アルプ山系のマントワラ山系はヨーロッパ第一の高山にして、頂上に觀象臺あり。又國の中部には高地ありて、死火山に富む。

河の重なるものにはセイヌ、ロアール、ジロンド(ガロンヌ)及びドルドーニュ二河の合流、ローヌ等あり。河は多様な方向に分布せられ、且つ運河を以て互に連絡せらる。又河口は往々三角江を成し、潮波の侵入急劇なり。氣候は一般に溫和なり、特に地中海沿岸は冬季霜を見ずして、其の東部は最も避寒に適す。

ロロパの交際
社會には外
ランス語外
交文書には
フアンスタ
多く用ひら
る

鐵道は少
く且つ及
び石炭の産
地相隔離と
するを欠點と
す

二、人文地理。

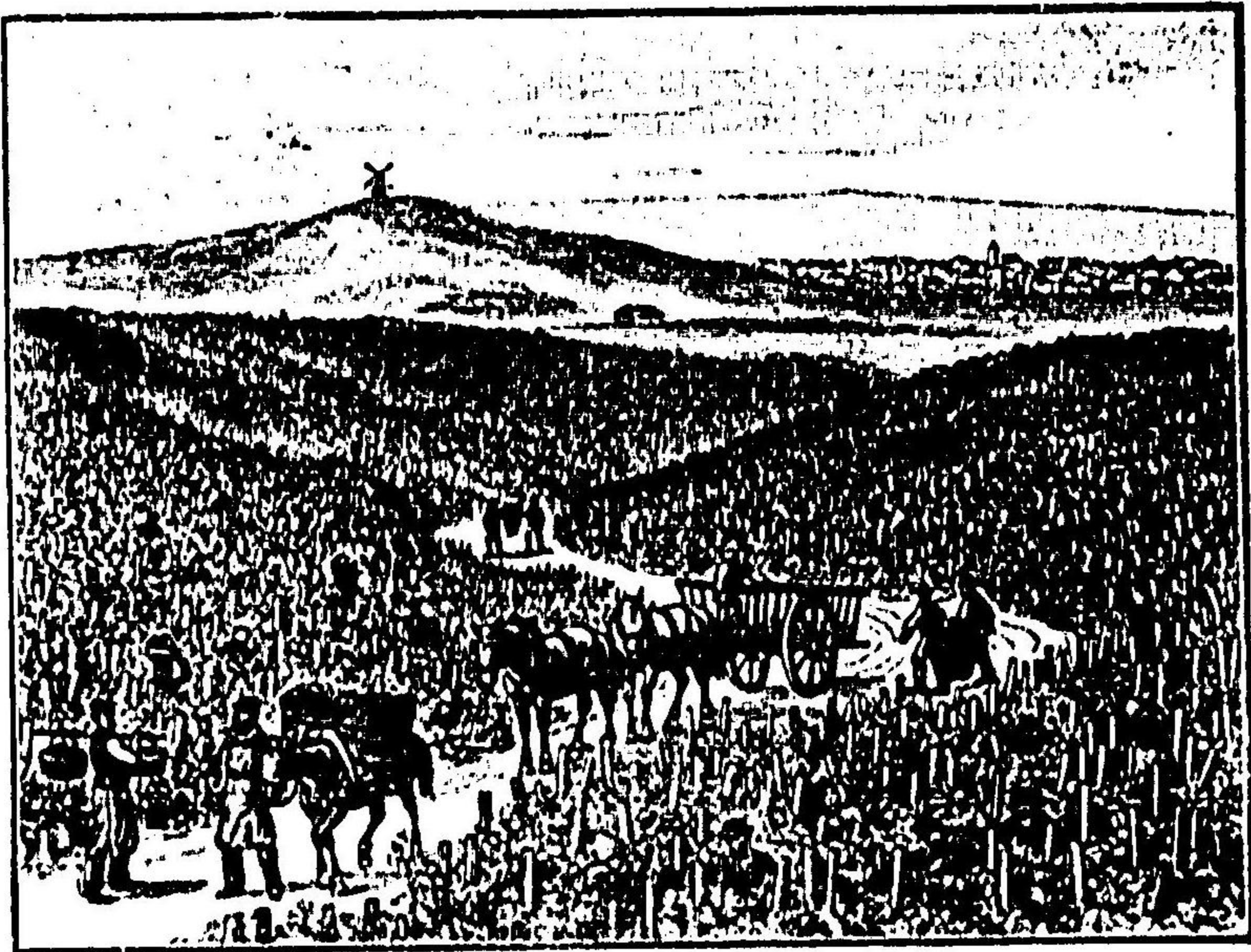
人口凡そ三千九百萬、人口著しく増加せざるを特性とす。人種はケルト種にして、^{Latin}ラチン及びケルトン種を混ず。國民大抵舊教を奉じ、教育の進歩著し。

政體は民主政體にして、行政權は大統領これを握きり、又國債の總額は諸強國中第一に位す。常備兵五十一萬、戰時二百五十萬の陸軍を有し、其の盛大ドイツに匹敵し、海軍は世界第二に位す。

北部は穀物、南部は葡萄の産多く、葡萄酒の産額は世界第一にして、^{Champagne}シャンペン酒は北部より産す。絹織物を始めとし、精巧なる美術工藝品は他に比なく、我が國の貿易上重なる輸出國にして、我が國は重にも生絲を輸出し、縮緬吳呂

ロロパの
服装流行の
中心地
別天樂の

フランスの葡萄園



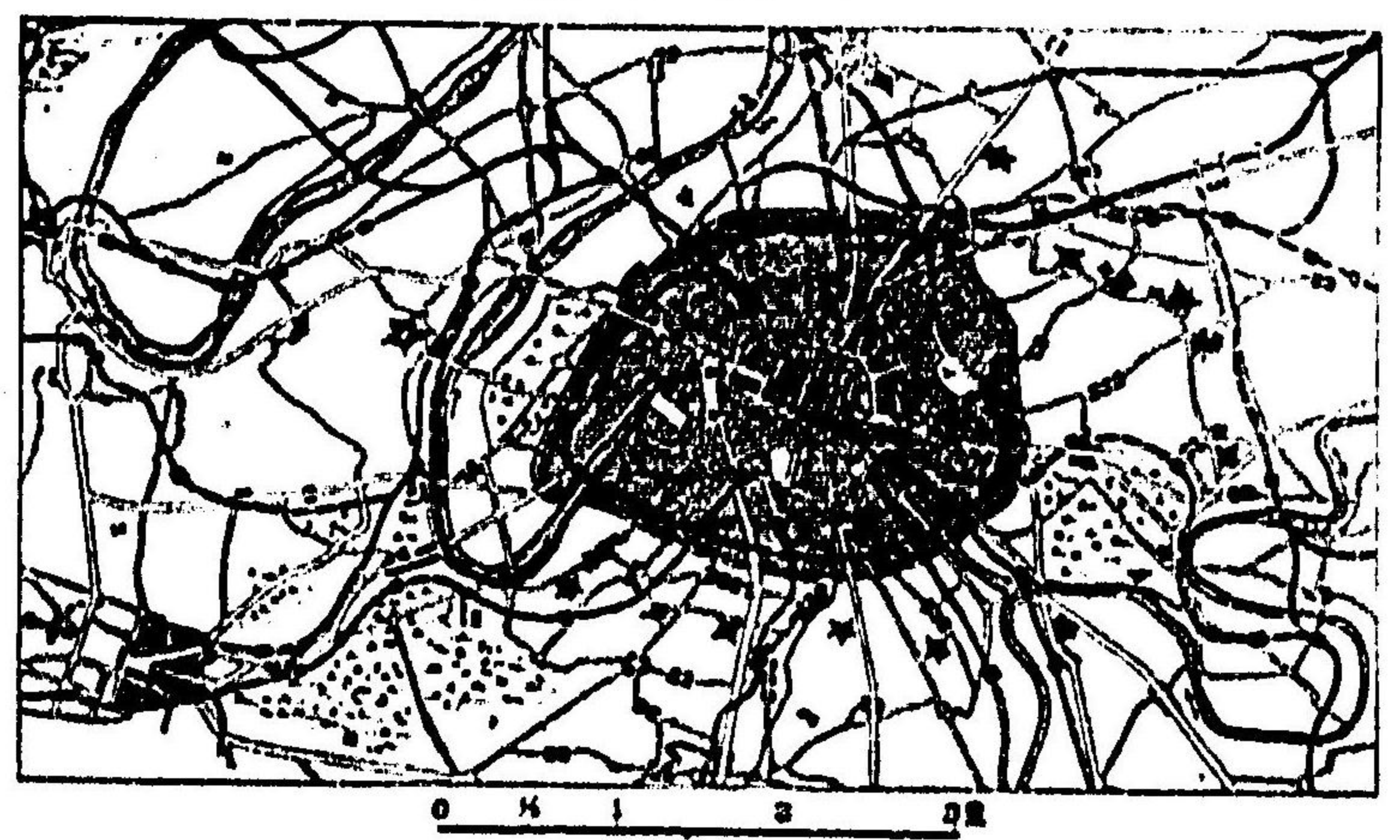
を輸入す。

交通は頗ぶる發達し、河川及び運河の水利も至大なり。

三、地方誌。

首府^{Paris}パリはセーヌ河に跨り、人口凡そ二百七十萬、ヨーロッパ第二の都府にして、我が公使館あり、府を圍むに堅固なる廓壁を以てし、附近には要

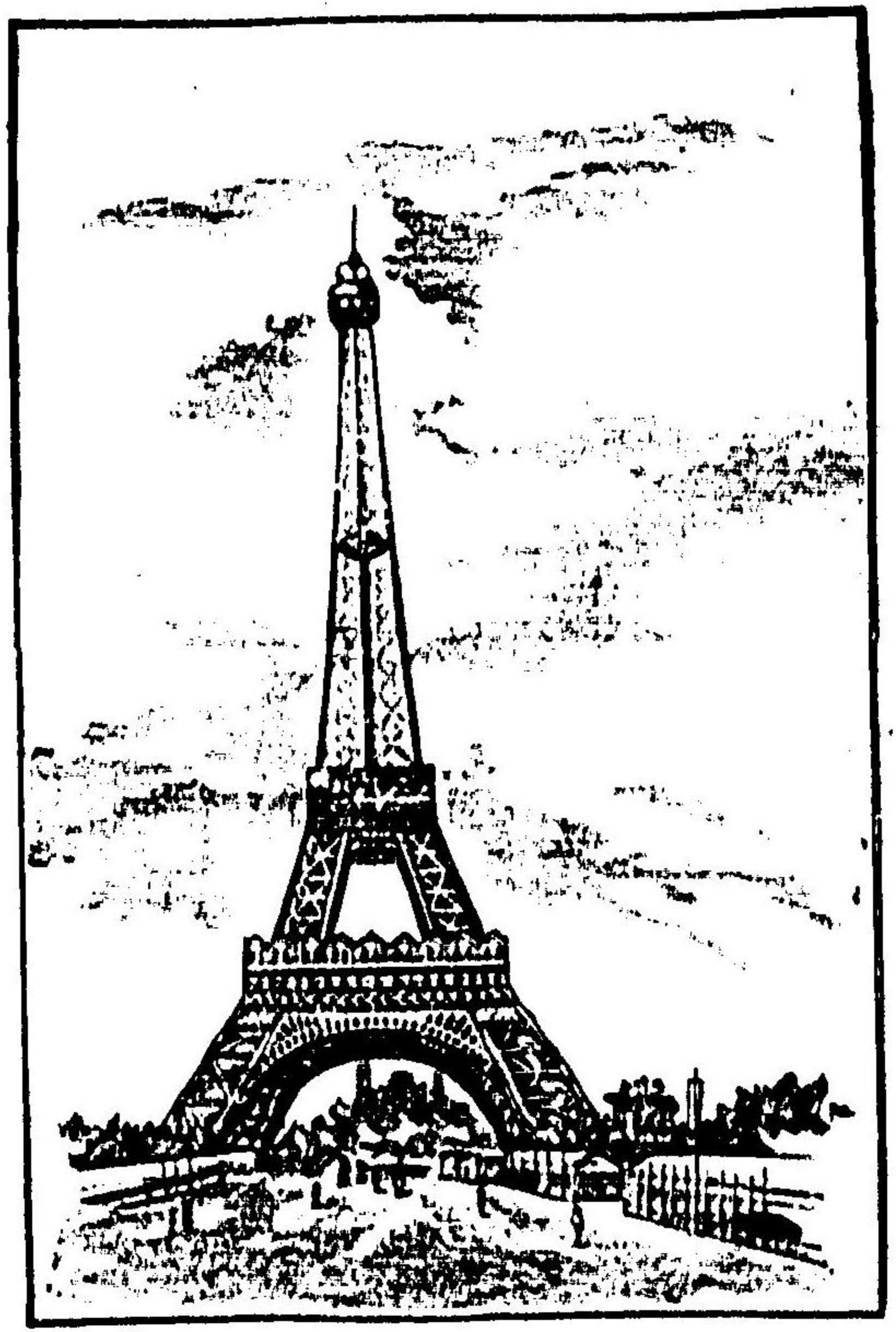
近 附 び 及 り バ



塞の設け甚だ堅固なり。府内にはノートルダム大寺、凱旋門、エーフェル塔等、廣大なる建築物少からず。

ルアンはバリの北西に當り、綿絲紡績の中心にして、フランスのマンチエスターと稱せられ、ル・アーブルはセイヌ河口に位し、此の國第二の開港場にして、フランスのリアブルと稱せらる。リールはベルギーの境に近く、堅

固なる要塞を有し、織物業の中心なり。ダンスケルクはイギリス海峡の要津たるカレーの東にある開港場にして、近時貿易の發達甚だ大なり。ボルドーはガロンヌ河の下流に位し、葡萄酒の輸出を以て世界に名高く、又南アメリカとの貿易甚だ盛



塔 ル ヴ ェ

なり。マルセイユは地中海岸にありて、世界交通の要衝に當り、此の國第一

の開港場なり。南東にトゥーロンの軍港あり、要塞の設け堅固にして宏大なる造船所あり。リヨンはローヌ河の右岸に位し、絹織物製造の中心にして、本邦領事館あり。

此の國の領地は廣大にして、其の面積本國に二十一倍し、多くはアフリカにあり、アルジェリア及びサハラの一部は其の最も重なるものなり。又東洋に於ては、印度支那の一部を領し、又南清の廣州灣を借領す。

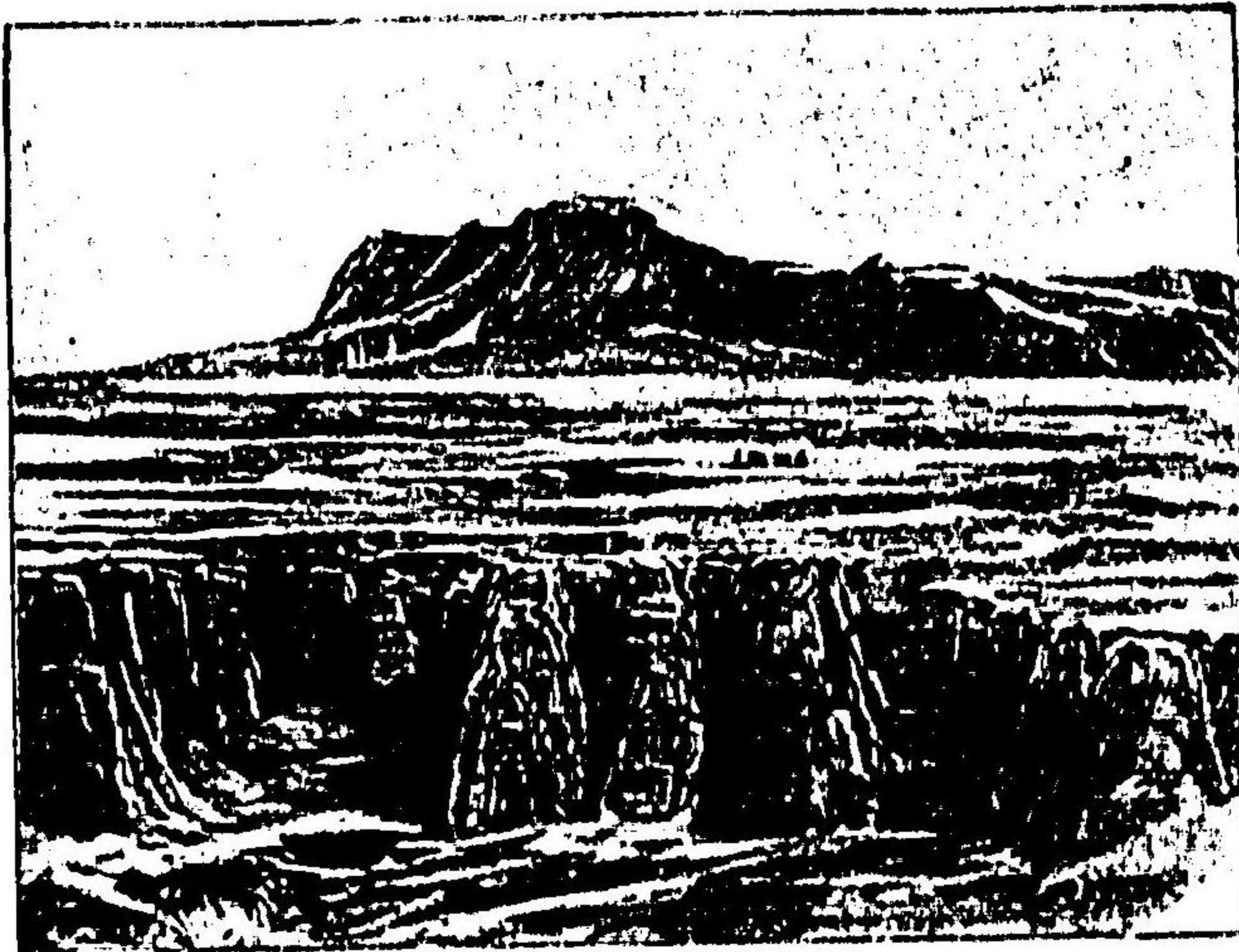
第六章 南部ヨーロッパ。

第一節 イスパニア。

イスパニアはポルトガルと共にイベリア半島の地域を

一、地文地理。

イベリア半島の面積は凡そ四萬平方里、そのうちイスパニアは八割を占む。



シラチバタ

成す。イベリア半島はヨーロッパの西端に位し、ジブラルタル海峡を隔て、アフリカのマロッコに對す。地勢は一

大高原にして、高峻なる山脈其の間に連亘し、北境にピレネー山脈南岸に近く、シエラネバダありて、河岸及び河口に狭長なる低地を見るのみ。沿岸は大風曲に乏しけれども、ピレネー山系の西側には、鋸齒の如き出入を見る。イベリア半島の水系は

三個の斜面に分れ、大河は大西洋斜面にあれども、其の下流多くはポルトガルにあり。氣候一様ならざれども、面積の大部を占むる中央高原は雨量に乏しく、寒暑の差大なり。

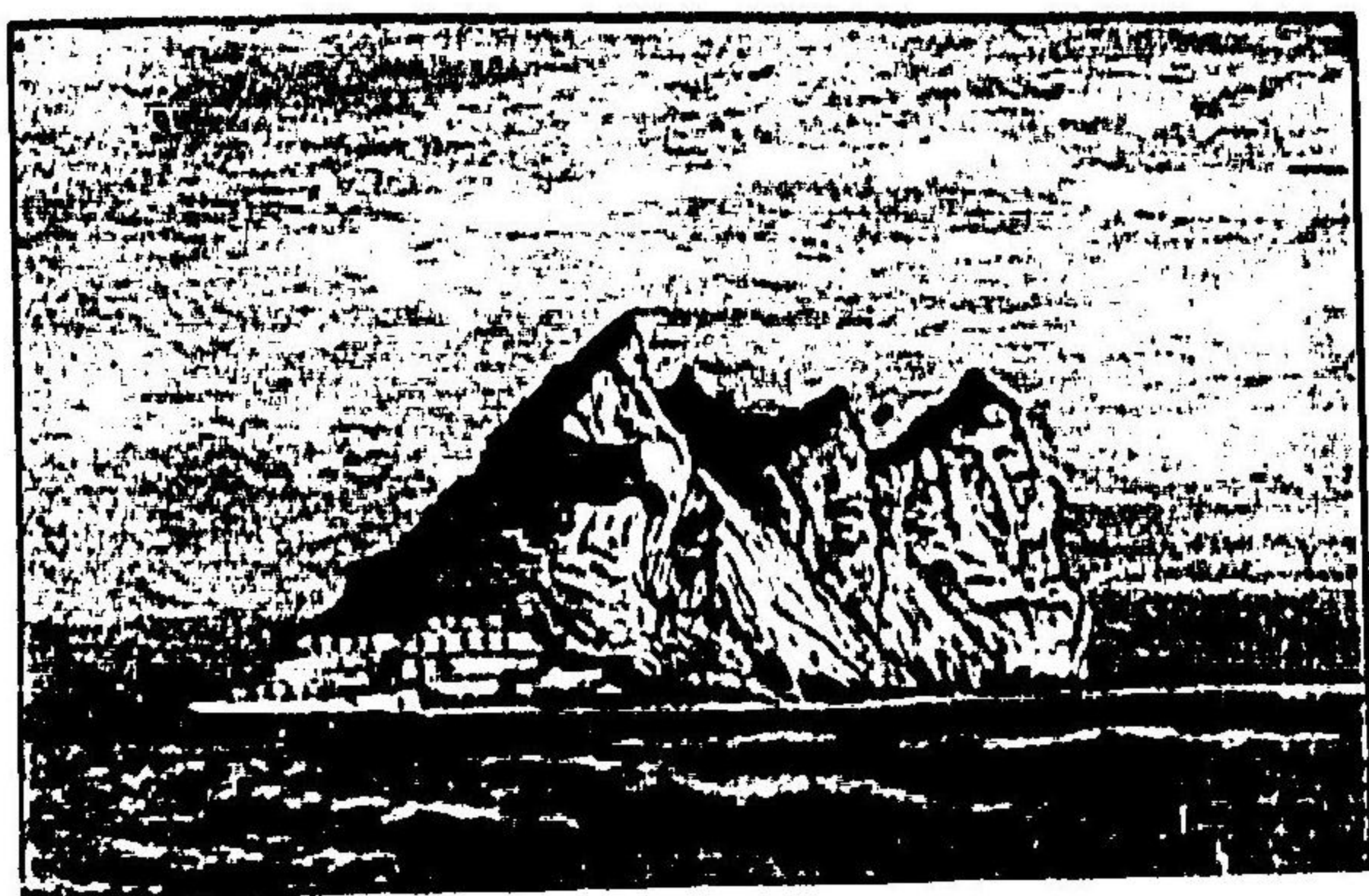
二、人文地理。

人口凡そ一千八百萬、其の密度は我が國の三分の一より小なり。人種は諸種族の混合より成り、北部の山間にはイペリア人(Basque)あり。國民殆んど國教たる舊教を信奉し、教育振はず。又闘牛の遊技今尙ほ盛んに行はる。政體は立憲君主政體にして、國勢は舊時の面目なし。然れども南アメリカ及び南洋諸島に於ては、イスパニヤ語今尙ほ多く行はる。

重もなる産業は農業にして、葡萄酒の醸造甚だ盛んなり。

昔時は通商
探險を以て
世界に雄飛
せり

礦物は鑽石
の儘にてイ
ギリスに輸
出する高多



ジブラルタル

石炭に乏しけれども、金屬、礦物に豊富にして、銅は世界第二の産額を有す、然れども工業は未だ盛んならず。地勢平地に乏しく、河川の水利大ならざれば、交通は他のヨーロッパ諸國に劣れり。

三、地方誌。

首府マドリード Madrid は海面を抜くこと、凡そ二千四百尺の高所に位し、我が公使館あり。バルセロナ Barcelona は地中海岸に位し、商工業の盛んなること此の國第一なり。ビルバオ Bilbao は北岸にあり、鑽石の輸出盛んなり。カヂス Cadix は南西岸に位し、

古來有名なる都府にして、トリアフルガル岬はこれより南西に當る。
Tragar

現今此の國はアフリカの西岸に面積凡そ四萬方里の領地を有するに過ぎず。

四、ジブラルタル。

Gibraltar

ジブラルタルは地中海の門戸を扼する一小半島にしてイギリスに屬し、要塞甚だ堅牢なり。

第二節 ポルトガル。

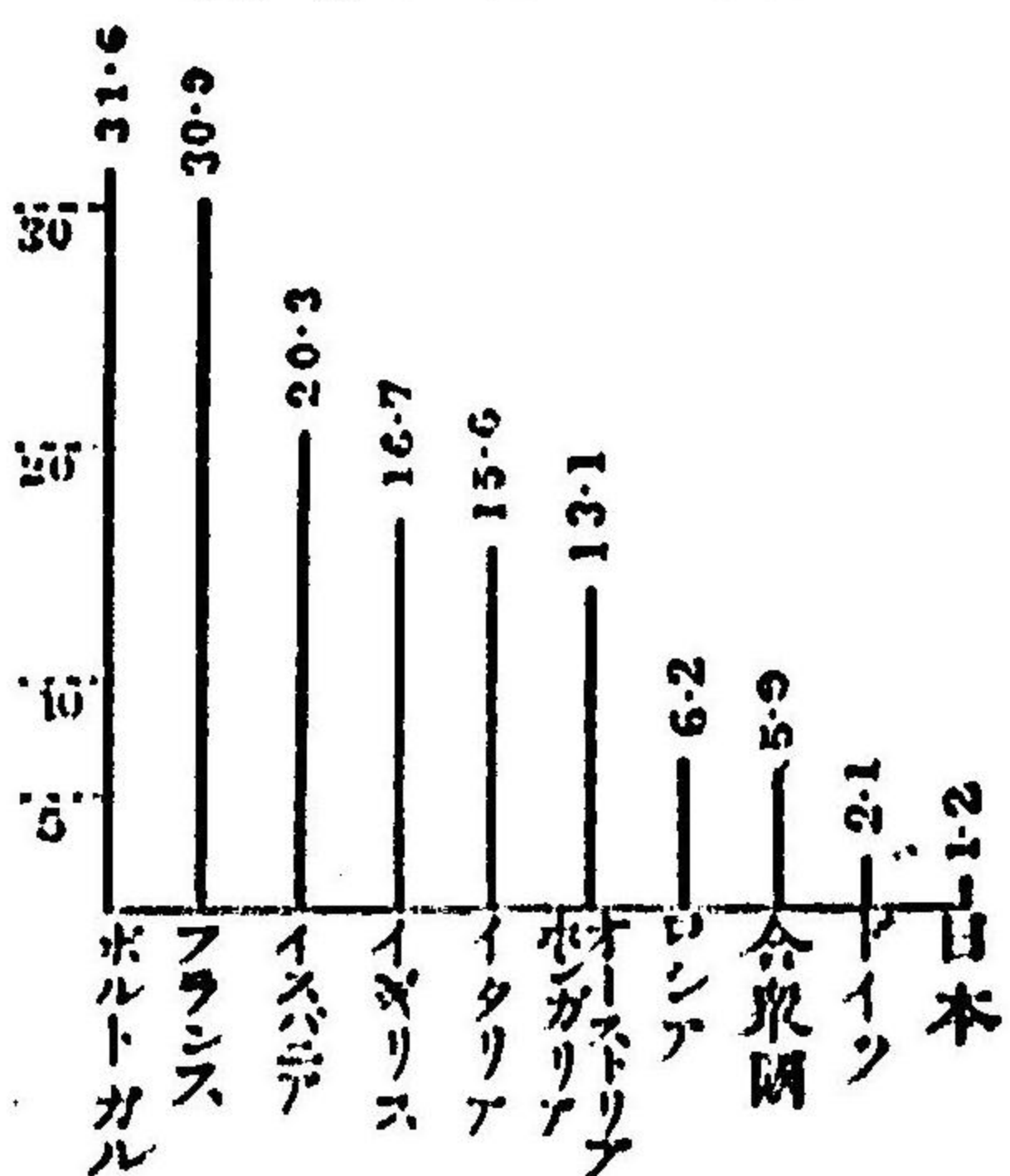
Portugal

一、地文地理。

イベリア半島の一部を成し、ヨーロッパの極西に位す。面積凡そ我が北海道に等しく、平地少からざれども、沿岸出入多からず。河は多く其の源をイスパニアに發し、下流は

沿岸はヨーロッパの雨量を有す

國債額(單位磅) (一人に付にき)



水利多し。大部は大西洋の影響を受け、氣候溫和、雨量に富む。

二、人文地理。

人口凡そ五百四十萬、國民殆んど皆舊教を奉ず、教育は

未だ普及せず。政體は立憲王國にして、兵備微弱、國勢昔時の勢なし。國債甚だ多く、財政の整理未だ成らず。重なる産業は農業にして、葡萄酒は輸出品中第一位を占む。又鐵道、河川によりて交通の利少からず。

三、地方誌。

首府リスボンはタホ河口に位し、安全なる良港を有す。
Lisbon *Tago*

オポルトはドイロ河口に位し、ポート酒の輸出盛んなり。
 Operto
 此の國の領地はアジアに於ては澳門、アフリカに於ては
 ギニアの一部等を始めとし、面積凡そ十三萬方里に達す。
 Guinea

第三節 イタリア

一、地文地理。

ヨーロッパの南部に突出せる中央の大半島なり、面積凡そ一萬八千方里、我が本州より少しく大なり。
 地勢長靴の如く、其の爪先及び脛前に各大島あり、北東部の沿岸は低平なるも、南部及び西部の沿岸は絶壁少からず。
 アルプ山系は北境を限り、アペニン山脈は國中を縦貫す。
 北部にはロンバルディア平原ありて、ポー河の流域に當る。
 Lombardia Po
 此の國は頗ぶる火山に富み、地震も亦た多し。

地勢狭長なるを以て、河流の大なるもの少し、唯ポー及びチベルの二河稍大なりとす。
 Tiber

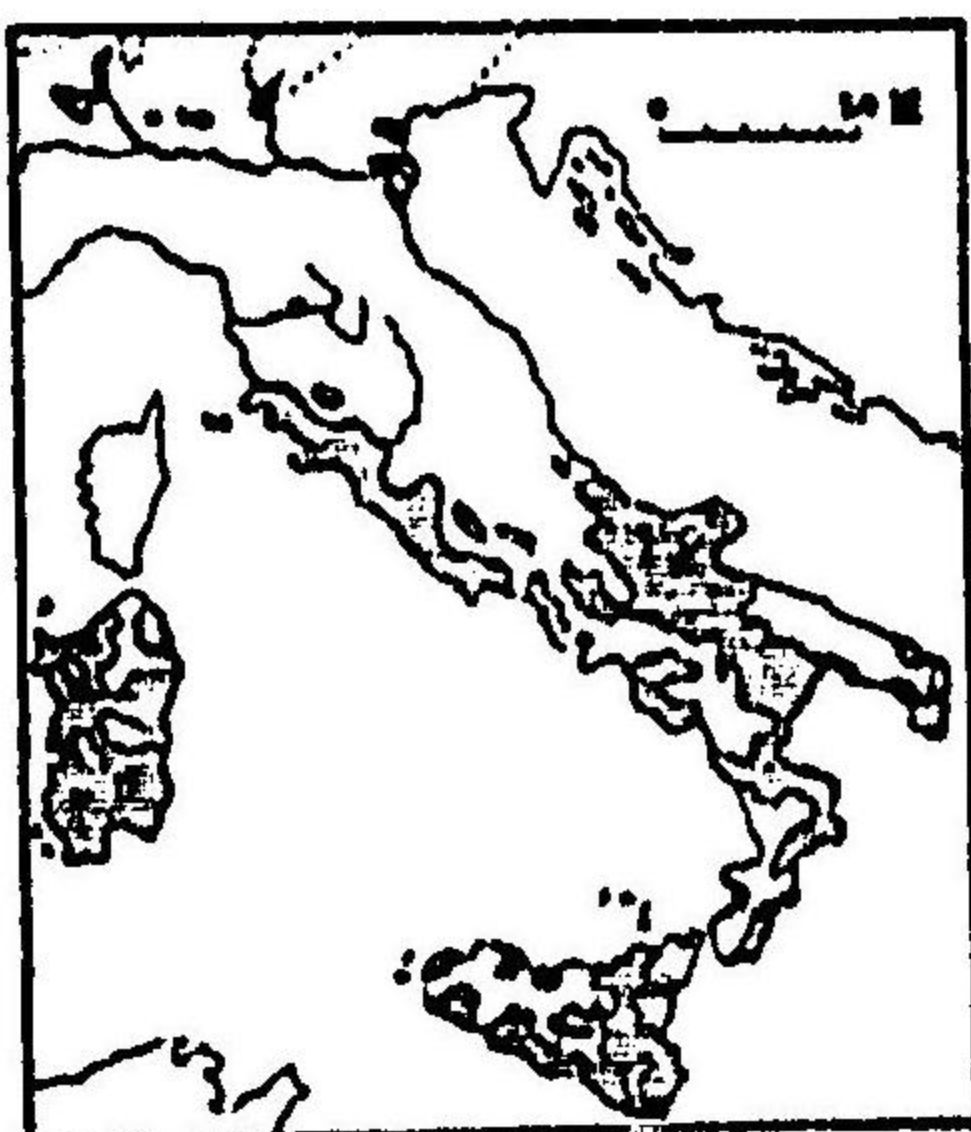
地域南北に長く地勢多様なれば、氣候も亦た一ならず。

唯所々にマラリアの流行を見るは、風土上の缺點なり。

二、人文地理。

人口凡そ三千二百萬、舊教は國教なり。高等教育は頗ぶる發達し、

方地ヤリラマのアリタイ



大學二十一あり。文學、美術、音樂は古より盛大にして、各國美術家の來り遊ぶもの常に絶えず。

舊教の淵源地にして、其の教長たる羅馬法皇は首府ローマにあり、政治上昔時の權力更らにこれなしと雖も、基督教

イタリヤは火山・蠶業・美術等の盛んなる點に於て我が國に似たり

鐵及び石炭に乏しきは此の國の欠點なり

國の政府は羅馬法皇に對し、今尙ほ君主と同一の待遇をなす。

政體は立憲君主政體にして、海軍は世界第七位を占め、ヨーロッパ六大強國の一に數へらるゝも、國力の富は遙かに他に及ばず。此の國は昔時ローマの本國にして、ヨーロッパ中キリシヤに次げる先進文明國なりき。

國民多くは農を業とし、穀物・葡萄酒及び橄欖油を主産物とす。生絲の産ヨーロッパ第一にして、珊瑚・硫黃・大理石の産は他に類なし。三面海を控へ、且つアルプ山系を通ずる大隧道により、中部ヨーロッパ及び東洋諸國間通商の要路に當り、貿易盛大なり。

三、地方誌。

「テールブルスを見て死すべし」の俚諺あり

ベスピア火山其の一



(二の共同)



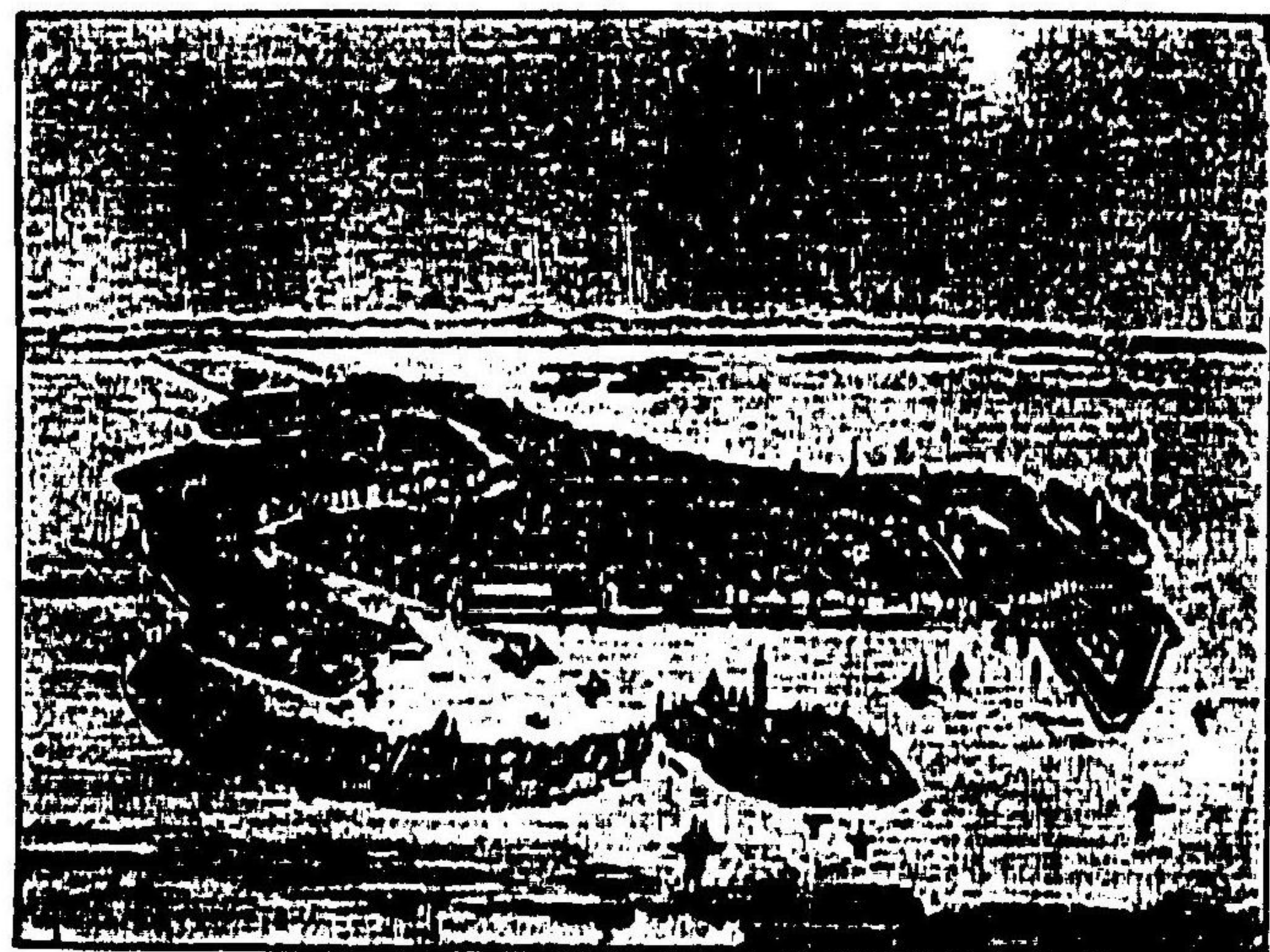
ベニス オーストリア
トリノ ナポリ
ローマ バチカン
ジェノバ

港場にして、陸路中部ヨーロッパに至る要點を占む。フィレンツェはイタリヤ中部の都會にし

首府ローマはチベル河に跨り、我が公使館あり。舊時はヨーロッパ政治上又は宗教上の中心たりしが故に、コロシウム・セントポール大寺・バチカン宮殿等宏大なる建築物甚だ多し。ナポリは國の南西岸にあり、此の國第一の大都會にして、ベスピオ火山其の東に聳え、風光明媚なり、近傍には同火山噴火の際埋没せしポンペイ及びヘルクラナム二市の遺跡あり。ジェノバは北西岸にあり、此の國第一の開

市中の交通はゴンドラボートと稱する小舟による

ジブラルタルと地中海の要地なり



ア チ ナ ベ

て、美術の中心なり。ベチチアは同名の灣頭に位し、數多の島上に立ち、市街恰も水上にあるが如し、古來商業を以て有名なり。此の國はアフリカの東岸に少許の植民地及び保護地を有するのみ。

四、マルタ。

マルタはシチリア島の

南方に位し、イギリスに屬し、地中海艦隊の根據地なり。

第四節 バルカン半島の諸邦

Balkan

一、總記。

河口より鐵門に至るまで永世局外中立なり

ヨーロッパの南部三半島中最東に位し、三面海を繞らし、面積我が國より少しく大にして、沿岸概ね出入多く、南東部に多島海あり。地勢甚だ錯雜を極め、大河に乏し、唯ドナウ河はホンガリアより來り、黒海に入る。

北部の氣候は大陸性なれども、南方は溫和なり。人口の密度は大ならず、これ諸種の源因によりて、交通未だ進歩せず、商工業未だ發達せざるによる。人種は數多あれども、重なるものは、スラフ種トルコ種等にして、農業及び牧畜を業とす。

二、各邦土誌。

(イ) ボスニア及びヘルゼゴビナ。 Bosnia Herzegovina バルカン半島の北西部

此の國の發行紙幣なく銀行なし

を占め、オーストリア、ハンガリア、これを支配す。

(ロ) モンテネグロ Montenegro、ヘルゼゴビナの南東に位する小侯國

にして、列國の協定により、沿岸には他國軍艦の來泊を禁じ、又警察權はオーストリア、これを握る。

(ハ) セルビア Serbia、セルビアはボスニアの東にある立憲王國

にして、首府ベルグラドには大學の設けあり。

(ニ) ブルガリア Bulgaria、ドナウ河下流の南にある小侯國にして、

東部ルムニア Roumelia (南部ブルガリア) を含む。名義上トルコの屬

國なれども、内政は全く自治なり。首府ソフィア Sofia には大學の設けあり。

(ホ) ヨーロッパトルコ Turkey in Europe。

トルコ (一名オットマン帝國) は、ヨーロッパ、アジア、アフリカ Turkey Ottoman

在留外國人は治外法權の下にあり

に跨り、ヨーロッパトルコはバルカン半島の一部を占む。住民重もに回教を信じ、基督教これに次ぐ。國人頭巾を被り、座蒲團を用ひ、東洋の風習を存す。

政體は君主專制にして、皇帝の稱號をサルタン Sultan と云ひ、回

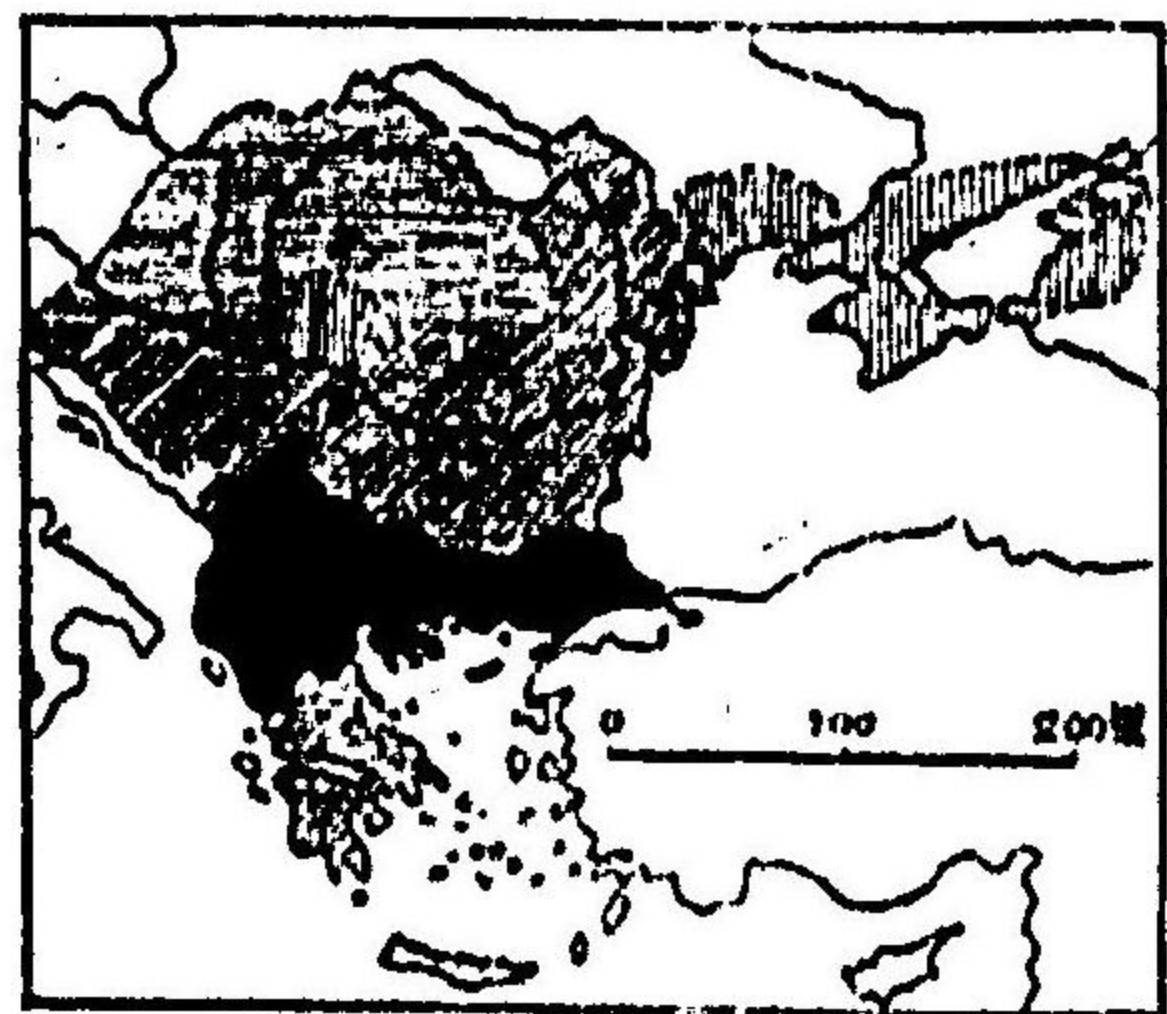
教の經典に本づきて、國家を支配す。屢憲法の制定ありしも、國の現状未だ其の實施を許さず。財政の整理十分ならず、食鹽及び煙草は政府これを專賣する所なり。地味肥沃なれども、僅かに其の一小部分のみ開墾せらる、これ農業の幼稚、交通の不便、税法の苛酷なるによる。交通は漸次進歩し、次第に鐵道の延長を見る。

首府コンスタンチノブル Constantinople はボスフォロス海峽に臨みて、二

大陸交通の要點を占め、人口凡そ百十萬、回教寺院の高塔聳

モト東ローマ帝國の首府

小縮のバルカン半島



城區シヒ失。紀元七十
城區シヒ失。紀元八十
城區シヒ失。紀元九十
(國本)城區ノ在現

の状態に至れり。

(へ)ギリシア。ギリシアはバルカン半島の南端に位し、同半島中の半島を成し、コリント地峽によりて、又更らに南北に二分せられ、南部ギリシアはモレニア半島の地を成し、形手背の如く、四指突出の状あり。沿岸の屈曲他に比なく、島嶼亦た甚だ多し。政體は立憲君主政體にして、議會は一院よ

立して、外觀甚だ美なり。
トルコ帝國全土の領域はもと甚だ廣大にして、十六世紀に於ては、バルカン半島の全部及びホンガリアをも占有せしが、爾後次第に縮小して、遂に現今

礦物は鐵石の儘にて輸出せらる

船舶モレニア半島を迂回せずイタリヤより直ちに小アジアに至り得べし

地理上バルカン半島以外に位す

り成る。昔時はヨーロッパの先進國にして、文學技藝の淵源たりき。近時トルコと戦ひ、大敗の結果、國債大に増加し、仲裁せる諸強國の委員、財政の整理に當れり。

氣候溫暖、地味肥沃、乾、葡萄は此の國第一の輸出品にして、鐵石これに次ぐ。又此の國の商船は黒海及び東部地中海の貿易に従事するもの甚だ多し。交通は次第に開け、近時コリント地峽を開鑿するに至れり。

首府アテネは國の南東に位し、大學の設けあり、西方にヒ

レウスあり、此の國第一の開港場なり。

三、ロマニア

ロマニア王國はドナウ河下流區域を占め、地勢平地多し、政體は立憲君主政體にして、國債の額甚だ大なり。農産及

び畜産盛んにして、ドナウ河の水利と鐵道とにより、交通便
利なり、首府をブカレストと云ふ。
Bukarest

第七章 ヨーロッパの小國

一 諸小國の畧説。

已に前に記せる諸國の外、面積人口共に甚だ小にして、獨
立の名ある諸小國を左に略記すべし。

リヒテンシュタインはオーストリアの西方に當る侯國
Liechtenstein
にして、面積凡そ十一方里、人口凡そ一萬住民は兵役の義務
を負はず。

ルクセンブルクはベルギー・ドイツ・フランスの間に介
Luxemburg
在する大公國にして、永世局外中立なり。面積凡そ百六十

製鐵の職工
一萬人以上
あり

資本金百二
十萬磅の合
資社これ
を管理す

方里、人口凡そ二十四萬、鑛業盛大にして、製鐵の産額は百萬
噸を越ゆ。

モナコはフランスの南東隅にある侯國にして、面積一方
Monaco
里餘、人口凡そ一萬三千、常備兵は五人の將校、七十人の兵卒
より成り、歳入は重もに一種の賭博的遊戯臺の課税に仰ぐ。

又此の國發行の貨幣及び郵便切手あり。
アンドラはイスパニアの北東隅ピレネー山系中にある
Andra
共和國にして、面積凡そ三十方里、人口凡そ六千あり。

サンマリノはイタリアの中に含まれ、面積凡そ四方里、
San Marino
人口凡そ一萬陸軍は三十八人の將校、九百五十人の兵卒よ
り成る。

第八章 總論—人文地理

一、住民。

ヨーロッパの人口は凡そ四億にして、其の密度、六大洲中最も大なり。フランスを除き、一般に人口の増加大にして、特に工業の發達に伴ひ、都府及び其の附近に集中す。

人種の重もなるは地中海人種(白人種)にして、住民の最多數を占め、其の移住は全地球上に及び、Latinラチン・スラブ・チュートン・ケルトの四種族に分れ、Magyar黄人種これに次ぎ、Slavホンガリアのマジャル・トルコのトルコ種族等は、其の重もなるものなり。

ヨーロッパの諸國は殆んど全く基督教國にして、唯トル

コのみ回教國なり。基督教の重もなる三大派に舊教、新教及びギリシア教あり、重もに舊教はラチン、新教はチュートン、希臘教はスラブ種族に行はれ、多くは其の國教となれり。教育はバルカン半島の大部を除き、すべて進歩普及す、而してチュートン種を第一とす。

二、政治區劃。

海岸線の發達、氣候の溫和、地味の肥沃、産業の豊富、世界交通の好位置は、ヨーロッパ邦國富強の基礎を作り、我が條約國も十四の多きに及び、他大陸は殆んど全く此の大陸の勢に壓倒せらるゝに至れり。而して其の政體は概ね立憲政體にして、ロシア及びトルコのみ專制政體なり。

三、産業。

植物界の産は所により一様ならず、極北部には著しき森林地なく、多量の穀産を見ず、地中海沿岸は橄欖、桑、果實等に富む。然れども大部は葡萄及び穀物の産甚だ多く、其の森林は良材を出す。

天産動物の豊富は他大陸に及ばず、熱帯地方の偉大なる獸なく、美なる鳥類なきも、有川の種類は遙かに多し。特に全土悉く開發せられ、野生の獸類至て少く、有川の家畜甚だ豊富にして、有毒なる爬虫は全くこれを欠き、有害なる昆蟲は極めて少し。又海流の影響によりて、水産物甚だ多く、ノルツエーの西方は世界に比少き大漁場なり。

礦物も亦た甚だ豊富にして、北アメリカに次ぎ、鐵、石炭を始めとし、貴金屬にも乏しからず。

ヨーロッパは天産に富み、且つ多くは廣き植民地を有するが故に、東部を除く外、商工業隨て盛んにして、西部及び中部は世界に比なき工業地となり、外國貿易は何れの國も盛大にして、就中イギリスを第一とし、ドイツこれに次ぐ。

四、交通。

ヨーロッパ交通の進歩は他大陸の比に非ず、バルカン半島を除き他は道路完全にして、車馬の往來至る所殆んど困難を感ぜず。鐵道は數多の幹支線縦横に走り、大隧道によりてアルプを通ず。近時シベリア鐵道の全通はアジアの東端と本大陸との聯絡を一層接近せしめたり。

本洲の位置世界陸地の中央に當れるが故に、其の重なる港は海上交通の要衝に當り、日本郵船株式會社も本邦よ

大西洋を經過してイギリスより北アメリカに至る無線電信の計畫も既に成功せり

リスエズ運河を經過し、ロンドン・アンペルスに至る航路を營む。

河川の水利至大にして、運河は諸大河を連絡し、これをして一大河系の如くならしめ、且つ海と海とを直接或は間接に連絡す。キール大運河・ユリント運河は海と海とを直通する好例なり。郵便電信電話も非常に進歩し、諸大陸へ海底又は陸上線を通ず。

第四篇

アフリカ

Africa

第一章 地文地理

一、境域。

アフリカの七割に當る

アフリカは東大陸の南西部を占め、ユーラシアに對して

Europe

恰も一大半島を成し、面積凡そ

二百萬方里あり

二、沿岸。

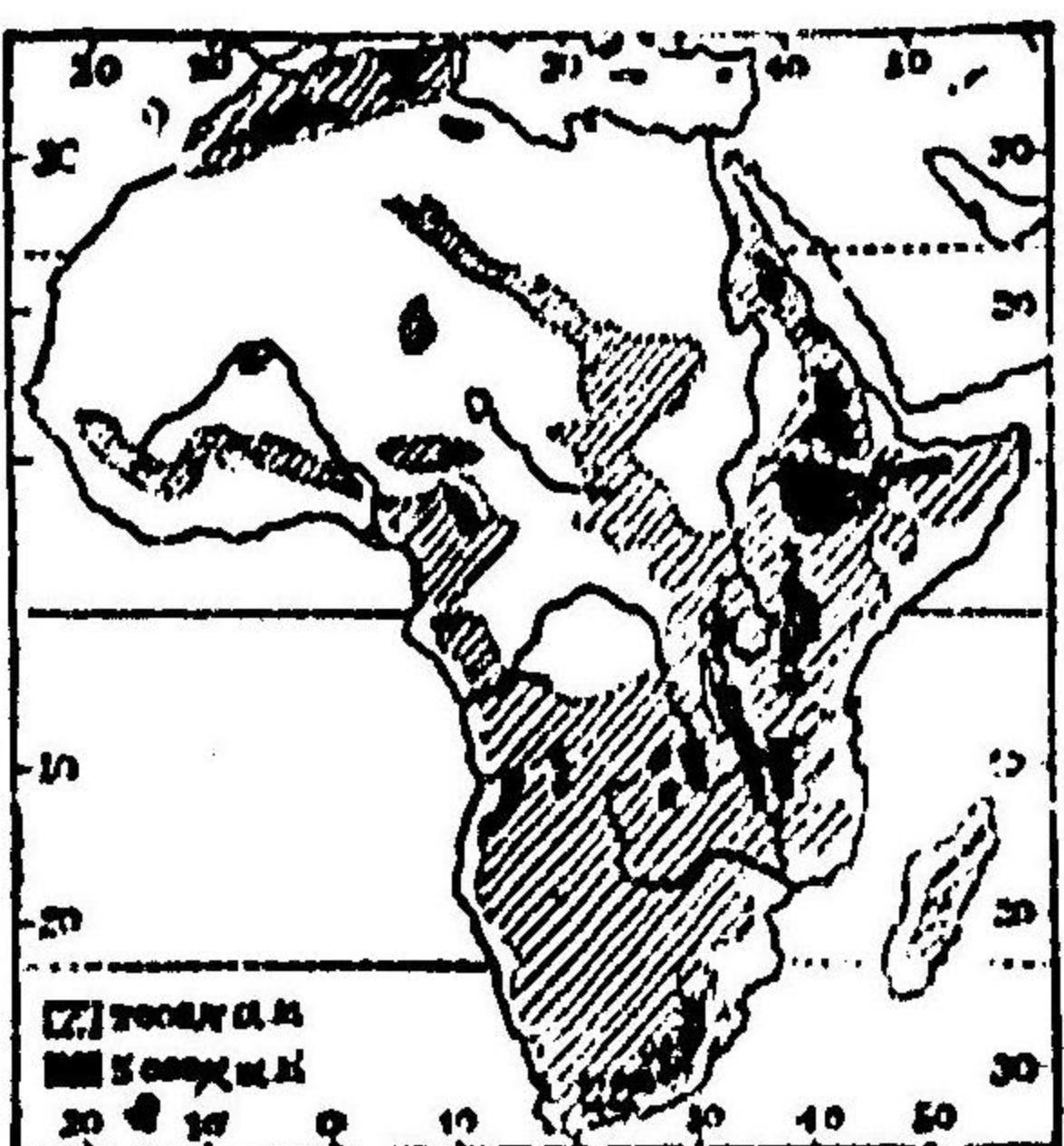
沿岸屈曲に乏しく、屬島も亦

た東岸のマダガスカル、西岸の

Madagascar

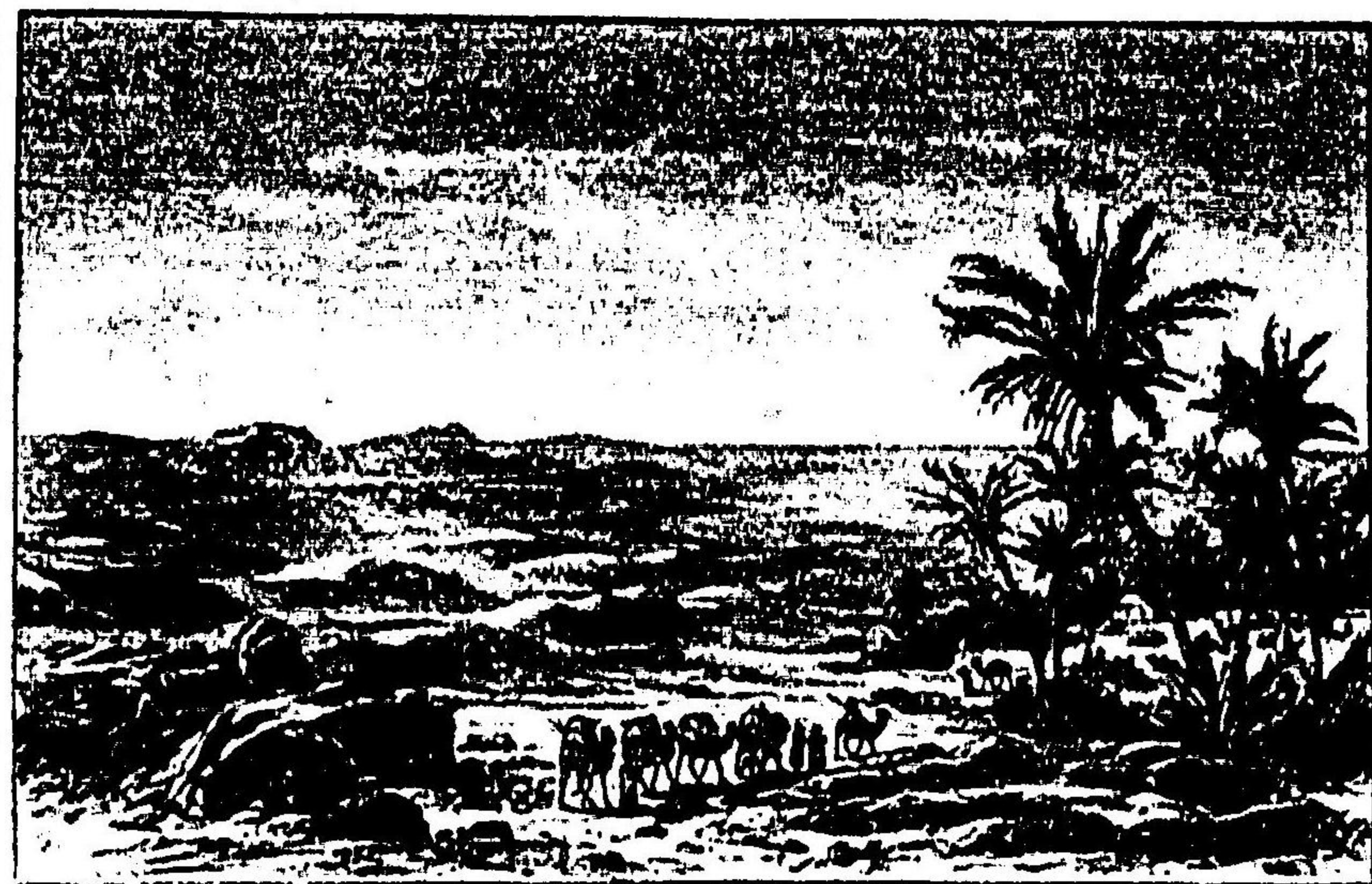
カナリア諸島の外著しきもの

Canary



アフリカの地形

輪廓の單簡
オーストロ
リアに似た



サハラ沙漠

少し。

三、地勢。

一様なる高原性大陸にして、山脈は海岸に沿ひ周囲を圍む。北部にアトラス山脈、東部にア
Atlas
 アルピニアの高臺、これより南方の高地中にキリ
Alps
 マヌジャヤロクニア、ルウ
Kilima Njaro Kenya Ruwenzori
 エンツリの高峯ありて、其の高さ雪線を抜く、
 沙漠は本大陸の著しき

部分を占め、特に北部のサハラは世界第一の大沙漠にして、面積我が國の十八倍に餘り、其の東部はリビア沙漠に連る。
Sahara Libya
 丘陵所々に起伏し、往々河床(ワヂ)あれども、一年間多くは水なし、且つ晝夜氣溫の差大にして、旋風時々發生す。泉地には湧水及び植物ありて、商隊の休憩地となる。

四、水系。

地勢周圍に高きを以て、河身特に河口附近に急流瀑布多く、流域の面積に比して、水量甚だ少し。大河には地中海斜面にニール、印度洋斜面にザンベジ、大西洋斜面にニジェール、コンゴあり。ニール河は本大陸第一の大河にして、下流は大三角洲を作り、洪水によりてエジプトに沃土を輸送すれども、植物質の浮島と急流瀑布との爲めに、水利甚だ小なり。

大湖の多きこと北アメリカに次ぎ、其の位置稍東部に偏し、地質構造上地皮の罅裂線に沿ふ。其の中ビクトリアヌ
Victoria Nyanza
ヤンザ最も大にして、ニール河の一流を成す。

五、氣候。

大部の氣候は熱帶的にして、又大陸性なれども、内部の高
地は稍溫和なり。サハラ沙漠の氣温は晝間攝氏四十度以
上に昇り、夜間氷點以下に降ること多しとす。

六、アフリカ及びヨーロッパの比較。

アフリカ

ヨーロッパ

- イ、大部は熱帯にあり。
- ロ、輪廓單簡にして、肢體甚だ少し。
- ハ、地勢變化少し。
- ニ、山脈海岸に沿ひて走る。

- イ、大部は温帯にあり。
- ロ、輪廓不規則にして、肢體多し。
- ハ、地勢變化多し。
- ニ、山脈大陸を縦貫す。

ホ、沙漠廣大なり。
ヘ、河の水利小なり。

ホ、沙漠なし。
ヘ、河の水利大なり。

第二章 アフリカ邦土誌。

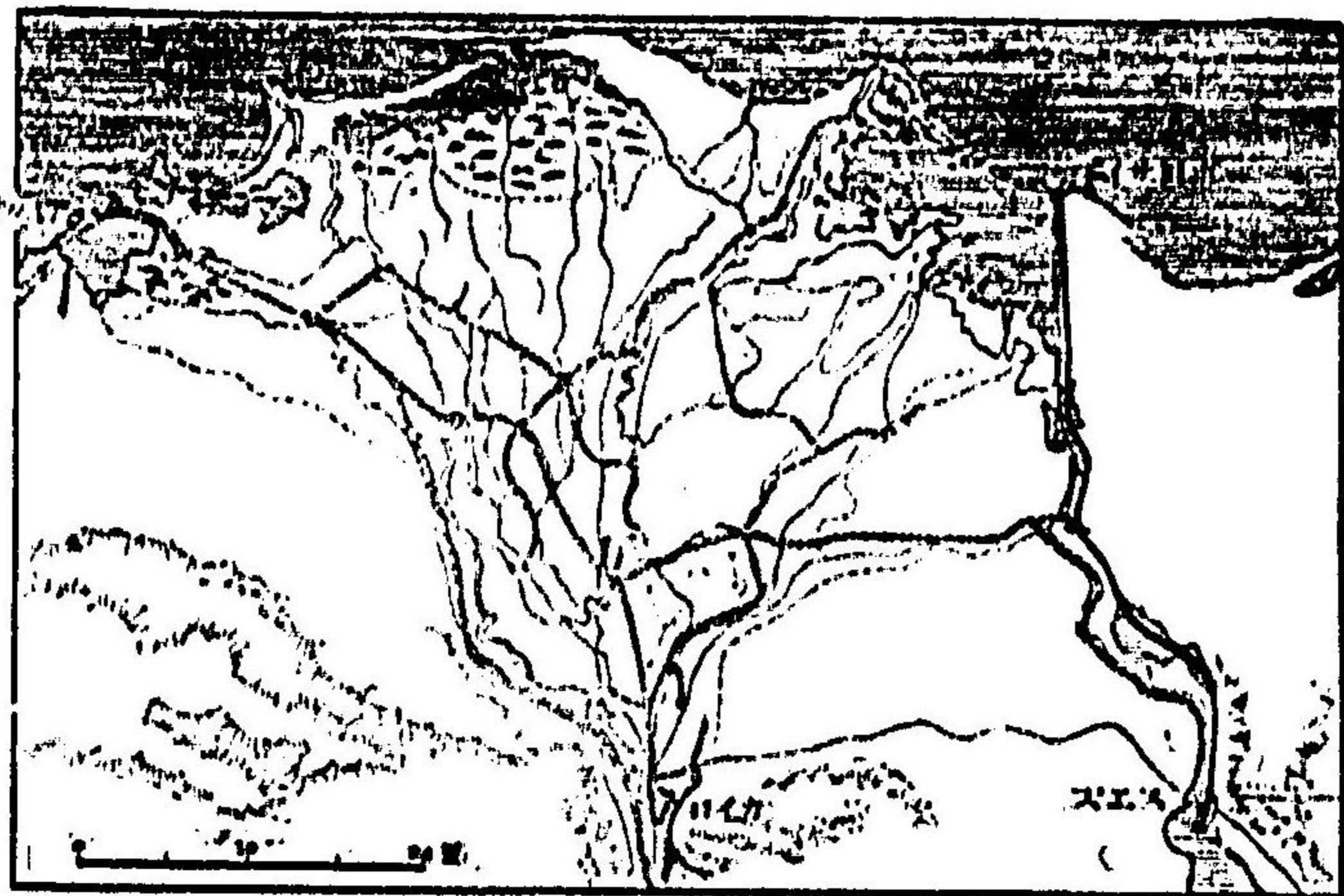
一、ニール諸邦。

Nile

甲、エジプト。 *Egypt* ニール河の下流及び附近地域を占め、面

積我が國の二倍あれども、多くは不毛の沙漠なり。地中海
の沿岸は澤湖多く、紅海の沿岸は珊瑚礁に富む。ニール河
の水利大にして、沃土を堆積すること前に述べたり。人口
凡そ一千万、人口の増加は頗ぶる大なり。アラビア人最も
多く、回教を信じ、教育は未だ進歩せず。名義上トルコの朝
貢國なれども、實權は悉くイギリスの手に歸せり。主要な

大古文明國
なれば遺跡
甚だ多し



部北トブジエ

ス(獅身男面の像)も亦其の附近にあり。カイロの北西アレ

る物産は農産にして、綿及び小麥の産出甚だ多く、鐵道河川運河の利大にして、スエズ運河は紅海及び地中海を聯絡し、長さ八十七哩、フランス人レセップス氏の設計に係り、列國間永世局外中立の規定あり。首府カイロはニール河に沿ひ、アフリカ第一の都會にして、有名なるピラミッド(金字塔)及びスフィンク

中部アフリカ通商の要路に當る

北部のソマリア沿岸はイタリヤ・フランス・アラビアに分屬す

クサンドリアは此の國第一の貿易港にして、アレクサンドル大帝の建設にかゝる。

乙、アビシニア。紅海の南隅に位し、面積凡そ我が國に

等し。地勢高くして、アフリカのスウイスと稱せられ、ニール河一支の水源を成す。人口凡そ三百五十萬、人種は甚だ

多く、基督教最も行はる。首府をアデスアベバと云ふ。

丙、エジプトスダン。エジプトスダンはエジプトの南に位し、ハルツームは其の中心なり。

二、東部アフリカ。

東部アフリカはモザンビク海峡を隔て、マダガスカル

に對し、ザンベシ河南部を貫流し、諸大湖北部にあり。ボル

トガル・ドイツ・イギリス・イタリア等に分屬す。

三、南部アフリカ。

南部アフリカはイギリス・ドイツに分屬し、イギリス領南部アフリカ、ドイツ領南西アフリカ、ロデシア等に大別せらる。イギリス領南部アフリカの重なる植民地左の如し。

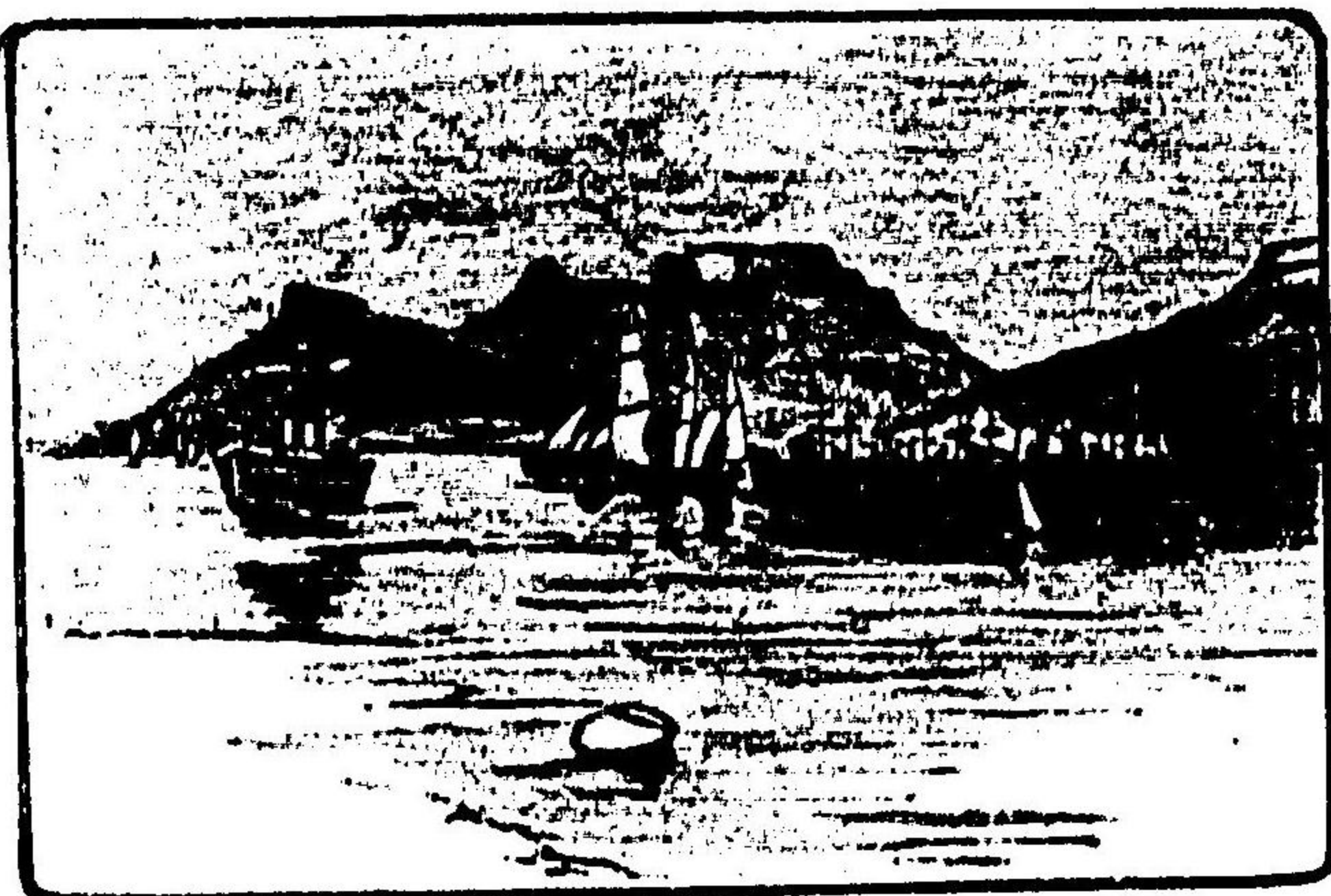
(イ) ケープ植民地。アフリカの南端を占め、面積我が國

より少しく大なり。地勢は卓子状を成して、海面より漸次に後方に高く、氣候は溫和にして、雨量は多からず。人口凡そ百五十萬、白人四分の一を占め、他は土人なり。もとチーデラランドの領地なりしを以て、今尙ほ其の遺風を存す。

アフリカに於けるイギリスの領地最も大切にして、總督府をケープタウンに置く。農産及び牧畜盛大にして、羊毛、毛氈、鳥毛及び金剛石の輸出甚だ多し。

(ロ) オレンジリバー植民地。ケープ植民地の北東に

ありて、オレンジ河其の南境を成す。もとボアー人の建て



クープラック

しオレンジ自由國の地域たりしが、近時戦役の結果、イギリスの植民地となれり。首府をブルムフォンタインと云ふ。

(ハ) トランスバール植民地。

オレンジリバー植民地の北東にありて、オレンジ河の一支流バール河の彼岸にあり。もとボアー人の建てし南部アフリカ共和國の地域なりしが、近時

戦役の結果、イギリスの植民地となれり。此の地は地球上の大産金地としてオーストラリア及びアメリカ合衆國と並び稱せられしが、戦争後一時産額の減少を見るに至れり。首府をプレトリアと云ふ、ヨハネスブルグは産金地の一大中心にして、トランスバール第一の都會なり。

四、西部アフリカ。

サハラ沙漠よりクワナ河に至るまでの區域を含み、河川の水利大にして、砂金、象牙、渡膜、蛇鳥毛等の物産多く、地理上セネガンビア、上部ギネア及び下部ギネアの三大部に分れ、政治區劃上イギリス・フランス・ドイツ・ポルトガル四國の領地と、リベリア共和國及びコンゴ獨立國とに分る。

コンゴ獨立國。コンゴ河流域の殆んど全部を占め、面

Congo

積凡そ我が國の五倍半、人口凡そ三千萬、バント種多し。ベルギー國王は此の國の主權者にして、總督をボマに置きてこれを治め、列國間の協約により、コンゴ河は永世中立の規定あり。此の國は近時我が國と通商條約を締結せり。リベリア共和國。アフリカ全土の南西隅を占め、面積凡そ我が北海道に等しく、人口凡そ二百六萬、其中二百萬は黑人なり。もとアメリカ合衆國に於ける解放の奴隸、黑人を保護する爲めに建てし國にして、首府をモンロヴィアと云ふ。

五、バルバリー諸邦。

地中海沿岸の區域中エジプトの境に至るまでを含み、アトラス山脈は殆んど全土を貫らぬき、左の諸邦より成る。

イスパニアは北岸の諸要地を占む

アラブは此の地の開闢に熱中す

サハラ及びスダンに入る要路に當る

(イ) マロッコ。アフリカの北西部を占め、ヨーロッパのイペリア半島に對し、政教一致の君主國にして、首府をフェズFezと云ひ、重なる物産はマロッコ革なり。

(ロ) アルジェリア。マロッコ王國の東に位し、フランスの南に對し、同國の植民地中、最も大切なるものにして、總督府をアルジェーAlgiersに置く。農産盛大にして、又製紙の原料に富む。

(ハ) チュニス王國。アルジェリアの東にあり、フランスの保護地にして、首府をチュニスと云ふ。

(ニ) トリポリ。チュニスの南東に位し、トルコ帝國の一部を成し、首府をトリポリと云ふ。

六、サハラ及びスダン。
Sahara Sudan

(甲) サハラ沙漠。に就ては、第一章にこれを述べたり、而して其の大部はフランスの勢力範圍にあり。

(乙) スダン。サハラ沙漠の南に位し、河流の水利大にして、砂金、象牙、駝鳥毛等の物産に富み、東部即ちエジプトスダンはイギリス、西部はフランスの勢力範圍にあり。

七、アフリカの諸島嶼。

マダガスカルはアフリカ大陸の南東に位し、フランス領にして、世界第四の大島なり、首府をタナナリボTananarivoと云ふ。カナリア諸島はイスパニアに屬し、氣候溫和、數多の火山島より成る。セントヘレナ島はイギリスに屬し、ナポレオン一世終焉の地たるを以て有名なり。

アフリカ本陸にあり、象獅子等はこれに缺く

第三章 人文地理

一 住民

矮人種は河口に流
ンゴ河に住し
地方に凡そ四
身長一丈アツ
尺一丈アツ
カ人は其の
例なり

人口凡そ一億七千萬人種甚だ多く其の文明の程度一ならず。北部にはハム種地中海沿岸にはセム種サハラ沙漠以南にはニグロ(黑人種)及びニグロイド種あり。ニグロイド種の中には矮人種あり。又ヨーロッパ人は沿岸の要地及び南部アフリカに住居す。黑人中には拜物教を信ずるもの少からざれども回教最も廣く行はれ又音階にはアラビア語最も多く用ひらる。

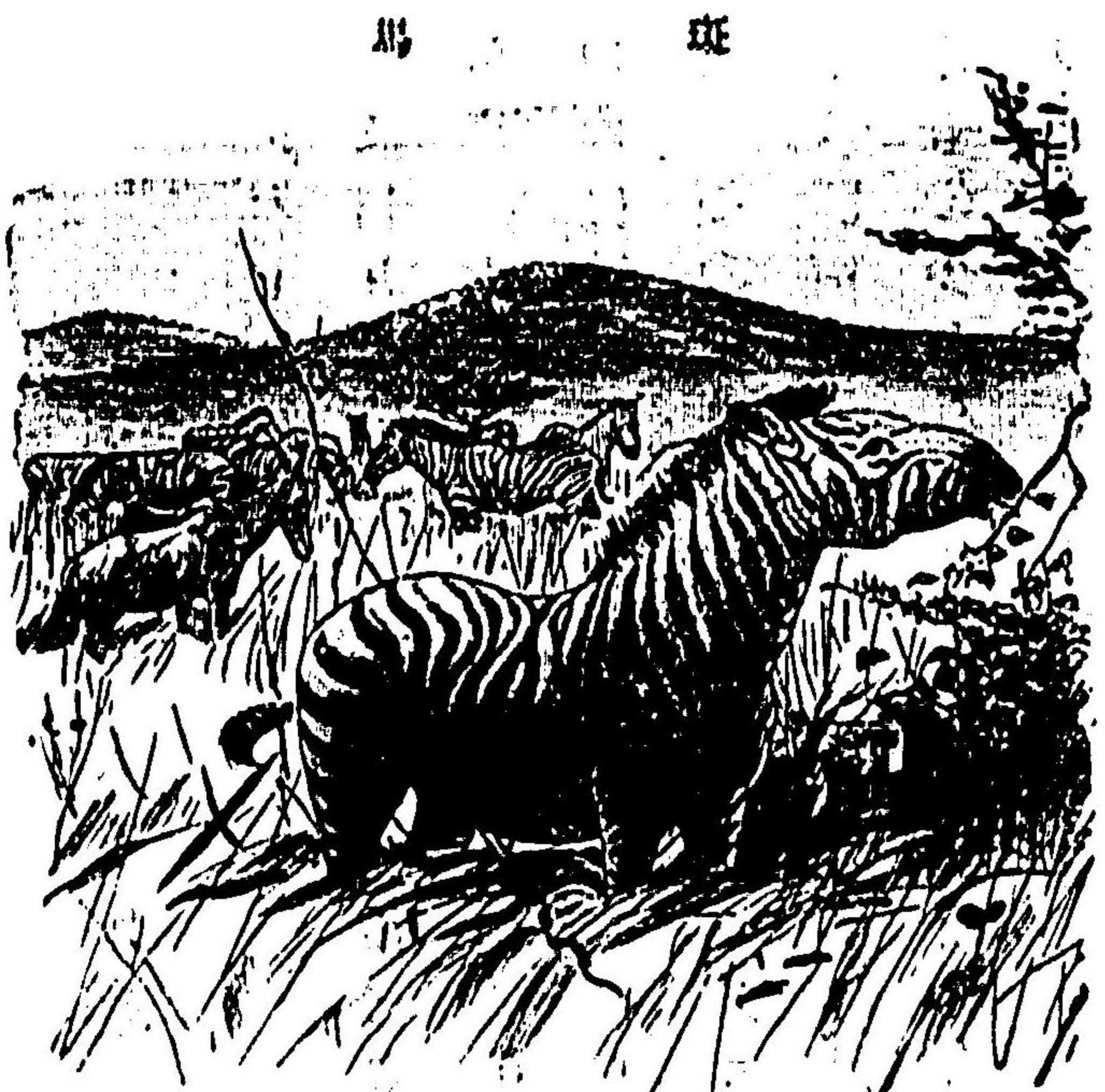
二 邦制

モロツ、コンゴ、ベシニアの二王國リベリア共和國内部の諸

部落を除く外全くヨーロッパ諸國の有に踏せり。然れども探險尙ほ不十分に於て内地の境界線往々判然たらず。

三 産業

沙漠以外の部分は天産に乏しからず。植物界には中部アフリカ大森林の良材常食とすべき全土の特有果物エジプトの綿南部アフリカの小麦は其の産額甚だ多し。動物界には獅子象駱



馬 斑

駝の外、原河馬、斑馬、及び駝鳥等は本大陸特有のものあり、又南部アフリカに於ては羊の飼養盛んに行はる。鑛物には南部アフリカの金及び金剛石最も有名なり。

四、交通。

鐵道は重もに農産地(例、ニール河三角洲)、鑛産地(例、南部アフリカ)及び河の急流地方(例、コンゴ河下流)にあり。近時の計畫に係る縦貫鐵道も遠からずして、其の完成を見るに至るべし。

他大陸との交通は汽船の定期航海及び海底電線により便なれども、内地の交通は未開の蠻人と赤道地方の大森林との爲めに、大に障礙を受く。然れども内部の地理大に明かとなりしは、全く近世探險の結果にして、殊にリビングス

アフリカの河口に急流あり、故に鐵道の設け難し。

トン及びスタンリー二氏の功績を最も大なりとす。

第五篇 南アメリカ

South America

第一章 地文地理

一、境域。

南アメリカは西大陸の南半を占め、パナマ地峽を以て北アメリカに接し、面積凡そ百二十萬方里、ヨーロッパの二倍、アジアの四割に當れり。

二、沿岸。

全體の輪廓は稍單簡なれども、良好なる港灣に富み、且つ大河の河口は往々三角江を成す。屬島は甚だ少く、南東のフォークランド、南端のフェエゴ島を稍大なりとす。

長さに於ては世界第一の大山脈なり

三、地勢。

アンデス山系は南アメリカの西側を縦貫し、最高點はコロンカア峯は殆んど富士山の二倍に達す。數多の列より成り、傾斜は西側に急、東側に緩にして、其の間に狭き高臺を



南アメリカの地形勢

成す。大平洋沿岸火山脈は此の山系を貫通し、世界最高の火山チンボラトラ峯此の中に位す。東側の低山脈には北部にパリーマ

山系、南部にブラジル山系あり。

西側のアンデス山系と東側の低山脈との間は中央の大平原を成す。中央の大平原にはオリノコ河の流域にリヤノス、アマゾン河の流域にセルバス、ラプラタ河の流域にパ

ンパスありこれ等の三大平原は低き分水界によりて相連る。
Pampas

四、水系。

南アメリカの水系は大西洋、大平洋、カリブ海の三斜面區域に分れ、重なる大河にはオリノコ、アマゾン、サンフランシスコ及びミシシッピ、アマゾン河は水量に於ては世界第一の大河にして、長さ凡そ一千四百里、河口は開けて一大三角江を成じ、河流より上流凡そ百五十里まで潮汐の作用を感じ、河口附近に於ては急激なる潮流(海嘯)を起す。
南アメリカには大湖なし、唯チ、カ、湖稍大にして、其の位置海面上、一萬三千尺の高原にあり。

オリノコ・アマゾン・ミシシッピ・アマゾン河は殆んど一河として見得べし

五、氣候。

都色は氣候溫和なる高地に於ても少からず

大部の氣候は炎熱にして雨量多し、これ地勢及び貿易風の關係によるものにして、アンデス山系の東側に世界第一の大河たるアマゾン河を作り、世界に比少き大森林を成すに反して、西側は雨量甚だ少く、往々沙漠を成す。

六、南アメリカ及びアフリカの比較。

類似の點

アフリカ。

イ、コンゴ河は峇ぼ赤道の近傍に沿ひて流る。

ロ、赤道は此の大陸を貫ぬく。

ハ、赤道附近に大森林地あり。

ニ、屬島甚だ少し。

南アメリカ。

イ、アマゾン河は峇ぼ赤道の近傍に沿ひて流る。

ロ、赤道は此の大陸を貫ぬく。

ハ、赤道附近に大森林地あり。

ニ、屬島甚だ少し。

反對の點

イ大湖多し。
ロ河の水利少し。
ハ大沙漠多し。
ニ大平原なし。

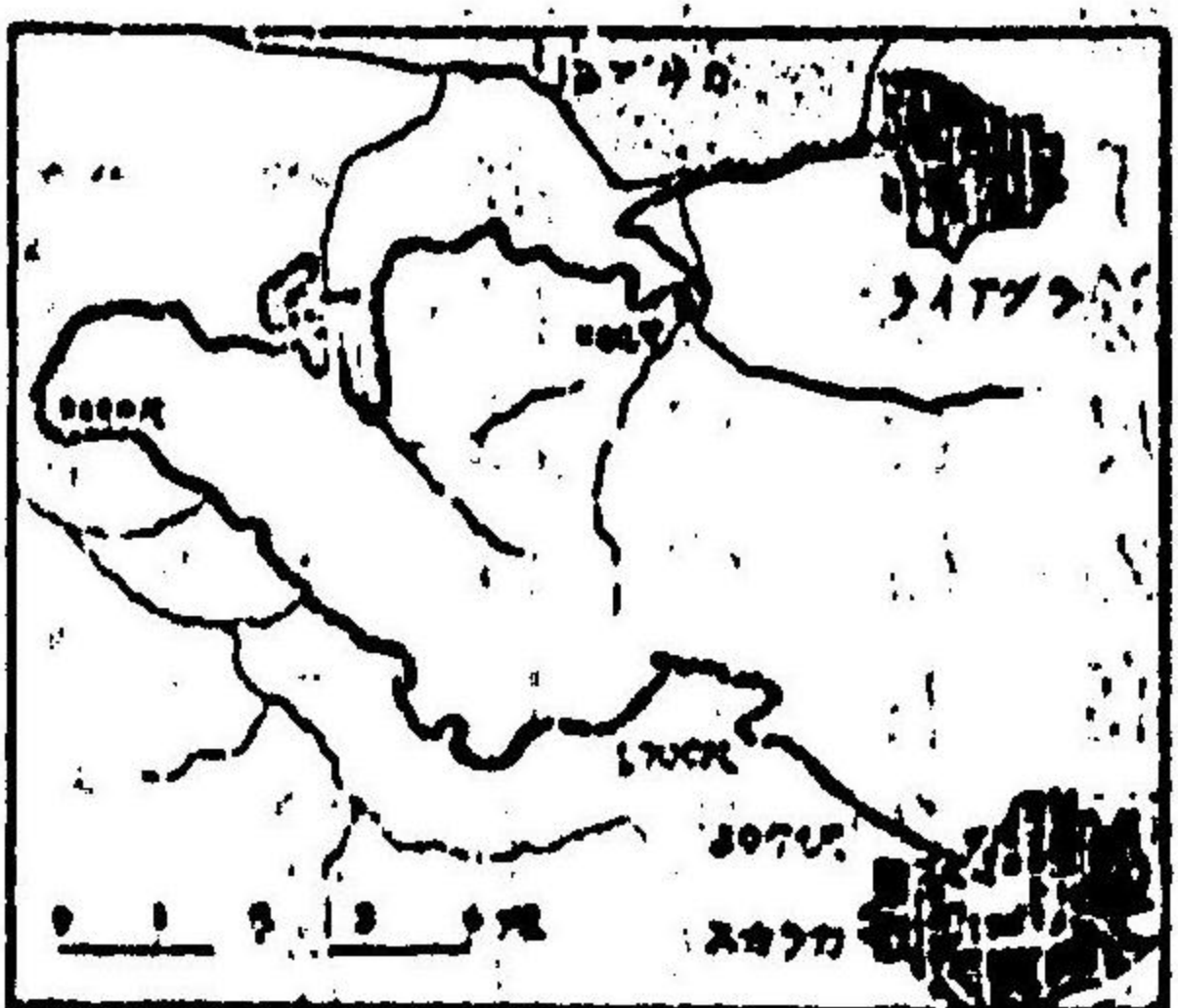
イ大湖なし。
ロ河の水利大なり。
ハ大沙漠なし。
ニ大平原あり。

第二章 南アメリカ邦土誌

一、ベチスエラ。

隣境界線の
紛糾ありき

ベチスエラは南アメリカの北部を占め、ハリソン山系其の南部に連亘し、全部殆んどオカスエ河の流域に當り、スベア及び珈琲の産出甚だ多く、又東境イギリス領ガイアナに接する所には、有名なる産金地あり。首府カラスカは海面上三千餘尺の高所に位し、オカスエ河に通ずる鐵道は地面



カラカス、グアテマラ、グアテマラ間の鐵道

の急勾配により、線路の屈曲甚し。

二、ガイアナ。

ガイアナはベチスエラの東、ブラジルの北に位し、南境には大森林あり。イギリス領トランドパラナスの三國これを分ち領す、南アメリカ本陸中、ヨーロッパ諸國の領地は、獨り此の地あるのみ。

三、ブラジル。

ブラジルは南アメリカの中部より東部に亘り、南アメリカの諸邦中此の國と境を接せざるものはチレ及びエクアドルあるのみ。其の面積は全大陸の畧半ばを占め、殆んどヨーロッパ全土に等しく、面積に於ては世界大國の一な

外國特にイ
タリヤより
の移住盛ん
なり

工業未だ發
達せず

り。

西境にはアンデス山系、北境にバリメ山系、東邊にブラジ
ル山系あり、中部は大平原を成し、アマゾン河の流域に屬す。
南東部の氣候は最も溫和にして、人文の發達は此の地方に
最も顯著なり。

面積非常に大なれども人口僅に我が國の三分の一に満
たず。住民の三分の一はポルトガル人の子孫にして、其の
國語今尚ほ専ら行はれ、久しく同國の植民地たりき。今は
獨立の共和國にして、我が國とも通商條約を締結せり。
雨多く地肥えたれば、植物界の天産世界に比なく、アマゾ
ン河の流域にはセルバス平原の大森林あり。珈琲の栽培
は世界第一にして、又金及び金剛石等の鑛産あり。

略してリオ
と通稱す

人口減少の
傾向あり

南アメリカ
最小の國

首府リオデジャネーロは同名の良灣に臨み、此の國第一の
開港場にして、我が公使館及び總領事館の設けあり。パヒ
アはリオデジャネーロの北東にあり、此の國第二の開港場な
り。

四、パラグアイ。

Paraguay

此の國はブラジル・ポリビア・アルヘンチナ三國の間に介
在し、海岸線を有せず。近年隣邦と戦ひ、大敗の結果、國勢未
だ恢復せず。平地多くして、パラグアイ茶の産出に富む、首
府をアスンシオンと云ふ。

五、ウルグアイ。

Uruguay

ブラジルの南に位し、面積は我が本州より遙かに小にし
て、人口は百萬に満たず。國中多くは平地にして、農産及び

畜産に富み、首府をモンテビデオと云ふ。

六、アルヘンチナ。

Argentine

Montevideo

南アメリカの南部を占むる我が條約國にして面積凡そ我が國の七倍あり。地勢平地多く、パンパスの大平原は其の大部を占む。國の南部パタゴニアの住民は身長の大なるを以て知られ、牧畜及び狩獵を業とし、一種のワナを用ひて馬を捕獲す。パタゴニアの南にはマガリヤエ

Patagonia

マガリヤエ
スガリヤエ
の世界周航
の際見せし
所

スレイアスノエブ



ス海峡を隔て、フエゴ島あり、其の半はチレに屬す。其の南端はホルン岬にして、本大陸の最南點を成す。

Magellan

Tierra del Fuego

世界第一の
最長國

人口尙ほ稀少にして、五百萬に満たず、然れどもヨーロッパ諸國特にイタリヤよりの移住盛んにして、人口の増加は頗ぶる急劇なり。教育は漸次進歩すれども、國債の額は甚だ大なり。唯牧畜は非常に盛大にして、羊の頭数はオーストラリアに次ぐ。交通は漸次發達し、チレに通ずるアンデス山系横斷鐵道あり。首府ブエノスアイレスはグアラタ河三角江の右岸に位し、南アメリカ第一の都會なり。

Buenos Aires

七、チレ。

Chile

此の國はアルヘンチナの西に接し、アンデス山系の西部を占め、其の地域は非常に狹長にして、緯度凡そ四十度に亘る。北部には沙漠あれども、概ね地味良好なり。唯大地震の頻繁なるを缺點とす。又銅及び硝石等の鑛物に富み、輸出

品の九割は鑛産なり。首府サンチアゴはアンデス山系の西麓に接し、西方のバルパライソ港へ鐵道を通ず。

Santiago

Valparaiso

八、ボリビア。

Bolivia

南アメリカ西側の内地にありて海に濱せず。鑛産甚だ多く、有名なるポトシ銀山あり。首府スクレは海面上九千尺の處に位す。ラパスは此の國第一の都會にして、チ、カ、湖岸を距ること遠からず。

Potosi

Sucre

La Paz

Tirola

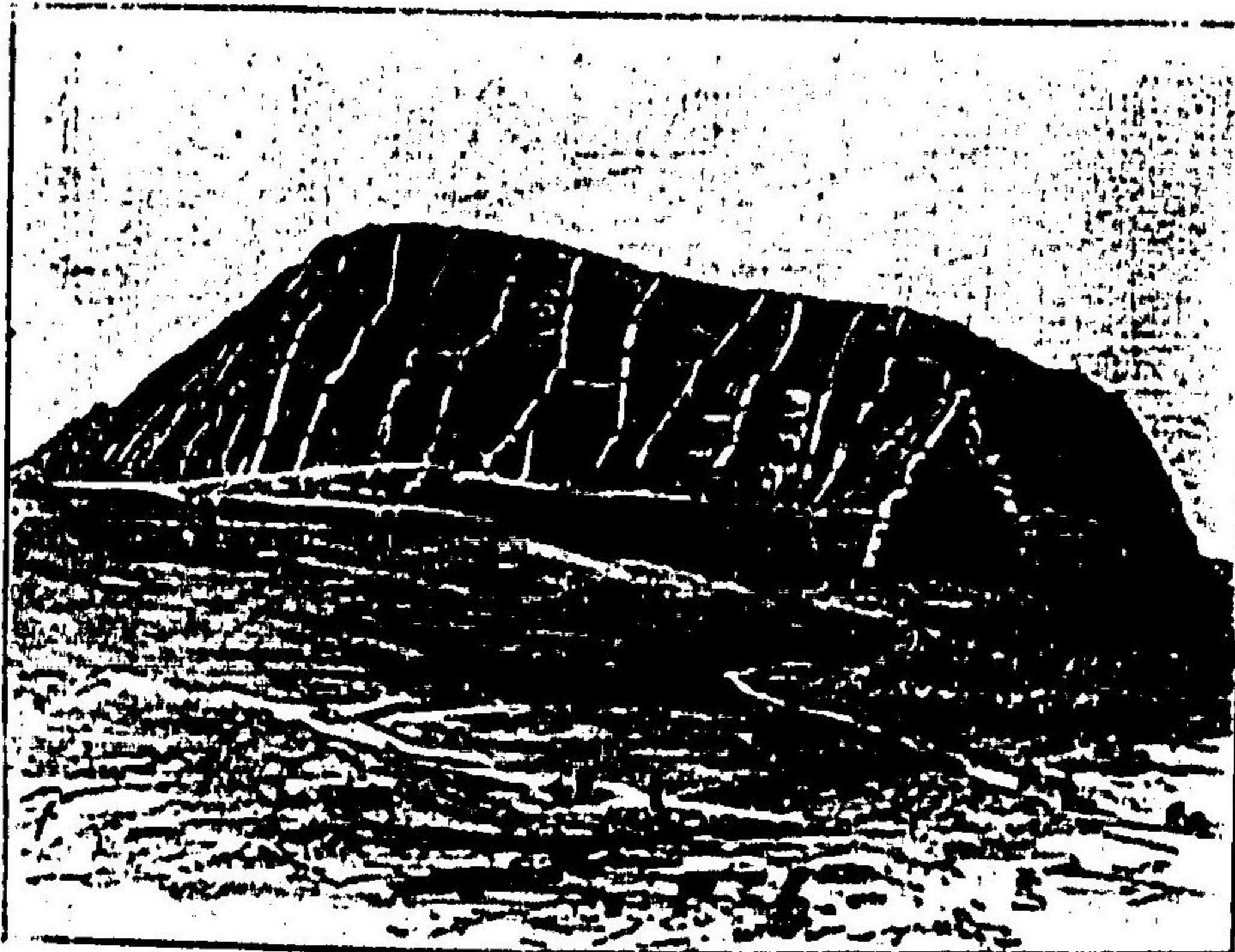
九、ペルー。

Peru

此の國はボリビアの西に接し、面積は我が國の四倍餘あれども、人口は僅かに五百萬に満たず。我が條約國の一にして、十六世紀の始め、イスパニアの爲めに征服せられ、十八世紀の始め獨立の共和國となれり。而して十九世紀の終

大地震多し

(層 巖 島) ノ ア グ



一〇、エクアドル。

Ecuador

此の國はペルーの北に位し、赤道は國の北部を横斷す、主

に於て、ボリビアと同盟してチレと戦ひ、大敗の結果、國勢未だ恢復せず。農産及び鑛産に富み、又有名なる鳥糞層あれども、近時其の産額を減じたり。首府リマはピサロ將軍の建設に係る。其の西方カリヤオは此の國第一の開港場なり。

Lima

Pizarro

Callao

要なる物産はコ、ア及び幾那皮なり。首府キトーは海面上一萬尺の高地に位し、氣候は四時春の如し。グアヤキルは此の國第一の開港場なり。

一、コロンビア。

此の國は南アメリカの北西隅に位し、パナマ地峽を以て北アメリカに連る。首府ボゴタは海面上凡そ九千尺の高所に位す。

近時北アメリカ合衆國に於ては、大平・大西兩洋の連絡運河に關し、委員を設けてこれを調査せしめたる結果、嘗てレセップス氏の着手したるパナマ線を擇ぶに可決せり。

第三章 人文地理。

一、住民。

南アメリカの住民は未だ四千萬に満たずして、所によりては人口甚だ疎なり、其の中最多數を占むるは、アメリカンインヂアン人及びヨーロッパ人の雜種にして、



(寸一尺四長身)人カッアのカリフア
(寸九尺五長身)人アニコタバのカリメア南

純粹なるヨーロッパ人これに次ぎ、言語はイスパニア語重もに行はる。但シブラジルに於ては、ポルトガル人の子孫最も多くして、ポルトガル語盛んに行はる。南部に

住するバタゴニア人は身長甚だ長大にして、平均五尺九寸に達す。

二、邦制。

南アメリカの諸國は殆んど皆獨立の共和國にして、其の制度はアメリカ合衆國を模倣せしものなり、内亂及び外戦の頻繁なるが爲め、多くは國債甚だ多く、財政の整理未だ十分ならず、且つ境界に關し隣國と紛議の絶えざるは惜むべし。

三、産業。

氣候は概ね炎熱多雨なるを以て、植物界の天産に富み、大森林には、マホガニーの良材、西部には幾那樹、バラグアイには「マテ」と稱する灌木あり、其の葉は茶の用を爲す、而して、

ラジルの珈琲は其の産額世界第一に位す。

動物界の天産中、鳥爬蟲及び昆蟲の種類に富み、Condor

鳥蜂雀、大蛇等あり、又鱈魚少からず、而してアルヘンチナの

Hemming bird

牧羊及びヘルーの鳥糞層グアノは共に世に名高し。

礦物界の天産はベチスエラの金、ブラジルの金剛石、ボリビアの銀、チレの銅及び硝石等を始めとし、古來甚だ豊富なり。

四、交通。

南アメリカと他大陸との交通は、汽船及び海底電線により、不便を感ぜず。内地の交通は鐵道の敷設及び河川の利用と共に、次第に發達の徴を示し、アンデス山系の南部を横斷する鐵道も已に成れり。

第六篇 北アメリカ

North America

第一章 地文地理

一、境域。

北アメリカは西大陸の北半を占め、パナマ地峽によりて南アメリカに連る。面積凡そ百五十萬方里、世界第三の大
陸なり。

二、沿岸。

南北兩側は大小の群島と大出入とに富み、東西兩側は島
嶼稍少く、小出入多し。即ち北側には北極洋群島、グリーン
ランド、ハドソン灣、南側には西印度諸島、メキシコ灣及びカ
リブ海あり。東側にはニュー
ファウン
ドランド、セントロ
ーレンス灣、西側には下カリフ
ニア半島、カリフォルニア
灣、バンクーバー島あれども、多
くは規模稍小なり。

東岸の
平均海
深は
約七十
二尺
を
超ゆ



北アメリカの地勢

三、地勢。

北アメリカは地勢上三つの部分より成る。

甲、大平洋高地は南北アメリカを貫通するコルデレラ山
系の一部にして、東側は中部大平原に向て緩斜し、西側は大
平洋に向て急斜す。而して大火山脈は本山系の一部を貫
通し、アレンツト諸島を経て、東部アジアの大火山脈に連る。

コルデレラ山系は數多の列より成り、東にはロッキー、西にはシエラネバダ、カスケードありて、其の最高峯は往々雪線を抜き、氷河を養ふ。而して諸山脈の間は所々に高嶽を成し、稀れには沙漠を見る。

乙、大西洋高地はアレガニー山脈の連亘する所にして、其の高度大ならず。

丙、中部大平原は大平、大西兩洋高地の間にありて、重もにミシシッピ河の流域なり。

四、水誌。

地勢の結果として、中部大平原に大河を有すること、南アメリカに於ける如し。即ちマケンジー・セントローレンス、ミシシッピ、ピリオグランド、デルノルテの四大河は其の適例

Mississippi

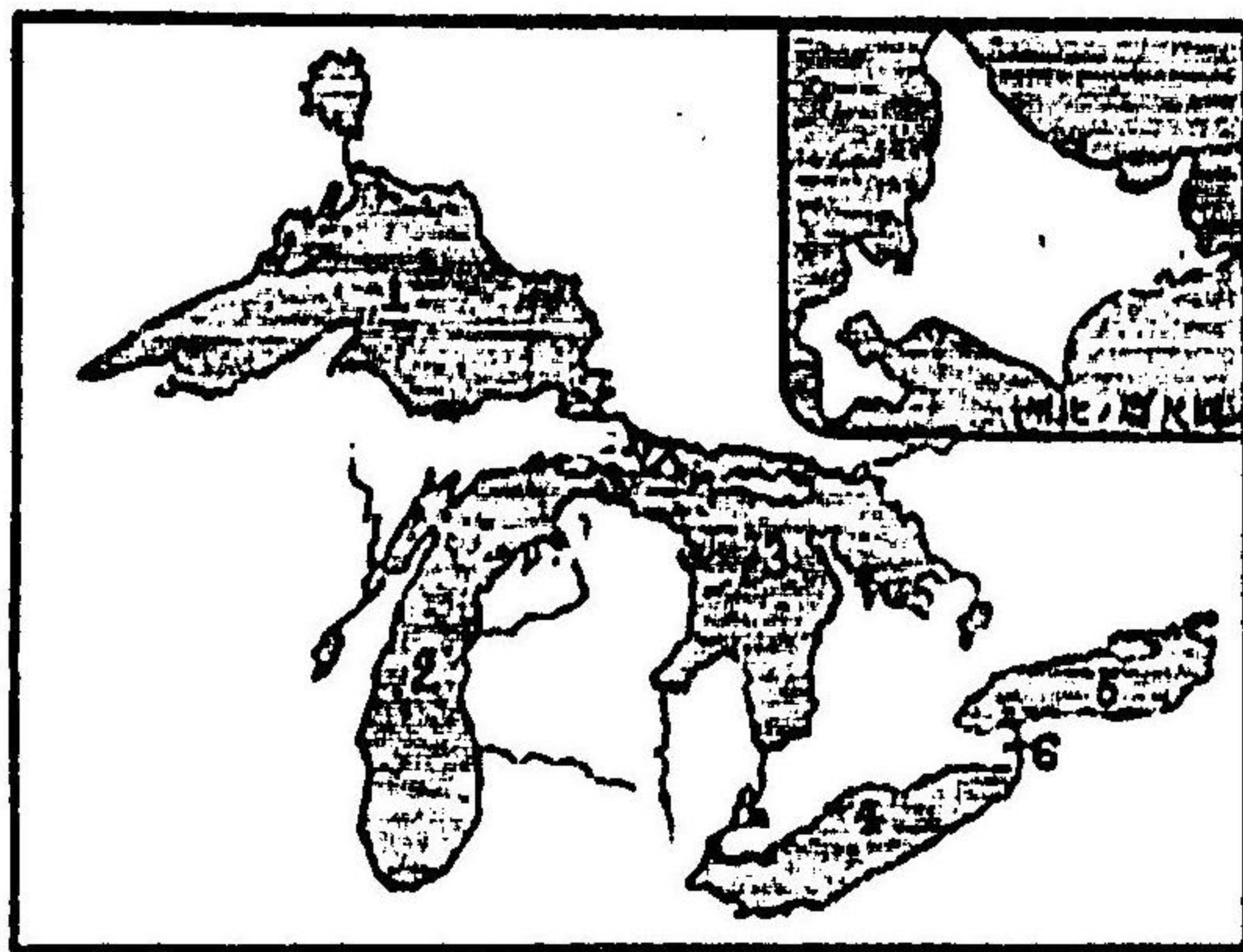
Rio Grande del Norte

Mackenzie

St. Lawrence

五大湖の面積を合すれば我が本州よりも大なり

大西洋の面積は恰も大平洋の黒潮に相當す



五大湖面積比較

なり。又淡水湖の多きことは他大陸の及ぶ所に非らず、スーパーイオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オンタリオの五湖は其の最も有名なるものなり。

五、氣候。

北アメリカは寒・温・熱三帯に跨れるを以て、氣候は所により一ならず、内地は温帯部に於ても大陸性氣候を有し、且つ北方よりの寒風を受く。又寒暖二流の影響を受け、温帯部の東側は西側に比して、氣温一般に低く、且つ寒暑の差大なり。而して北極洋群島は世界寒極の一なり。

六、南北アメリカの比較。

南北アメリカは互に相似たる點少からず。

イ、輪廓は略ぼ三角形を成し、最長の邊は大平洋に面す。

ロ、其の幅は中部に廣く、南北に至るに従ひ次第に狹し。

ハ、西側に高山脈、東側に低山脈、中央に大平原を有す。

ニ、大平洋の側は海岸線稍短く、特に大屈曲に乏し。

ホ、二大河は互に直角を成す(セントローレンスとミシシッピ及びアマソ

ナとラブラダ)。

第二章 グリーンランド

Greenland

一、グリーンランドの畧説。

グリーンランドは北アメリカ本陸の北方に横はれる世界第一の大島なり。氷田は一面にこれを掩ひ、沿岸の峽灣

面積及そ我が國の三倍

に達し、落下して冰山を成す。沿岸には所々にエスキモー人の部落あり、デンマルクの支配を受く。

Esquimaux

第三章 カナダ

Canada

一、地文地理。

カナダはニューファウンドランドと共に、イギリス領北アメリカの全部を成し、北は北極洋に面し、南は合衆國に接す。面積は殆んどヨーロッパ全土に等し。

地勢上全土は三部に分れ、西方大平洋側の高山脈、東方ラブラドル半島の丘陵地、其の間の中央平原より成る。

Labrador

大湖及び大河は中央平原に多く、五大湖の中ミシシッピを
Mississipi
除き、他の四大湖は合衆國との境にあり、これより北西にも

セントローレンス河は五大湖の水を受け水量多し、河に匹敵す

大小の湖非常に多し。河流の重なるものはマッケンジー・チ
ルソン・セントローレンスあり。
Nelson St. Lawrence Mackenzie

南西隅の氣候は溫和なれども、其の他は概ね寒冷にして、
セントローレンス河も冬季氷結するに至る。

二、人文地理。

土地廣大なれども人口未だ六百萬に満たず、北西部には
無人の境多し。イギリス語重もに行はれ、所によりては、フ
ランス語専ら行はる。イギリスの領地中、大切なこと、印
度に次ぎ、全土を稱してカナダ領土と云ふ。政治の組織は
略ぼ本國に同じく、上下兩院より成れる議會を設け、行政部
の長として總督を置く。

穀物・材木・毛皮等の産に富み、牧畜甚だ盛大なり。 鑛産・水

ケベックはアメリカの主要な港と稱せらる

産の利多く、特にクワンダイクの金、大西洋岸の鱈、大平洋岸
の鮭は世に名高し。河湖の水利大にして、鐵道の敷設盛ん
なるを以て、交通甚だ便利なり。イギリス本國及び香港印
度間兵站上至大なる關係を有するカナダ大平洋鐵道は本
土を横斷して、大西・大平兩洋を連絡す。

三、地方誌。

首府オタワはセントローレンス河の支流オタワ河畔に
位し、我が總領事館の設けあり。モントリオールはカナダ
第一の都府にして、大西洋交通の要點に當る。ケベックは
セントリオールの北東に位し、堅固なる要塞を有し、材木の
取引盛んなり。バンクーバーはカナダ大平洋鐵道の起點
にして、我が領事館あり、附近には在留本邦人甚だ多し。
Ottawa Montreal Quebec Vancouver

の土人あれども次第に其の數を減ず。各國よりの移住盛んなれども近來支那人の移住を禁止し又本邦人の移住を制限せんとす。國民自由平等主義を採り獨立進取の氣象に富み貴族の階級なく陸海軍を除く外金飾を施せる禮服の制なし。

政體は聯邦民主政體にして行政部の長たる大統領は四年毎にこれを改選す。陸軍常備兵は甚だ少けれども海軍は長足の進歩を爲し世界第四位に居る。近年イスマニアと戦ひてフィリピン及びマリアナ諸島のグアム、西印度諸島のポルトリコを併せ、キューバを獨立せしめ、又イギリスドイツとの協商により、大平洋サモア諸島の一部を得、國勢の膨張甚だ大なり。此の國の領土はもと大西洋岸の十三州

に限られしが次第に近接の地域を合せて遂に現今の如き大國となれり。



樹巨のアニル・フリカ

農産に於ては綿及び小麦、鑛産に於ては鐵、銅、石炭、石油の産、世界第一に於て、金銀に於ても、世

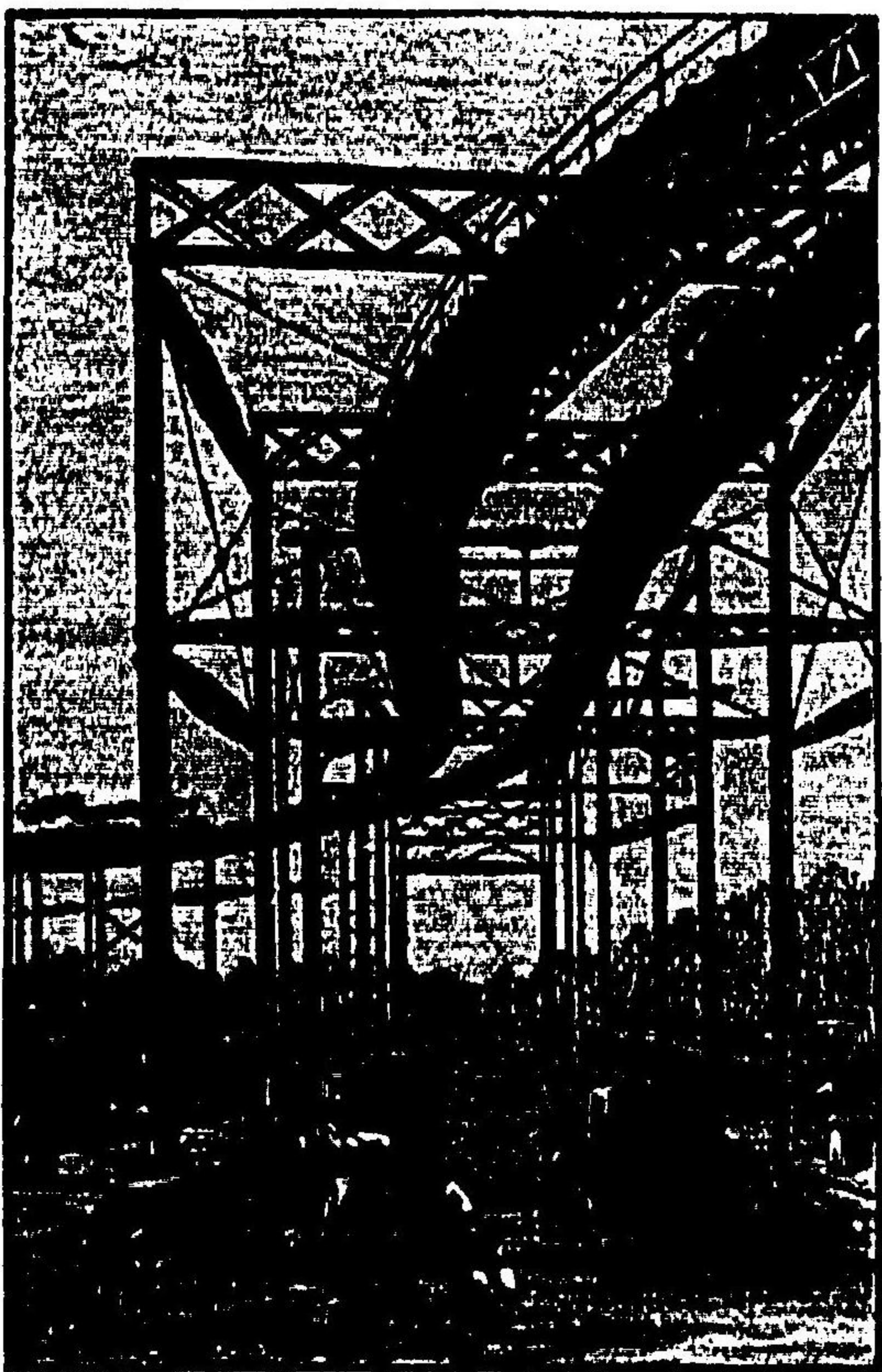
吾人日用の石油は亦も此の國より來る

界重要大産地の一に居る。而して西部の山林は甚だ豊富にしてカリフォルニアの巨樹は世界の奇觀なり。此の國

California

は斯くの如く、諸種の物産に富み、工業も亦た隨て盛大なり。外國貿易は近年非常なる發達をなし、世界第三位に居り、其の主要輸出品は麥粉、綿、石油、家畜、鐵、織物等にして、主要輸入品は珈琲、砂糖、絹等なり。我が國との貿易も亦た盛大にして、本邦より

ニユーヨーク市高架鐵道



の輸出先きは此の國を以て第一とす。交通は非常に盛大にして、河湖の

水利に富み、商船の噸數世界第二位に居り、鐵道の延長は二十萬哩に達せんとし、大西、大平兩洋沿岸を聯絡する數條の大鐵道線路あり。

三、地方誌。

アメリカ合衆國の本國は、四十五州一區、四地方に分る、此の外アラスカ及びハワイも亦た各行政上アメリカ合衆國の一地方を成す、今左に主要なる都邑を記すべし。

ニユーヨーク。大西洋岸ハドソン河口に位し、近年附近

都府の合併により、人口三百四十萬を超え、面積に於ては世界第一、人口に於ては世界第二の大都會となれり、在留本邦人次第に多く、我が總領事館の設けあり。ボストンはニユーヨークの北東にありて、文學及び美術の中心なり。フィ

ラデルフィアはニューヨークの南西にあり、人口凡そ百三十萬、此の國第三の大都會にして、有名なる獨立館の所在地なり、石油取引の盛んなることは、世界に比無し。首府ツォシントンWashingtonはニューヨークの南西に位し、我が公使館の設けあり。ニューオルリーンスはミシシッピ河口に近く、綿の取引最も盛大なり。

セントルイスは合衆國中部の一大都會にして、交通の要點に當る。シカゴはミシガン湖の南西岸を占め、人口凡そ百七十萬、合衆國第二の大都會にして、我が領事館の設けあり。サンフランシスコは大平洋岸第一の港にして、我が領事館の設けあり、附近には在留本邦人甚だ多く、我が東洋汽船株式會社の航路に當る。ポートランド及びシアトルは

單にこれを
シスコと通
稱す

これ等の地
は我が國の
對岸に位し
大切なる關
係を有す

もとロシア
國より買収
せしものな

合衆國の北西にあり、附近には在留本邦人甚だ多く、シアトルには我が領事館の設けあり、又日本郵船株式會社の航路に當る。

四、アラスカ。

アラスカは北アメリカの北西部を占むる一大半島なり。西はベーリング海峡を隔て、アジアの北東部に對し、アレウト諸島によりてアジアに連る狀を示し、大部はユーコン河の流域に屬す。沿岸は島嶼及び火山に富み、水産の利大なり。

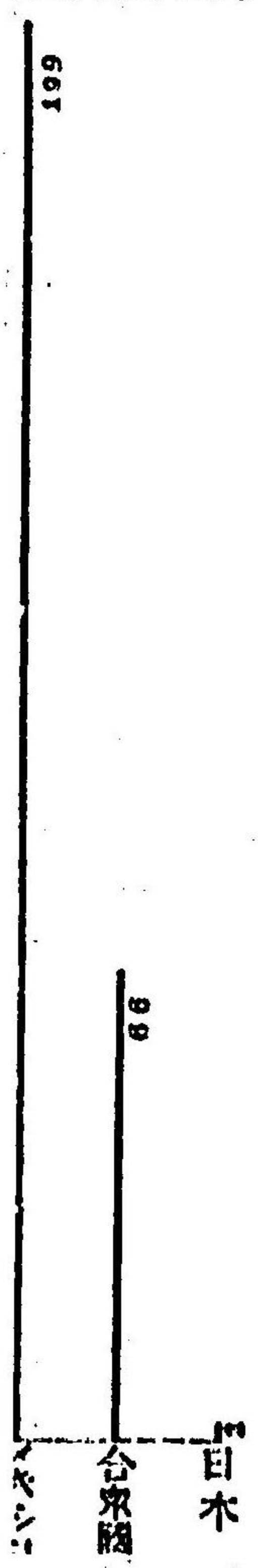
第五章 メキシコ

Mexico

一、總記。

人種は土人
及び雜種最
も多く白人
は凡そ五分
の一を占む

銀産額
(單位百萬元)



アメリカ合衆國の南にある我が條約國にして、南北アメリカを連接する大地峽の北部を占め、面積凡そ我が國の五倍あれども、人口は僅かに一千四百萬に満たず。地勢は一面の高原にして、南部にはポポカテペトル及びオリサバ等の火山聳立す。低地は濕熱なれども、高地は稍溫和なり。農産少からず、又銀の産出は世界第一に位し、政體は畧ほアメリカ合衆國に同じ。

二、地方誌。

首府メキシコは高原の上に位し、我が公使館及び總領事

館の設けあり。メキシコ灣岸のベラクルス及び大平洋岸のアカプルコは重要な開港場なり。
Veracruz Acapulco

第六章 中央アメリカ

Central America

一、中央アメリカの畧説。

中央アメリカはメキシコとパナマ地峽との間に横はり、地勢高原性にして、火山甚だ多く、地震も亦た少からず。著しき河湖を缺ぐも、ニカラグア湖及びこれより流出するサンフアン河稍名あり。ニカラガ運河は大西・大平兩洋を聯絡するものにして、其の設計未だ實行を見るに至らず。全土はグアテマラ・サルバドル・ホンデュラス・ニカラグア及びコスタリカの五共和國とイギリス領ホンデュラスとに分

れ、諸種の天産に富み、交通も漸次に進歩せり。

第七章 西印度諸島

West Indies

一、總記。

西印度諸島の東に
對する諸島の東に
印度諸島の東に
對する諸島の東に
位置する諸島の東に
り

西印度諸島はアメリカ合衆國のフロリダ半島より南東に延び、南アメリカの沿岸に至れる群島の總稱なり。其の一部は珊瑚島にして、低平なれども、概ね山多く、火山所々に聳え、近來噴火の現象特に劇しきを見る。氣候は海洋性にして稍溫和なり。

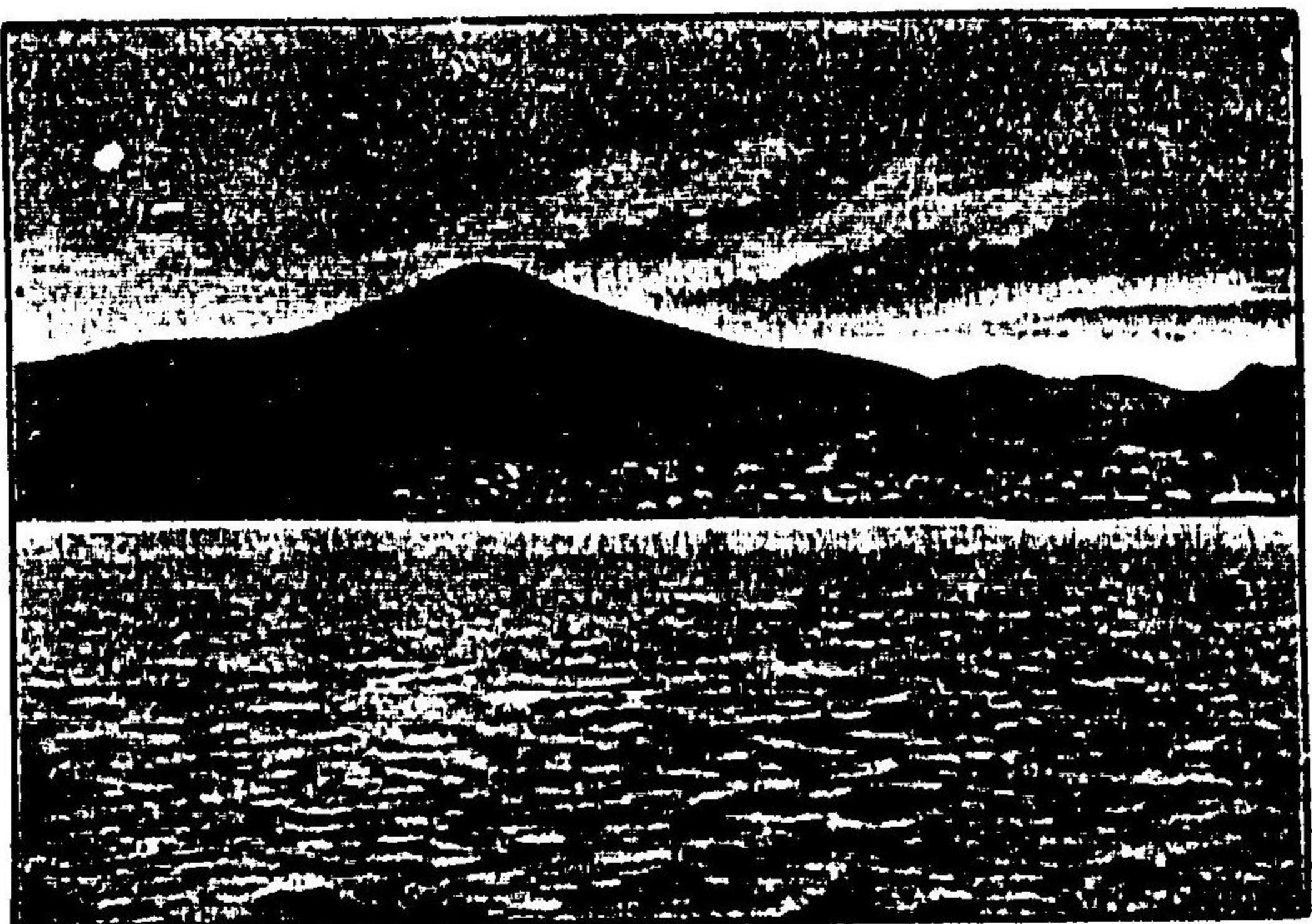
住民の大部は黑人種にして、メキシコ及び中央アメリカと同じく、イスパニア語重もに行はる。アメリカ合衆國・イギリス・フランス・ネーデルラント・デンマークの諸國これ

分ち領し、僅かにキューバ及びハイチのみ獨立なり。

二、各島誌。

キューバと
ハイチと
に
キューバの領
地なりき

バハマ諸島
は
新大陸の
見
上
所



山レアの前裂破

甲、アメリカ合衆國領は大アンチル諸島の *Greater Antilles*、*Puerto Rico* を領す。ポルトリコは面積凡そ我が四國の半ばに等しく、氣候最も良好なり。

乙、イギリス領はバハマ諸島・ジャマイカ及び小アンチルの大部より成る。
Lesser Antilles
バハマ諸島はアメリカ合

衆國フロリダ半島の南東に横はれる珊瑚島にして、總面積は凡そ我が四國に等し。



用氷の人モキスエ

丙、フランス領は小アンタル諸島の一部を含み、其の中マルチニツク島のペレー山は近時大破裂を起したりき。

丁、ハイチは面積凡そ我が北州に等しく、サントドミンゴ及びハイチの二共和國に分る。

戊、キューバは西印度諸島中面積最も大にして、凡そ我が本州の半に等し。山林は良材に富み、又烟

草及び甘蔗糖の産甚だ多く、首府をハバナと云ふ。

第八章 人文地理

一、住民。

人口凡そ一億餘、白人種最も多く、其の數全人口の三分の二を占め、黑人種及びアメリカン種これに次ぐ。アメリカン種は、白人種の來住以前こゝに住みしものにして、今は次第に其の數を減ず。又グリーンランド及び北極洋群島中にはエスキモー人の住所あり、北極洋語はイギリス語最も行はれ、メキシコ及び中央アメリカにはイスパニア語、カナダの一部にはフランス語行はる。

西大陸には
君主國なし

二、邦制。

北アメリカには獨立國多けれども、事實上白人種の占有する所にして、其の政體は立憲民主政體なり。唯西印度諸島の一部に黒人の獨立國あるのみ。而してイギリスは本大陸中著しき部分を領す。

三、産業。

天産は富裕にして、就中鑛産及び農産は全世界に比なく、特に鐵、銅、石炭、石油は世界第一の産額を有し、金に於ても亦た世界大産地の一に居る。

此の大陸の
天産には獅
子、虎及び豹
を欠く

玉蜀黍、馬鈴薯及び烟草は此の大陸原生のものにして、又蜂雀、響尾蛇、海狸等の動物あり。又綿、小麥等の農産、ベリング海海獸の毛皮、大平洋高地の林産は世に名高し。

四、交通。

本大陸河湖の水利は他大陸に卓絶し、鐵道の敷設甚だ盛んにして、大平洋高地を貫通する數條の大鐵道は、他大陸に稀れに見る所なり。而してパナマ運河の開鑿、大平洋海底電線敷設の成功は、本大陸の東部アジアに對する關係をも一變するに至るべし。

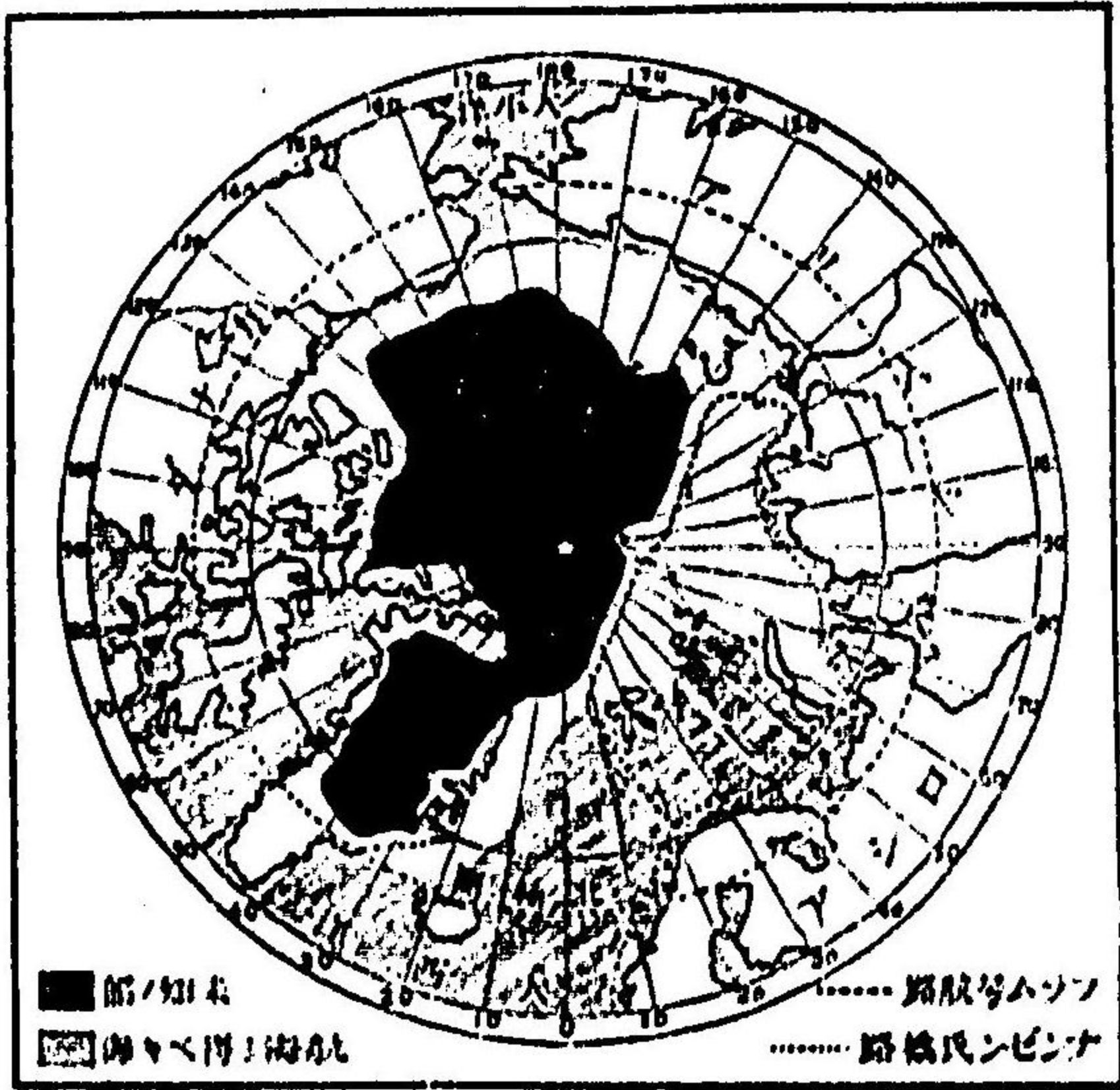
第七篇 兩極地方

一、北極地方。

北極地方とは北極圏にて圍まれたる地表の部分を總稱し、全面積の凡そ四分の一餘は其の地理尙ほ全く不明なり。北極地方に含まれたる陸地はグリーンランドの大部、ユーラシア及びアメリカの極北部、ノバヤゼムリヤ、スピツベルゲン、Greenland、Noraja Semlja Spitzbergen、Franz Joseph Land、New Siberia、James Ross等の諸島なり。エロンプス時代地理上の大発見は、北極地方探險の端緒を開らき、十九世紀に於てはジェームス・ロスは北緯七十五度五分、西經九十六度四十四分の地點に於て、地球磁石の北極を發見し、ジョン・フランクリンはアメリカの極北部を通

John Franklin

これ等の通路上は通すべからず



北極地方及び附近

じて、ヨーロッパより東部アジアに至るべき北西、通路を探險し、ノルデンシュロルドはアジアの極北部を通じてヨーロッパより東部アジアに至るべき北東、通路を航海せり。其の後學術研究の目的を以て北極の

地點に達すべき企圖は、屢實行せられたりと雖ども、何れも流氷の爲めに遠く北進する能はざりしが、獨りナンペン氏は海流と流氷とを利用して、能く北緯八十六度十四分即ち

Nansen

なれども、ヨーロッパ諸國目下艦船を派遣して、これが探險に熱中するを以て、其の結果は遠がらずして世に知らるゝに至るべし。

南極の四周に著しき大陸の存することは疑を容れず。低平なる大氷山の存するは其の廣き陸面に起れるを示し、特に其の運搬せる堆石の性質は、大陸的の岩石なり。實に南氷洋の氷山は全高一千二百尺乃至一千五百尺、其の六分の一乃至七分の一は海面上に出て、長さ三百哩以上に達し、上端低平にして恰も卓子狀の島を成せるもの多し。

第八篇 人文地理總論

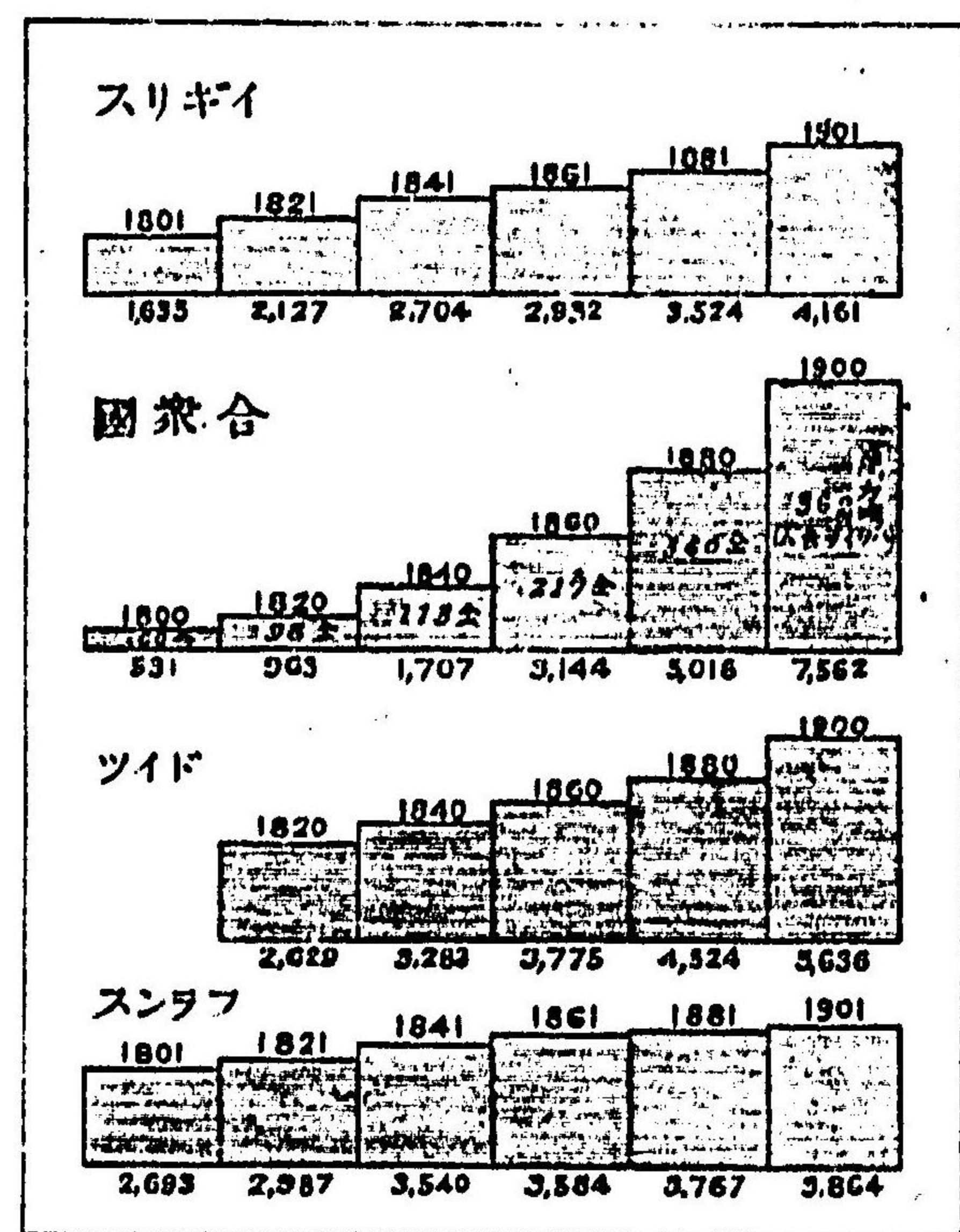
第一章 世界の住民

一、人口。

世界の人口は凡そ十六億ありて、其の密度は所により大差あり。ヨーロッパの西部は最も密にして、アフリカ及びアジアの沙漠は無人の境多し。而して工業の盛んなる國には人口都府に集中し、農業を主とする國には人口一様に分布せらる。又未開の人種は人口次第に減少するに反し、多くの文明國に於ては、人口急劇に増加し、特にアメリカ合衆國を以て最も甚だしとす。但しフランスのみ、人口の増

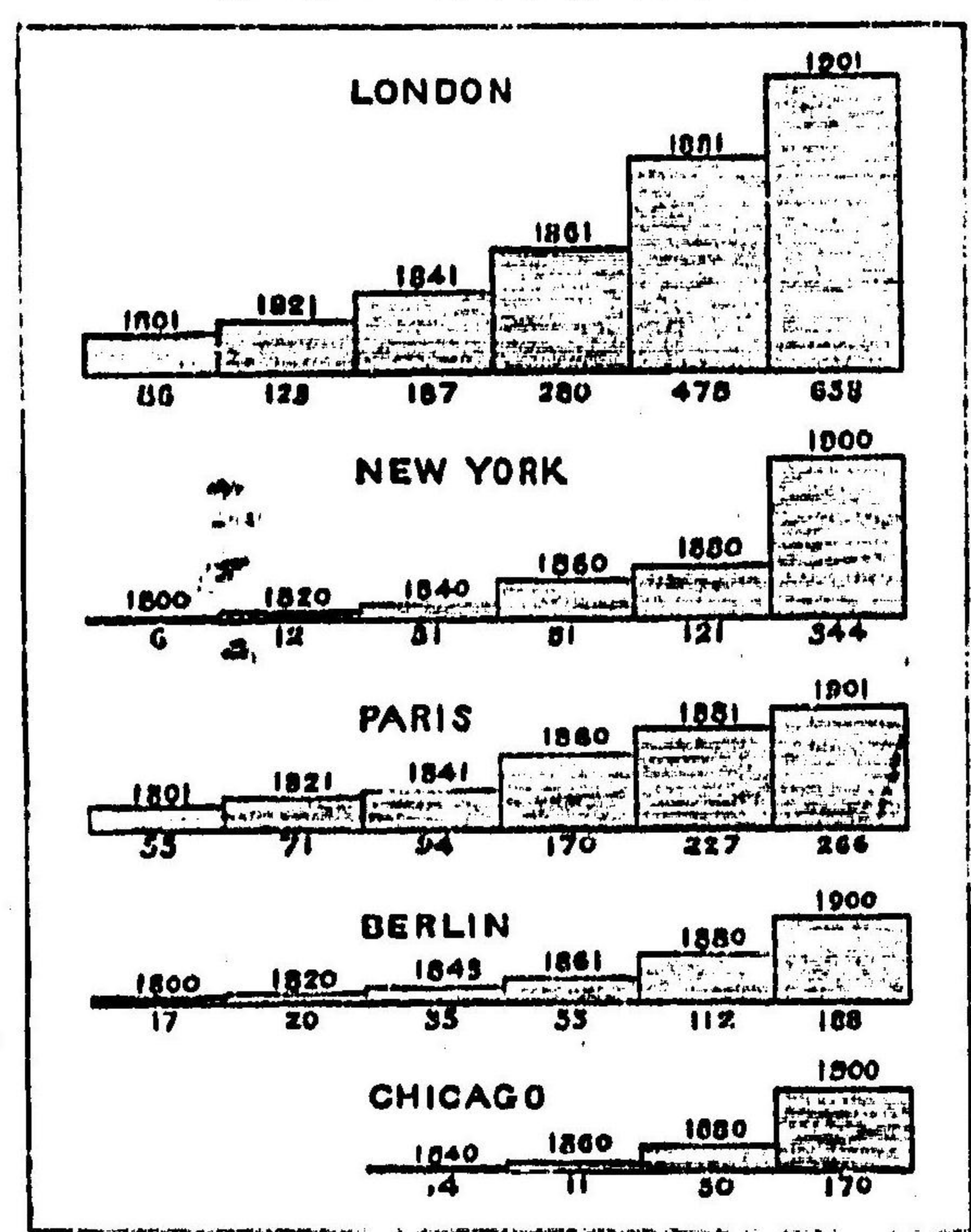
加極めて小なること、特に注意すべし。

加増の口人



年曆四は字數の上 (萬一位取)口人は字數の下

加増の口人會都大



年曆四は字數の上 (萬一位取)口人は字數の下

二、世界の人口

世界住民の言語及び宗教相同じからずして、文明の程度、政治の組織又大に差異ありと雖ども、體質上の點に於ては、



種人古蒙

何づれも大同小異にして、唯僅かに皮膚毛髮等の特徴により、便宜上これを左の如く五大別す。然れども其の實數多の雜種ありと知るべし。

蒙古人種。皮膚黄色に、顔は廣くして扁平なり、顴骨秀で、眼小にして

目皆舉り、頭髮硬にして黒く、鬚髯少し。其の人口凡そ五億あり。

地中海人種、一名白人種、又はカウカシア人種。皮膚白皙



種人海中地

はエチオピア人種。皮膚黑色に、鼻低くして太く、腮出で、唇厚く、額扁平、頭髮黒く、短く、且つ縮れ、鬚髯少し。其の人口凡そ一億五千萬あり。

マライ人種。皮膚褐色にして、外容は蒙古人種の如し、額蓋井に眼は地中海人種の如く、鬚髯少し。其の人口ポリネシア人を合せて凡そ四千五百萬あり。

アメリカ人種。皮膚は銅色を帯び、鼻隆く、顴骨聳え、眼長

にして、額廣長に、顔細長く、鼻隆

く、目皆舉らず、頭髮は褐色を帯

びて縮れ、鬚髯に富む。其の人

口凡そ五億あり。

アフリカ人種、一名黒人種、又



種人黒

くして、眸黒く、頭髮直にして、
黒色なり、鬚髯少し。其の人
口雜種を合せて凡そ三千四
百萬あり。

印度のドラービタ人種、バ
プア及びオーストラリアの

土人は以上五人種の外に屬し、前の者は凡そ六千萬、後の者
は凡そ三百萬の人口あり。

三、世界の言語。

言語の種類は一ならざれども、其の内最も多數の人に使
用せらるゝは支那語なり、商業上最も廣く世界の各部に用
ひらるゝはイギリス語にして、イスパニア語これに次ぐ、而

イスパニア
語は西大陸
の大部に行
はる

して外交事務及び上流社會に最も多く用ひらるゝはフジ
ンス語なり。要するに國語は其の國の統治上大切なる關
係を有す。

四、世界の宗教。

宗教は人類團結の一要素にして、歴史上の革命及び事變
は屢宗教と密接なる關係を有せり。世界の重もなる宗教
は四あり、何づれも源をアジアに發せり。

一、佛教。釋迦の教旨にして、印度には殆んど行はれされ
ども、支那及び日本の人民これを信奉し、其の教徒甚だ多し。
二、婆羅門教。佛教と同じく印度に起りしものにして、其
の起源は佛教よりも遙かに遠し、婆羅門を造化の主宰とし
て信ずるものにして、印度人民の多數はこれを奉ず。

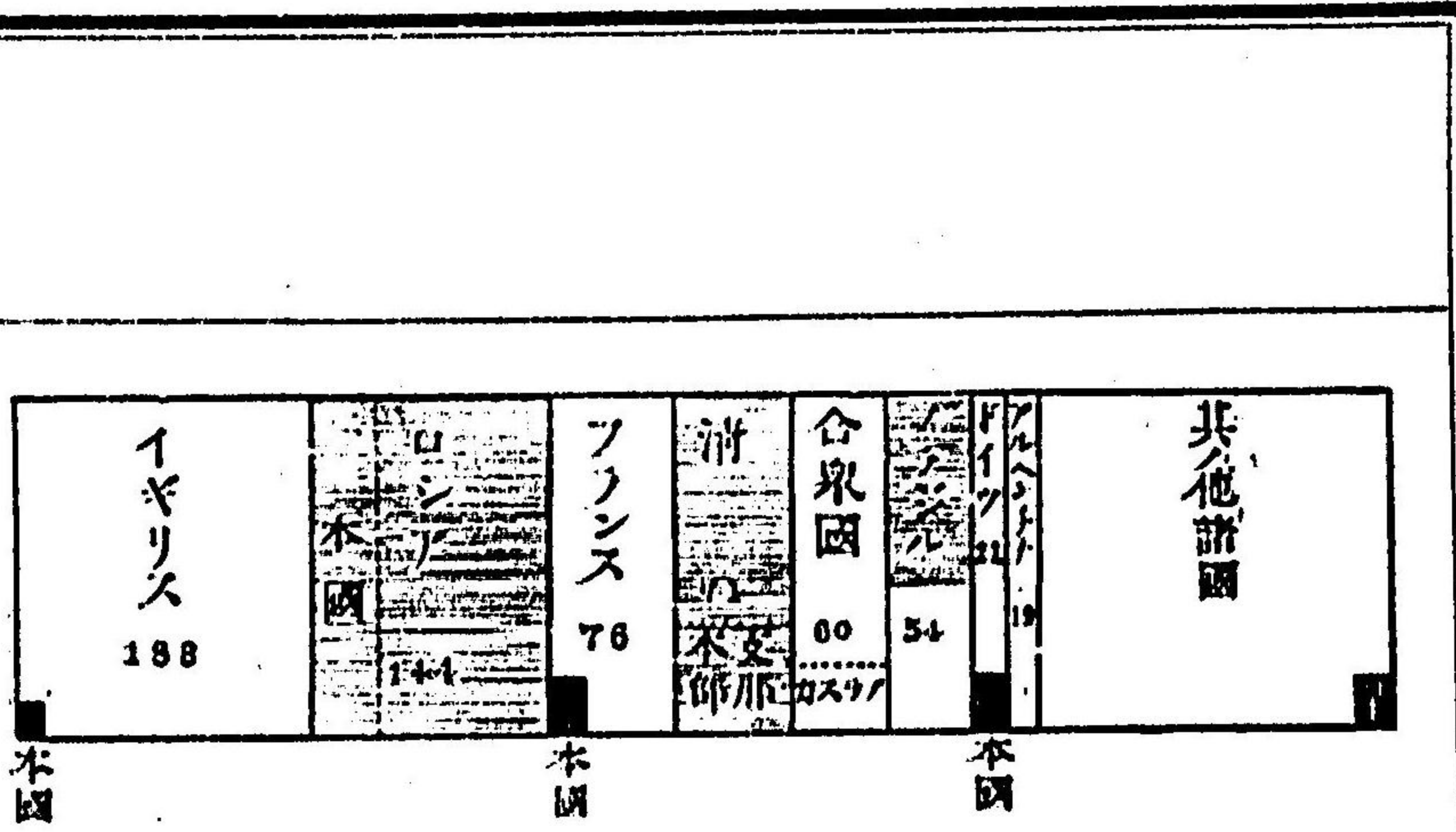
基督教の
歴史は
西暦の
元とし
て紀元
を起す

三、基督教。耶穌基督を救世主として信ずる一神教にして、大別して新教、舊教及びギリシア教の三大派とす。
四、回教。一神教たることに於ては、基督教に同じけれども、マホメットを以て最大豫言者として信奉するものなり、アジアの西部及びアフリカに行はる。

第二章 各邦土の領域

一、各邦土の面積

世界の獨立國は次第に其の數を減じ、現今は凡そ五十を出てず。其の邦土の面積は大小一ならざれども、其の本國のみに就て云ふときは、強國の斑に列するもの必ずしも面積上の大國に非らず、唯ロシア及び北アメリカ合衆國の二



世界主要諸國の面積の比較 (單位：百萬平方英里)

強國のみは面積極めて廣大なり。而して我が國の如きは他の諸強國に比して、其の面積決して小に失するものに非らず。

二、本國及び屬地

本國狹小にして、屬地廣大なるは、イギリス、フランス、ドイツ、ポルトガル及びネーデルラントの五國なりとす。すべて屬地には植民地、保護地等の名稱を附し、其の發達の程度、往々本國に同じきものあり。又アフリカ内地に於ける如く、勢力範圍の稱を附して、

其の所屬を主張し、支那の要港に於ける如く、借用の名によりて、其の根據地を置けるものあり。皆其の貿易を保護し、兵力を維持する目的に出でしものにして、近世の地理及び歴史上特に注意すべきことなりとす。

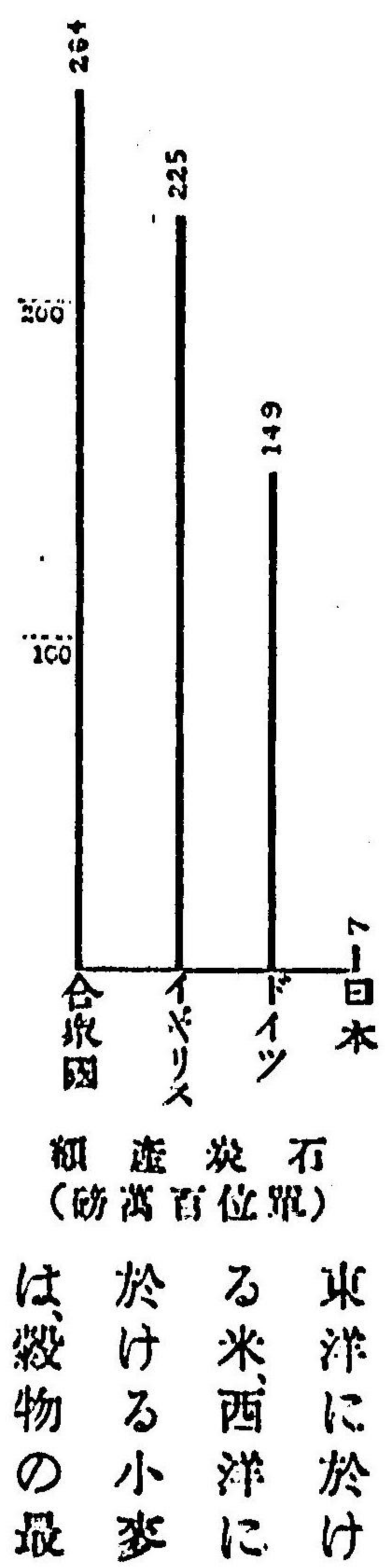
第三章 世界の物産・貿易・交通

一、世界の主要物産。

世界の物産を大別すれば、其の本源三あり。一は礦物、二は植物、三は動物これなり。礦物界の物産中最も大切なるは鐵、石炭及び金の三種にして、鐵及び石炭の産額はアメリカ合衆國を第一とし、イギリスこれに次ぎ、ドイツ又これに次ぐ。金はオーストラリア、アトランスパール及びアメリカ

合衆國を以て主要産地とす。我が國は東洋第一の石炭産出國なれども、其の産額はこれを前記の諸國に比すれば、非常に少し。

植物界の物産中最も大切なるは穀物及び綿花なりとす。



たるものにして、小麥の産額はアメリカ合衆國を第一とし、世界の四分の一を出だす。イギリスは穀物の産額不足にして、他よりこれを取り、我が國の如きも、近時概ね外國米の輸入を仰ぐに至れり。綿花の産額も亦たアメリカ合衆國

を第一とし、工業上これを消費するはイギリスを第一とす。我が國に於ても、亦た綿絲紡績の業、近年盛んに起り、印度より盛んに綿花を輸入せり。

動物界の物産中最も大切なるは羊毛及び蠶絲にして、羊毛はオーストラリア・南部アフリカ及びアルヘンチナを主産地とし、蠶絲はヨーロッパ南部及びアジアの諸邦を主産地とす。又諸般の關係上古來人生に最も大切なるは牛馬にして、人爲の分布により、現今西大陸及びオーストラリアに於ける牛馬の總數は東大陸に匹敵するに至れり。

二、世界の貿易

世界の貿易は近年非常なる進歩をなせり、イギリスは尙ほ依然として世界第一の商業國たれども、アメリカ合衆國

及びドイツ二國貿易の發達は、特に世界の注目を促せり。而して人口一人に付きチーダルランド・ベルギー・スウィイ等諸國の輸出入額は極めて大にして、我が國の如きは、此の點に於ても、遙かに劣等の位置にあり。

三、世界の交通

世界の交通上特に注意すべきものは三つあり、一は大陸を横斷する鐵道、二は大洋を横斷する海底電線、三は海洋を聯絡する大運河これなり。

北アメリカを横斷する數多の鐵道は、同大陸の開發に至要なる關係を有し、又シベリア大鐵道の開通は、世界の交通に大變化を來せり。若し夫れアフリカ縦貫鐵道及び中央アジア横斷鐵道の計畫完成の日には、世界陸路の交通は一

大面目を改むるに至るべし。

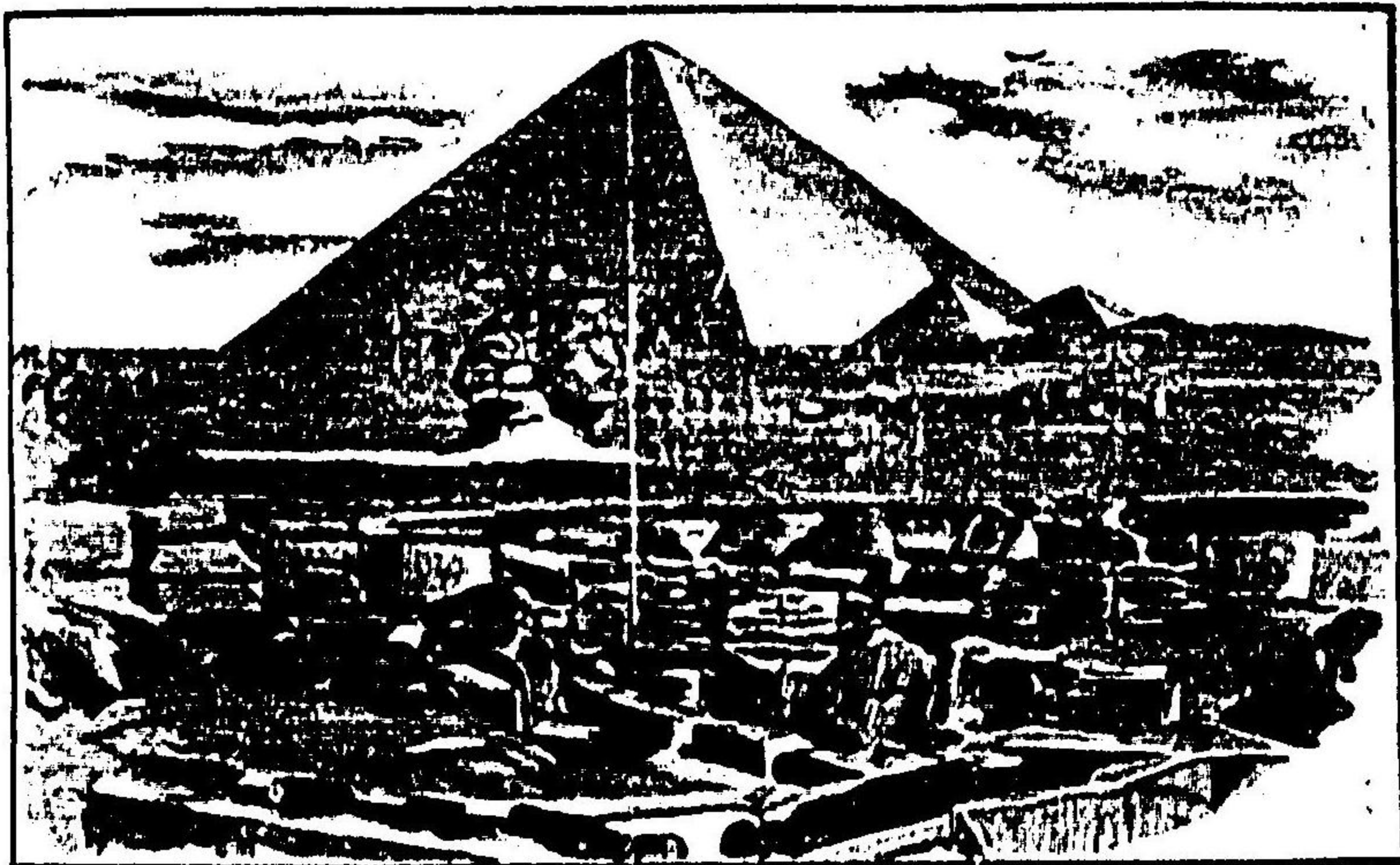
大西洋を横断して新舊兩大陸を聯絡せる海底電線は甚だ多く、大平洋を横断する海底電線も已に敷設を了れり。而してパナマ運河の開鑿はスエズ運河の如く世界の交通上、一紀元を作るべし。

第四章 世界の財政

一、歳出入。

世界諸強國の歳出は、年々増加の傾向ありて、其の重なるものは軍事費なりとす。歳出の總額はロシアを第一とし、又人口一人に付き其の高はイギリスを第一とす。歳出の増加に隨ひ、歳入も亦たこれに伴ひ、其の財源はこれを諸

金 字 塔



萬 里 長 城



を占め、香港、印度、カナダの如き我が貿易上の要地を占むるのみならず、清韓の保全、東洋平和の維持上、我が同盟國として、最も大切なる關係を有す。世界の諸強國中、我が國と最も密接なる關係を有するものは、これ等の三國にして、ドイツ及びフランスの二國これに次ぐ。

二、世界に於ける日本帝國の位置。

金字塔は高しと雖ども、能くエジプト國勢の恢復者たる能はざるなり、萬里の長城は大なりと雖ども、能く支那版圖の保障者たる能はざるなり、エジプトの衰頹はアフリカ分割の前兆たりしを思へば、支那の否運は安んぞ東亞分割の前驅に非ずと云ふを得んや。嗚呼扶植を友邦に待たずして、干涉を列強に招く、清韓二國の地誰れか東洋禍亂の舞臺

に非ずと云ふを得んや。若し夫れ太平洋の北西、アジア洲の東方、優勝劣敗、弱肉強食の活劇を演ずるの日は、東洋の花彩列島が、東亞の防波堤たる天職を行ふ時と知るべし。

最近女子地理教科書 外國之部下卷終

近世女子地理教科書外國之部下卷附表(一九〇二年二月出版)
 (英國政家年鑑に據る)

ヨーロッパ都府の人口(千位)

ロ	シ	ア	ベ	モ	ワ	オ	ロ	リ	キ	ス	ノ	デ	ド
テル	ス	ム	タル	スク	ル	デ	ッ	ガ	エ	ウ	ル	マル	イ
ブル	バ	ホ	ブル	バ	シ	ッ	サ	フ	フ	ホル	ウ	ク	ツ
グ	バ	ム	グ	バ	ヤ	サ	フ	ム	フ	ム	ア	ク	ツ
一、二六七	九八九	六三八	四〇五	三一五	二五六	二四七	三〇一	二二八	四七七	一、八八八	七〇六		
ド	イ	ツ	ミ	ラ	ブ	ド	レ	ク	ウ	フ	ア	ア	ロ
イ	ツ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
五〇〇	四五五	四二三	三九五	三七二	三八八	一、六七五	二〇二	七三三	五二二	三三三	二二二		

下卷附表

イギリス	ブルッセル	五六二	ベルギー	アンペルヌ	二八六
フランス	ロンドン	六、六〇四	イスパニア	バルセロナ	五一〇
ドイツ	リバプール	六八六	ポルトガル	リスボン	二〇五
イタリア	ローマ	五四五	スペイン	マドリッド	三五七
オーストリア	ウィーン	四三〇	ギリシャ	アテネ	四九一
ハンガリー	ブダペスト	三八二	ルーマニア	ブカレスト	四六三
ポーランド	ワルシャワ	三三九	ブルガリア	ソフィヤ	三三六
スウェーデン	ストックホルム	二、六六一	フィンランド	ヘルシンキ	三二〇
デンマーク	コペンハーゲン	四九五	ノルウェー	オスロ	二三五
スウェイス	バーゼル	四五三	アイスランド	レイキヤヴィク	二〇五
オランダ	アムステルダム	二五七	アイスランド	レイキヤヴィク	二〇五
ベルギー	ブリュッセル	二二五	アイスランド	レイキヤヴィク	二〇五
ポルトガル	リスボン	五二二	アイスランド	レイキヤヴィク	二〇五
スペイン	マドリッド	五二二	アイスランド	レイキヤヴィク	二〇五

備考、ドイツ及びイギリスは人口三十萬以上、其の他は人口二十萬以

上のものゝみを掲ぐ。

アフリカ洲の部(重要なるもの)。

地名	面積(平方哩)	人口	地名	面積(平方哩)	人口
エジプト	四〇〇	九、七三四	南アフリカ	三三三	二〇〇
エチオピア	九五〇	一〇、〇〇〇	ナミビア	一四四	二〇〇
アビシニア	一五〇	三、五〇〇	ボツワナ	四八五	四、一一九
東部アフリカ			ジンバブウェ	九〇〇	三〇、〇〇〇
(ポルトガル領)	三〇一	三、一二〇	ザンベジ	四五〇	八、〇〇〇
(ドイツ領)	三八四	八、〇〇〇	ナタール	一九一	三、五〇〇
(イギリス領)	一、〇〇〇	八、七〇〇	ケープ	三三	二、〇六〇
(イタリア領)	一九〇	八、五〇〇	ナタール	三三	二、〇六〇
クープ植民地	二七六	一、七八七	ナタール	三三	二、〇六〇
オランダ植民地	四八	二〇七	ナタール	三三	二、〇六〇
トランスバール植民地	一一九	一、〇九四	ナタール	三三	二、〇六〇

トビキ及び附近	三九九	一、三〇〇	フランス領サハラ	一、五四四	二、五五〇
フランス領スダン	七〇〇	四、〇〇〇			
アフリカ都府の人口(千、〇〇〇位)					
ユヴァトカイロ	五七〇	マロッコ	フ	ニ	一四〇
アレキサンドリア	三三〇	アルジャリア	アル	ワ	九七
ケープ植民地	八四	チュニス	チ	ニ	一七〇
ケープタウン	一〇二				
トランスバール					
南アメリカ洲の部					
地名	面積(千、〇〇〇方哩位)	人口(千、〇〇〇位)	地名	面積(千、〇〇〇方哩位)	人口(千、〇〇〇位)
ベチスエラ	五九四	二、四四五	(フランス領)	三二	三〇
グイヤナ	二二〇	二七八	ブラジル	三、二二八	一四、三三四
(イギリス領)			パラグアイ	一五七	六三四
(チリ領)	四六	六七	ウルグアイ	七二	九三一

アラビヤ	七五〇	アルヘンチナ	ロ	サ	リ	オ	一一二
パピア	一七四	チレ	サン	チ	ア	ゴ	二九二
ペルナンブコ	一一一	ベル	パ	ライ	ン		一三六
アルヘンチナ	八三六	ベ	ル				一〇〇
南アメリカ都會の人口(千、〇〇〇位) 人口十萬のもののみを掲ぐ							
アルヘンチナ	一、二一四	エクアドル					一一六
チレ	二八〇	コロンビア					五〇五
ボリビア	七三四	フォー	ク	ラ	ン	ド	七
ペルー	六九六	四、六一〇					
北アメリカ洲の部							
地名	面積(千、〇〇〇方哩位)	人口(千、〇〇〇位)	地名	面積(千、〇〇〇方哩位)	人口(千、〇〇〇位)		
グリーンランド	八三八	一一	カナダ	三、六五四	五、三三九		
ニューファンドランド	四二	二二〇	合衆国(ハワイ及びカネアを含む)	三、五〇八	七六、三〇三		

明治三十六年二月四日印刷
明治三十六年二月七日發行

定價
上卷 金四拾五錢
下卷 金五拾五錢

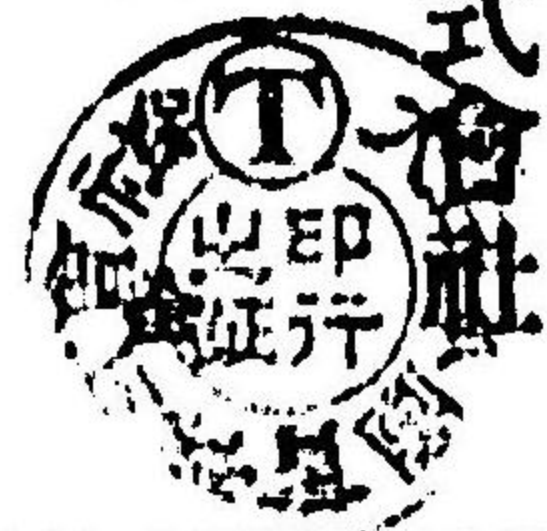


發賣所

著作者 山上萬次郎

發行兼印刷者 大日本圖書株式會社

右代表者 專務取締役 宮川



東京市京橋區銀座登丁目廿二番地
大日本圖書株式會社
大阪市東區北久太郎町四丁目十七番屋敷
大日本圖書株式會社支社

各府縣下 特約販賣所

著郎次萬上山士學理
覽概圖地及書科教科理地

● 近級中學地理教科書 全五冊

日本之部 全二冊 外國之部 全三冊 地文之部 全二冊

● 近級女子地理教科書 全四冊

日本之部 全二冊 外國之部 全二冊 地文之部 全二冊

● 最近地文學教科書 全一冊

● 近級中學教科用地圖 全四冊

日本之部 全二冊 外國之部 全三冊

● 近級女子教科用地圖 全三冊

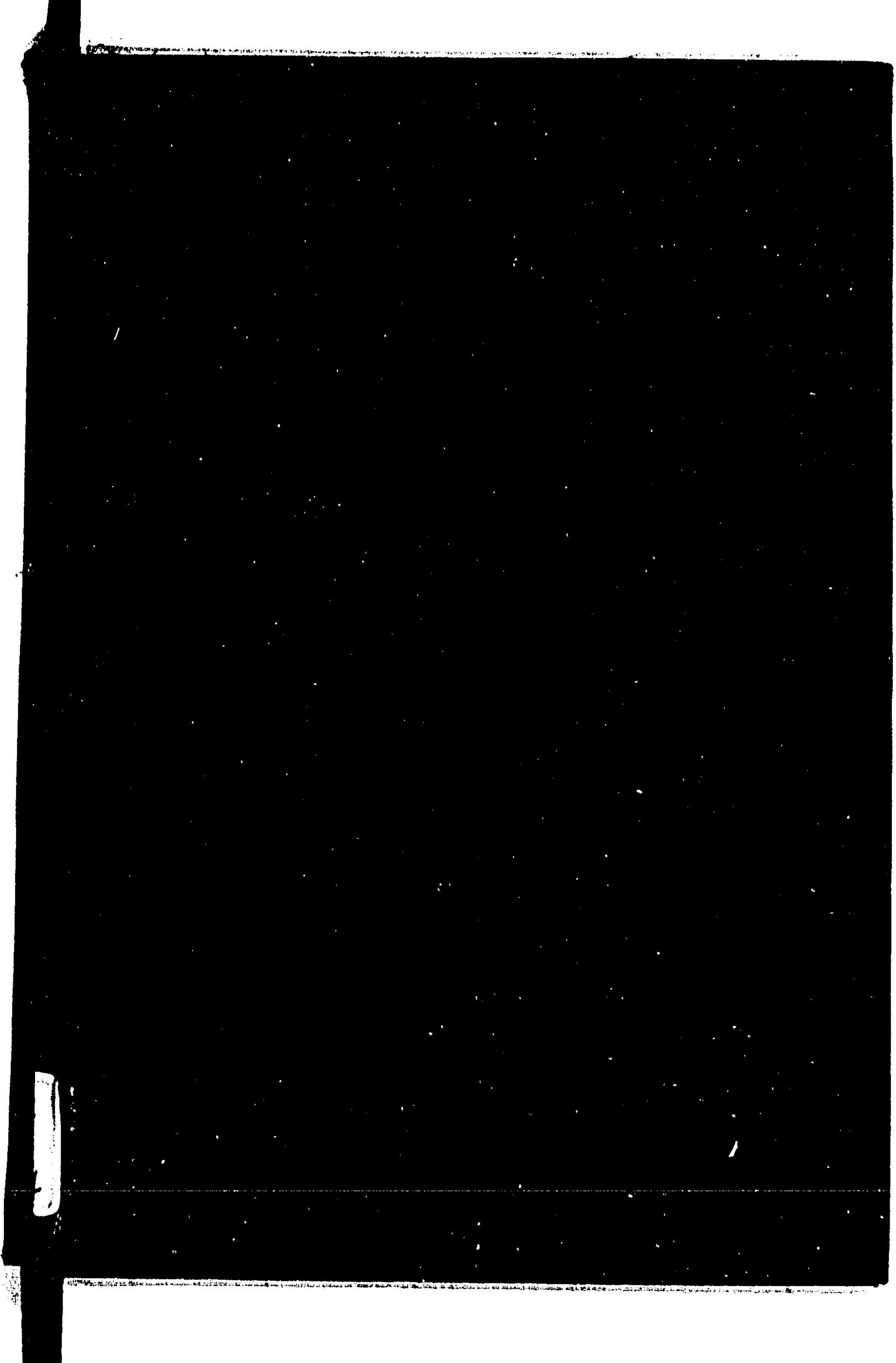
日本之部 全二冊 外國之部 全三冊

● 英文中等教科用外國地圖 全一冊

圖地自育教等中

校拾貳全 輯編社會式株書圖本日大





92
274

021939-003-6

92-274

最近女子地理教科書

山上 万次郎/著

M35-36

ADA-0177



92
274

